

農業大学校トイレ洋式化改修工事

図面リスト

図番	図面名称	縮尺
M-01	表紙・図面リスト	NS
M-02	機械設備工事特記仕様書(1)	NS
M-03	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M-04	配置図・付近見取図	1/1,200
M-05	管理教室棟 2階平面図(改修後・改修前)	1/50
M-06	体育館棟 トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-07	国際交流館棟 1階トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-08	国際交流館棟 1階浴室トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-09	食堂棟 厨房トイレ平面図・土間はつり平面図(改修後・改修前)	1/50
M-10	男子寮 1階トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-11	男子寮 2階トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-12	男子寮 3階トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-13	女子寮 1階トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-14	女子寮 2階トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-15	女子寮 3階トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-16	畜産教室棟 トイレ平面図・土間はつり平面図(改修後・改修前)	1/50
M-17	バイテク棟 トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-18	農業学習館棟 トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-19	旧本館 トイレ平面図(改修後・改修前)	1/50
M-20	概略工事工程表	NS
E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	NS
E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	NS
E-03	電灯設備 管理教室棟 2階平面図(改修後・改修前)	1/100
E-04	電灯設備 体育館棟 トイレ平面図(改修後)	1/150・50
E-05	電灯設備 国際交流館棟 1階トイレ平面図(改修後・改修前)	1/100
E-06	電灯設備 国際交流館棟 1階浴室トイレ平面図(改修後)	1/100
E-07	電灯設備 食堂棟 厨房トイレ平面図(改修後)	1/100
E-08	電灯設備 男子寮 1～3階トイレ平面図(改修後)	1/100
E-09	電灯設備 女子寮 1～3階トイレ平面図(改修後)	1/100
E-10	電灯設備 畜産教室棟 トイレ平面図(改修後)	1/50
E-11	電灯設備 バイテク棟 トイレ平面図(改修後)	1/100
E-12	電灯設備 農業学習館棟 トイレ平面図(改修後)	1/100
E-13	電灯設備 旧本館棟 1階平面図(改修後)	1/100



機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市関金町大鳥居

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考	番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	管理教室棟	RC	2	1270.64	(7) 項		6	女子寮	RC	3	913.72	(7) 項	
2	体育館棟	S	1	940.24	(7) 項		7	畜産教室棟	W	1	147.00	(7) 項	
3	国際交流館棟	RC	4	2329.71	(7) 項		8	バイテク棟	RC	1	353.25	(7) 項	
4	食堂棟	RC	1	455.05	(7) 項		9	農業学習館棟	W	1	260.00	(7) 項	
5	男子寮	RC	3	1465.71	(7) 項		10	旧本館棟	RC	1	292.7	(7) 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1~10	屋外	備考
● 空調調和設備				
● 冷暖房設備				
● 換気設備				
● 排煙設備				
● 自動制御設備				
○ 衛生器具設備				
○ 給水設備				
○ 排水設備				
● 給湯設備				
● ガス設備				
● 浄化槽設備				
● 消火設備				
● さく井設備				
○ 電気設備工事				コンセント増設
○ 建築工事				トイレブース改修

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

●印の付いたものを適用する。

項目	設備概要
● 空調調和設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
● 熱源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
● 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● その他 ()
換気設備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
○ 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水源 ● 水道水 ● 井水
○ 排水設備	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水) 放流先 ● 汚水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雑排水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雨水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 浄化槽 ● 処理方式 ● 小規模合併 ● 合併 ● 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
● 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連絡送水管 ● 連絡放水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系) ● ハロゲン化物消火
● ガス設備	● 都市ガス (MJ/Nm ³) ● 液化石油ガス

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
 - 印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針 (令和4年版)」 (以下「監理指針」という。) を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に ○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は ●印の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ●印と ⊗印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち () 項は、● 建築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。

一般共通事項

項目	特記事項			
○ 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。			
○ 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。			
3 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。			
○ 発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● 廃石綿 (配管用保温材) ● PCB使用機器 ● アスファルト防水材) アスベスト含有設備資機材 (ガスカート、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物) は関係法令に従い適切に処理を行う。 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 再生資源化を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ●)			
○ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等級以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等級以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。			
○ 機材の品質・性能証明	JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(3)の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。			
○ 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式 (令和4年版) によるほか、監督職員の指示による。			
○ 図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。			
9 電気容量及び機器表示	機器類の能力、容量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。			
○ 技能士の適用	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札 (下図参考) を常時着用する。 ○ 配管 (● 1級 ● 2級) ● 熱絶縁施工 (● 1級 ● 2級) ● 冷凍空調調和機器施工 (● 1級 ● 2級) ● 建築板金 (● 1級 ● 2級)			
○ 施工図等				
○ 完成写真等				
○ 技能士名札参考図				
○ 施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。				
○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のもの提出する。				
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラーサービス判	各工工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要

13 完成図等

区分	名称	部数
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ⊗ CADデータ ⊗ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ⊗ CADデータ ⊗ PDFデータ	1部
※ 完成図 2つ折製本	● 完成図 ● 完成図 (縮小版) ● 施工図	※ 2部 ● 部
※ 完成図書 ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本	● 完成図 (縮小版) ● 主要機器図 ● 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1部
※ 官公署の届出書類		1部

○ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

14 他工事との取合

他工事との取合い		建築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入補強	● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 鉄骨造の開口及び補強		※ ● ●	● ● ●	● ● ●
● 照明器具・幹線の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)		● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 枠補強	● ● ●	● ● ●	● ● ●
● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ●	● ● ●	● ● ●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切り込み 補強	● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※ ● ●	● ● ●	● ● ●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット (蓋を含む)		※ ● ●	● ● ●	● ● ●
● 天井点検口		● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋上設置	● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		● ● ●	● ● ●	● ● ●

15 工用水・電力・その他

16 表示板

本工事に必要な工用水、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一括して表示する。)

※ 工事表示板 ● お願い表示板

記入要領
1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

17 足場

18 工用仮設物

19 土工事

20 保温工事

- (ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)
● 山砂の類 ()
● 真砂土 ()
- (イ) 建設発生土処分 ● 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積
- 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
 - 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール)
 - 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● 保温チューブ (厚さⓂ) ●
 - 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
 - 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さⓂ))
 - 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
 - ダクト (● ロックウール ● グラスウール)
 - 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)
 - 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール25mm厚) する。
 - 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート)
屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板)

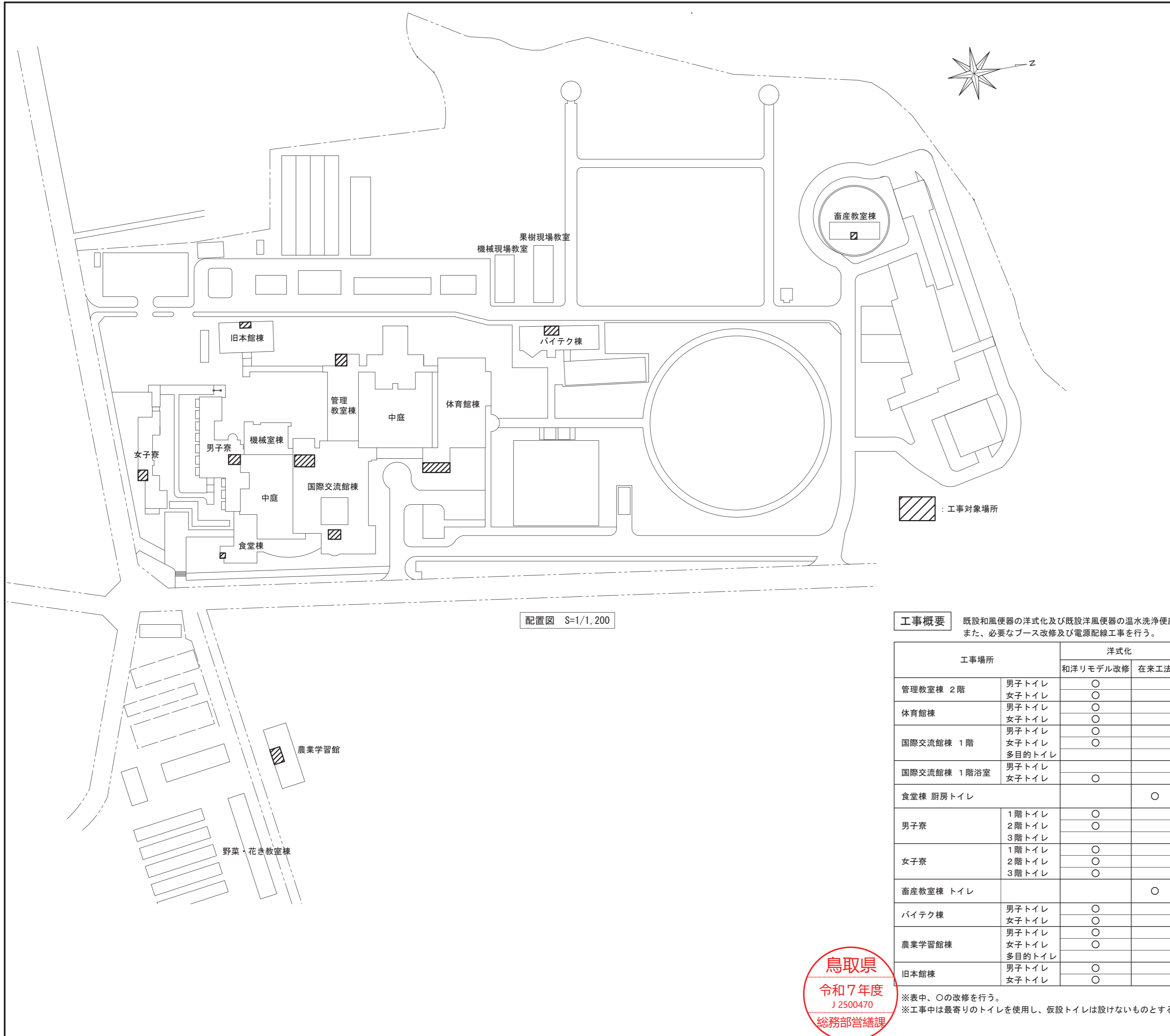


一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

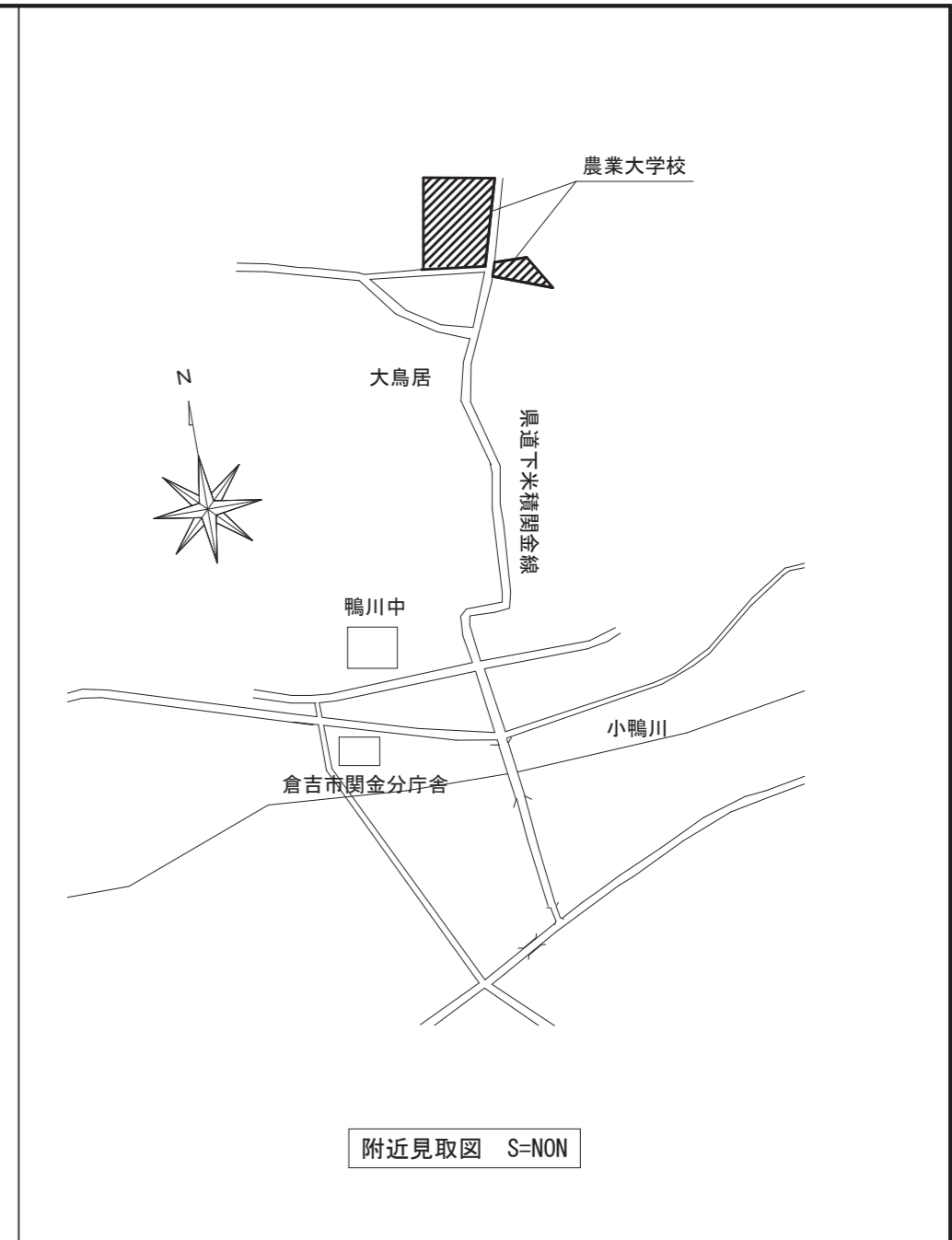
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	NS
田村	板倉	門水	門水	設計年月日	2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
図面名称 機械設備工事特記仕様書 (1)
図面番号 M-02 / 20



配置図 S=1/1,200



: 工事対象場所

工事概要 既設和風便器の洋式化及び既設洋風便器の温水洗浄便座化を行う。
また、必要なブース改修及び電源配線工事を行う。

工事場所		洋式化		温水洗浄便座化		ブース扉 開き勝手改修	電気設備工事 便座用コンセント増設	参考 床仕様
		和洋リモデル改修	在来工法	便座改修	便器改修			
管理教室棟 2階	男子トイレ	○		○		○	○	乾式 (ビット)
	女子トイレ	○		○		○	○	
体育館棟	男子トイレ	○		○		○	○	"
	女子トイレ	○		○		○	○	
国際交流館棟 1階	男子トイレ	○		○		○	○	"
	女子トイレ 多目的トイレ	○		○	○	○	○	
国際交流館棟 1階浴室	男子トイレ			○		○	○	"
	女子トイレ	○		○		○	○	
食堂棟 厨房トイレ			○				○	湿式 (ビット)
男子寮	1階トイレ	○		○		○	○	乾式 (ビット)
	2階トイレ	○		○		○	○	
	3階トイレ	○		○		○	○	
女子寮	1階トイレ	○		○		○	○	湿式 (ビット)
	2階トイレ	○		○		○	○	
	3階トイレ	○		○		○	○	
畜産教室棟 トイレ			○				○	湿式 (土間)
バイテク棟	男子トイレ	○				○	○	湿式 (ビット)
	女子トイレ	○				○	○	
農業学習館棟	男子トイレ	○				○	○	湿式 (土間)
	女子トイレ	○				○	○	
	多目的トイレ			○			○	
旧本館棟	男子トイレ	○				○	○	"
	女子トイレ	○				○	○	

※表中、○の改修を行う。
※工事中は最寄りのトイレを使用し、仮設トイレは設けないものとする。




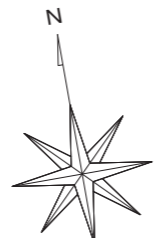
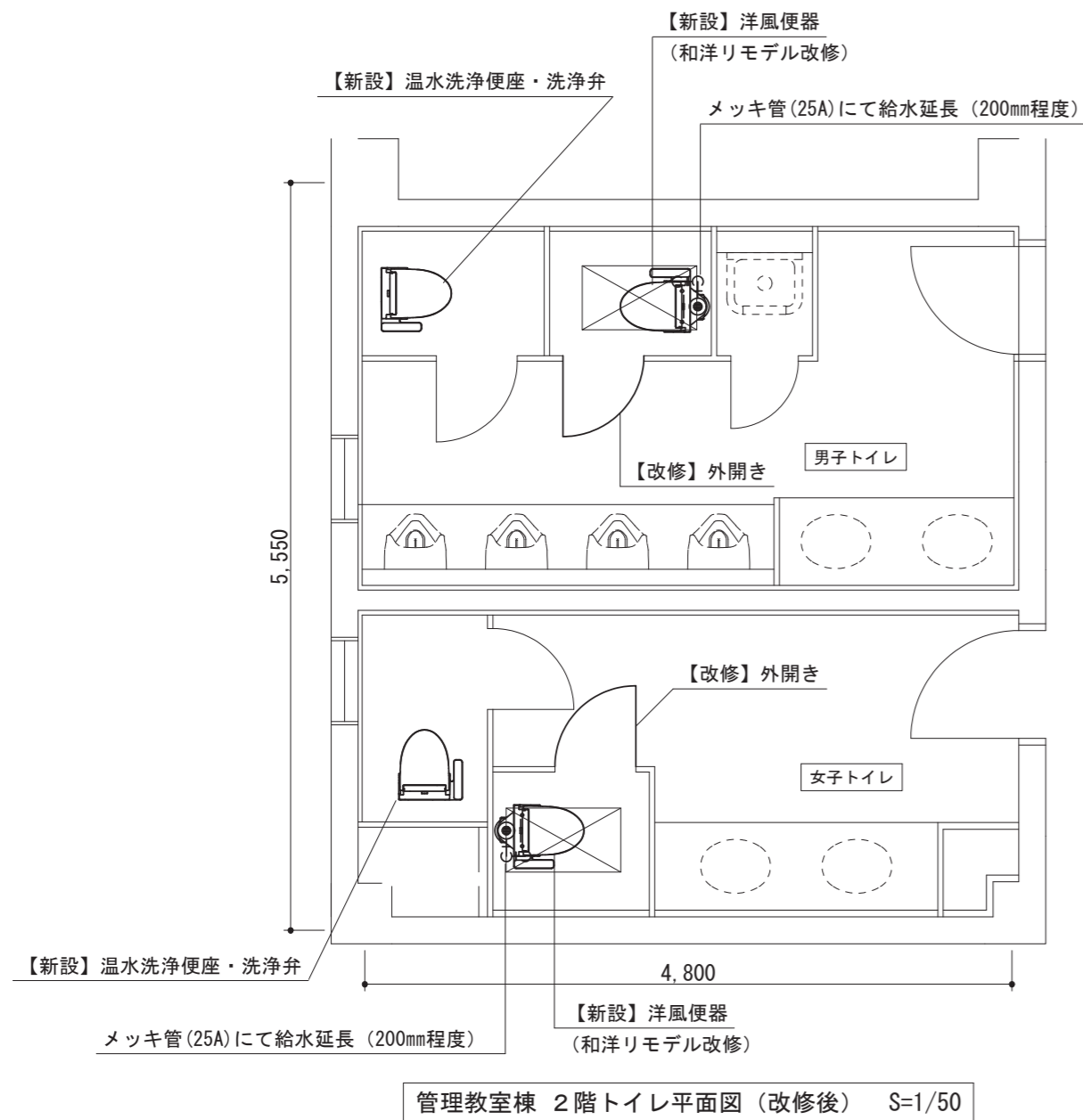
衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	2階男子トイレ	2階女子トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動), 掃除口付, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	1	1	2	【新設】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21	紙巻器	(1)	(1)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550S	FV(手動・床給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	1	1	2	【新設】
温水洗浄便座	TCF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	1	1	2	【新設】
小便器			(4)		(4)	【既設のまま】

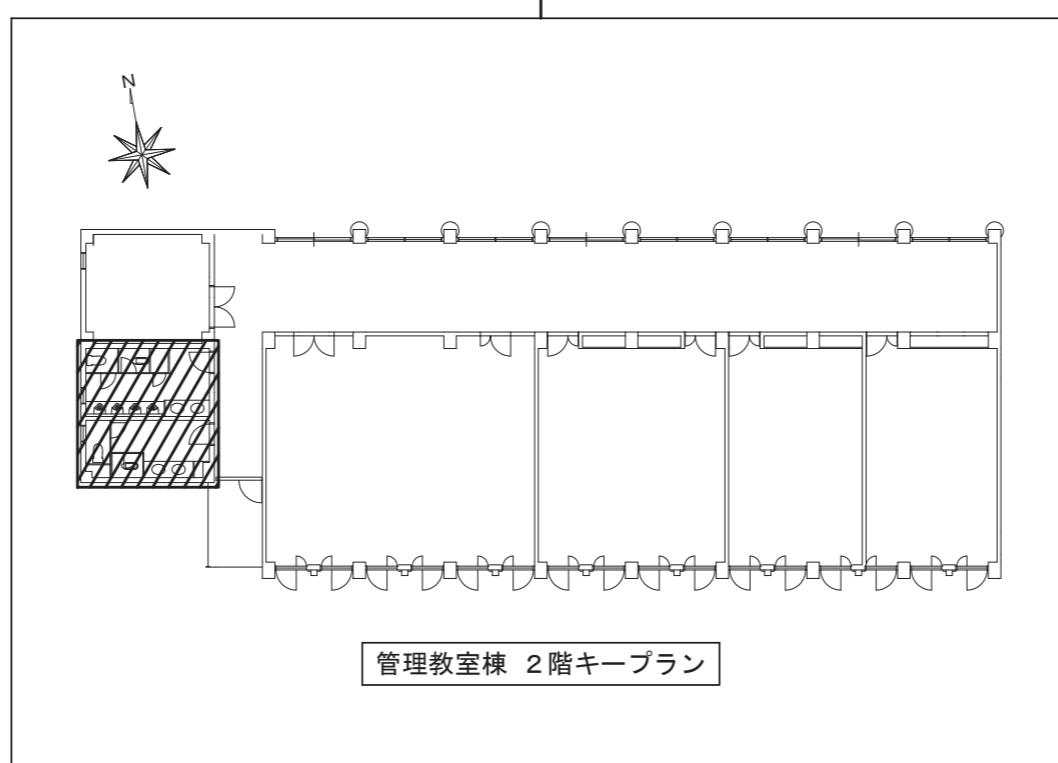
【注記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※図中  は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり塩ビシート0.4㎡程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (テラズブロック)、木製扉は補修の上、再利用とし、鍵・丁番金具類は全て取替えとする。



← 改修

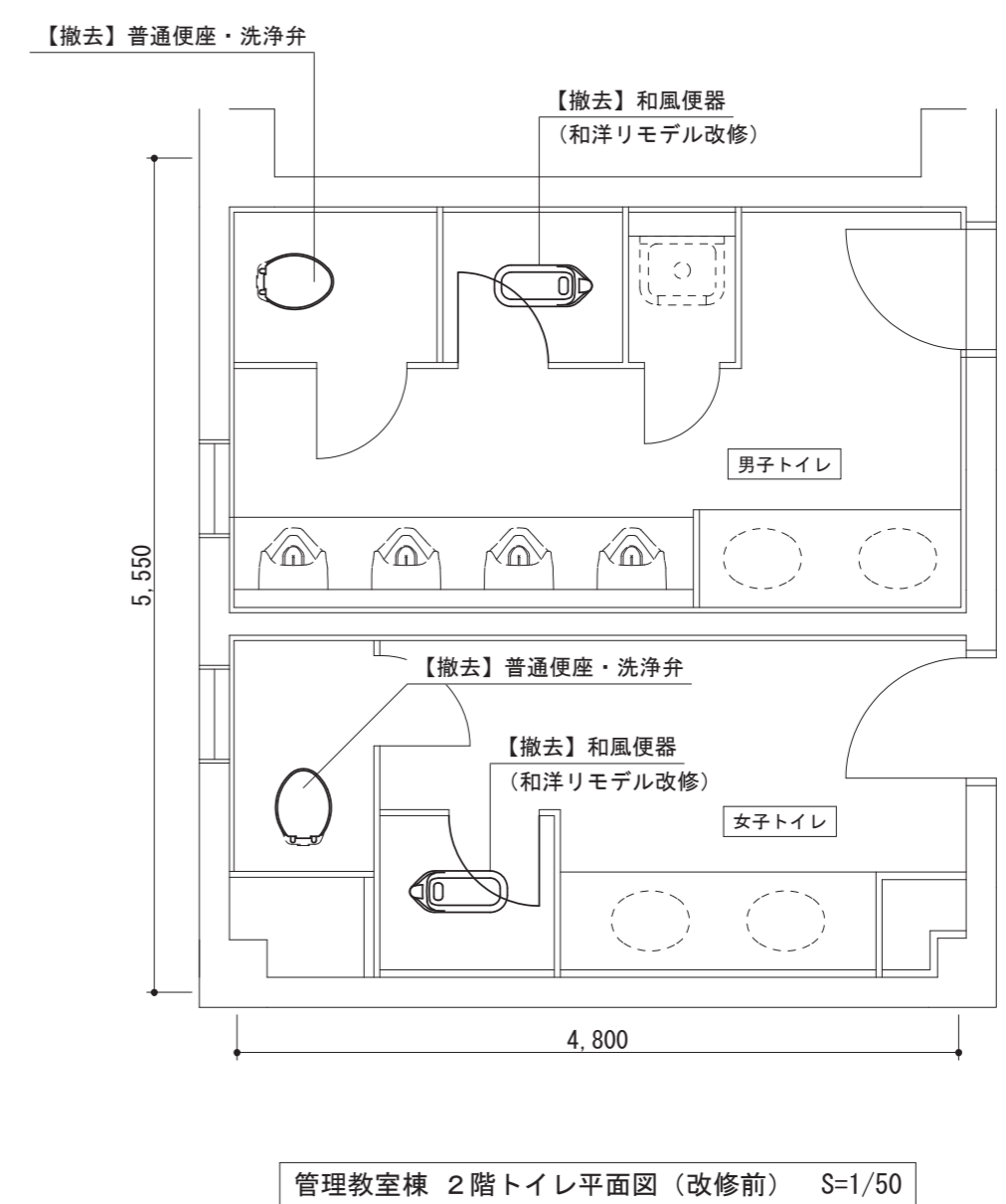


衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	2階男子トイレ	2階女子トイレ	合計	備考
和風便器	C750V, TV750CR	FV(手動), 紙巻器	1	1	2	【撤去】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21	紙巻器	(1)	(1)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750DHR	FV(手動・床給水), 配管セット	1	1	2	【撤去】
普通便座			1	1	2	【撤去】
小便器			(4)		(4)	【既設のまま】

特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。



一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
 Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認 管理技術者 担当 作図
 田村 板倉 門水 門水

縮尺 1/50 (A2)
 設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
 図面名称 管理教室棟 2階平面図 (改修後・改修前)

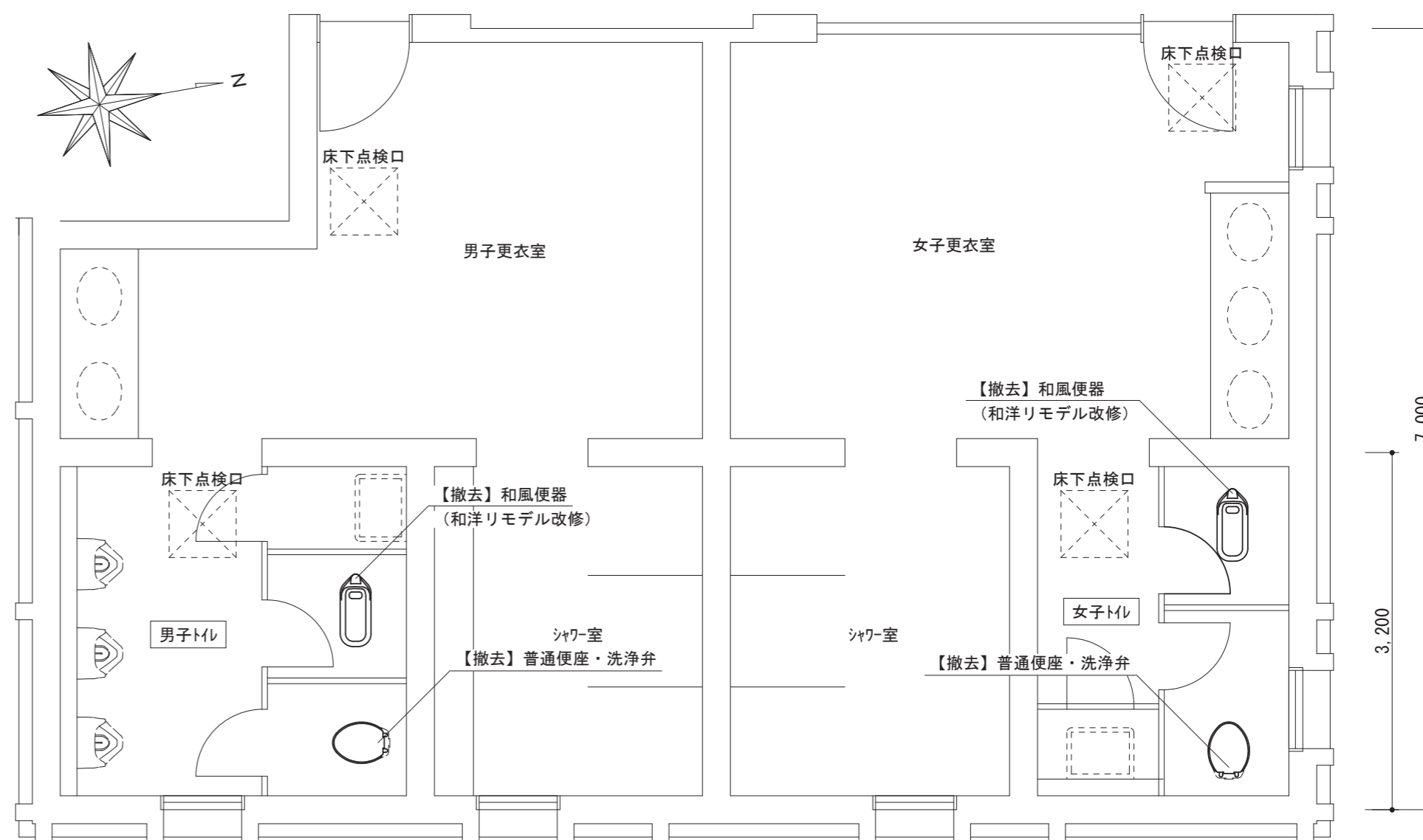
図面番号 M-05 / 20

衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	男子トイレ	女子トイレ	合計	備考
和風便器	C750V, TV750CR	FV(手動・床給水), 紙巻器	1	1	2	【撤去】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21	紙巻器	(1)	(1)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750DHR	FV(手動・床給水), 配管セット	1	1	2	【撤去】
普通便座			1	1	2	【撤去】
小便器			(3)		(3)	【既設のまま】

特記事項


※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
 ※図中特記無き配管は露出配管とする。
 ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。

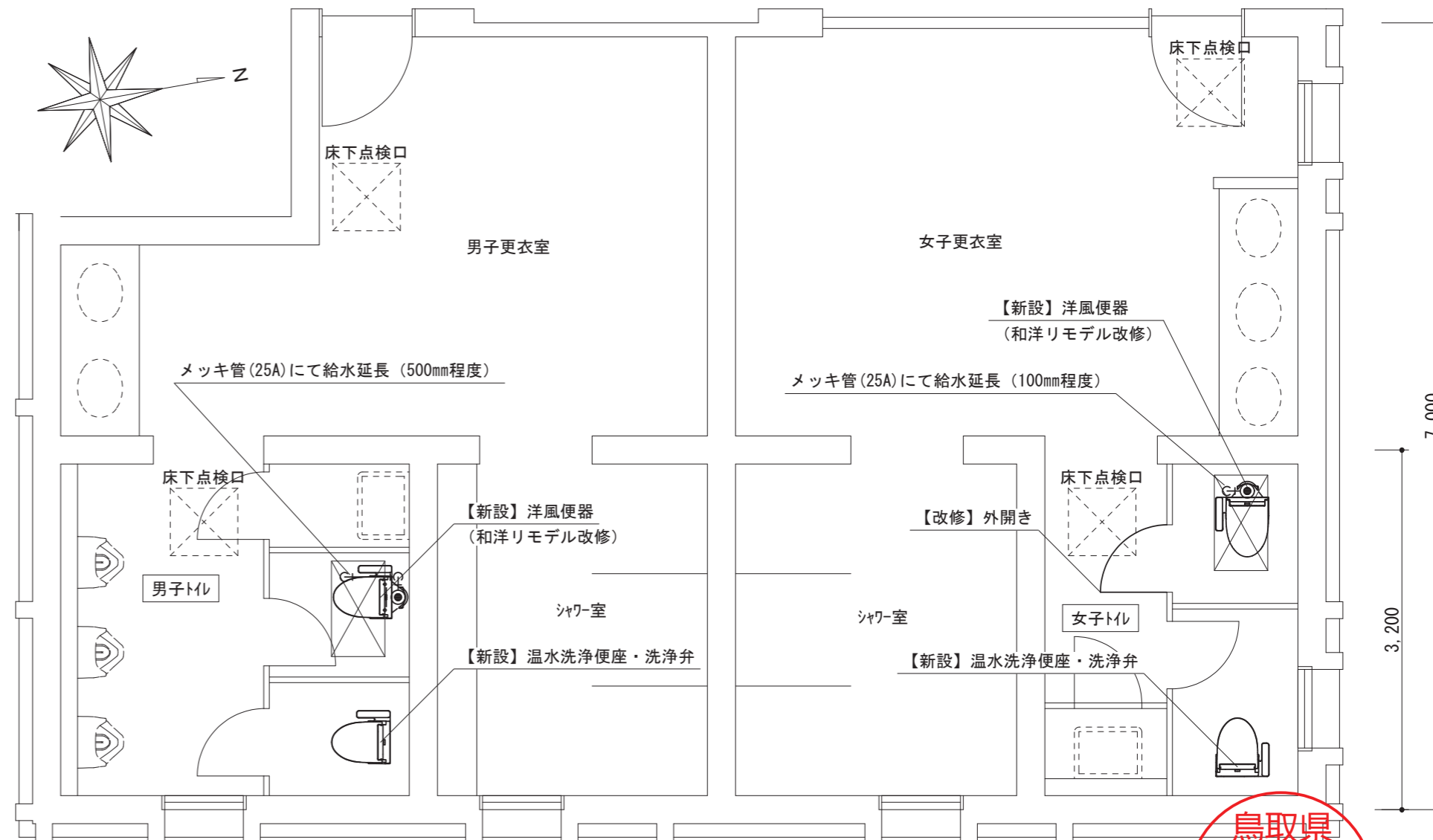


体育館棟 トイレ平面図 (改修前) S=1/50



特記事項

※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
 ※図中特記無き配管は露出配管とする。
 ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
 ※図中  は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
 ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり塩ビシート0.4m程度)
 ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
 ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
 ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
 ※ブース外開き改修において、既設ブース (テラソブロック)、木製扉は補修の上、再利用とし、鍵・丁番金具類は全て取替えとする。



体育館棟 トイレ平面図 (改修後) S=1/50

衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	男子トイレ	女子トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動・床給水), 掃除口付, 温水洗浄便座 (貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	1	1	2	【新設】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21	紙巻器	(1)	(1)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550S	FV(手動・床給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	1	1	2	【新設】
温水洗浄便座	TCF588	温水洗浄便座 (貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	1	1	2	【新設】
小便器			(3)		(3)	【既設のまま】

注 記 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。



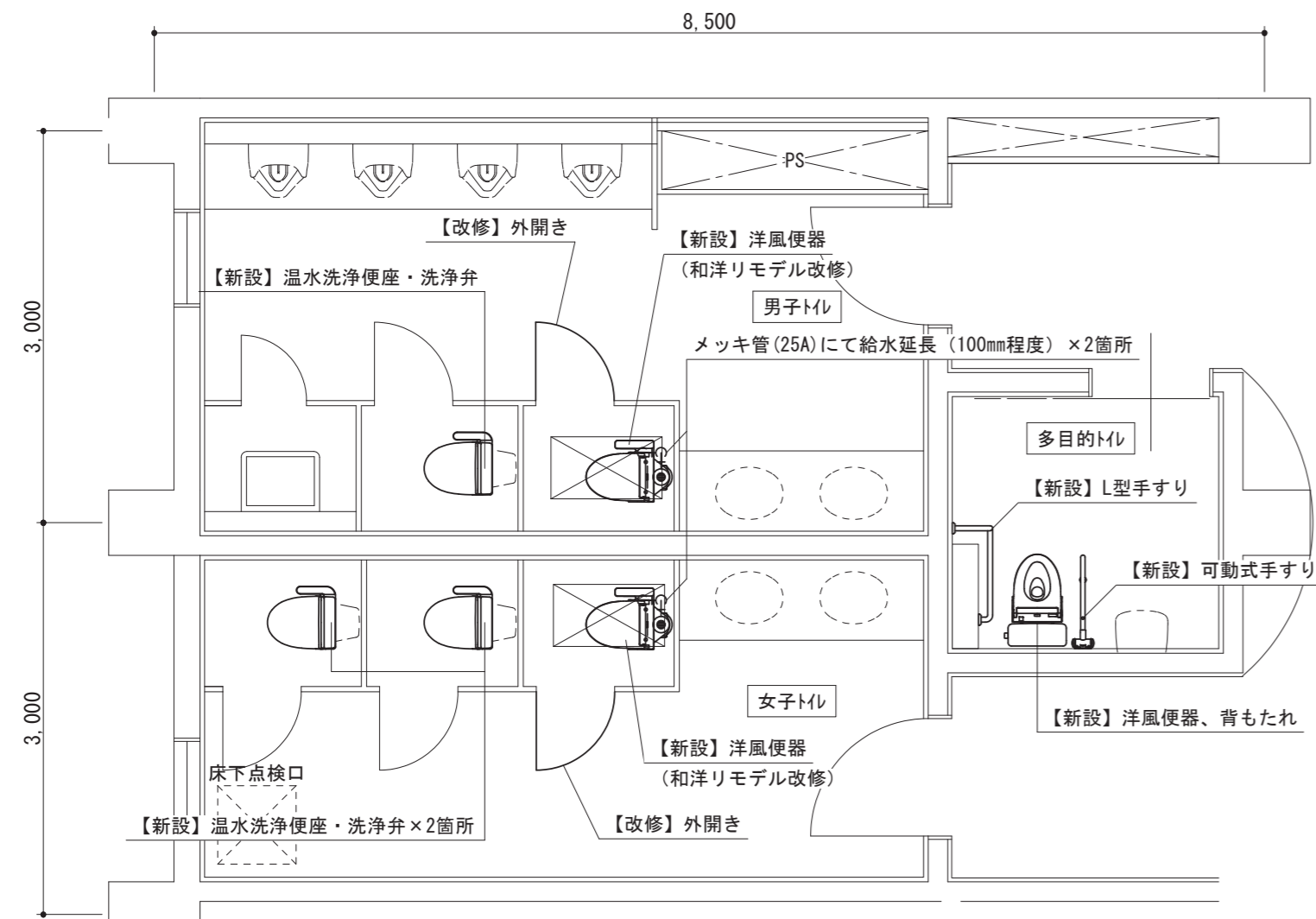
衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	1階男子トイレ	1階女子トイレ	1階多目的トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動・床給水), 掃除口付, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	1	1		2	【新設】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	CS20AB, SH30BA, TCF5534AP, TCA348, YH702	高座面, ロータンク, 掃除口付, 洗浄リモコン (発電式), 温水洗浄便座(貯湯式・AC100V・発電リモコン), 棚付二連紙巻器			1	1	【新設】
洋風便器	C48	紙巻器	(1)	(2)		(3)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550CS	FV(手動・床給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	1	2		3	【新設】
温水洗浄便座	TCF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	1	2		3	【新設】
小便器			(4)			(4)	【既設のまま】
背もたれ	EW0285CS	樹脂製, 固定金具共			1	1	【新設】
L型手すり	T112CRS	樹脂製, 固定金具共			1	1	【新設】
可動式手すり	T112HK8R	樹脂製, 固定金具共			1	1	【新設】

【注記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※図中 は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり塩ビシート0.4m程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (テラゾブロック)、木製扉は補修の上、再利用とし、鍵・丁番金具類は全て取替えとする。



国際交流館棟 1階トイレ平面図 (改修後) S=1/50

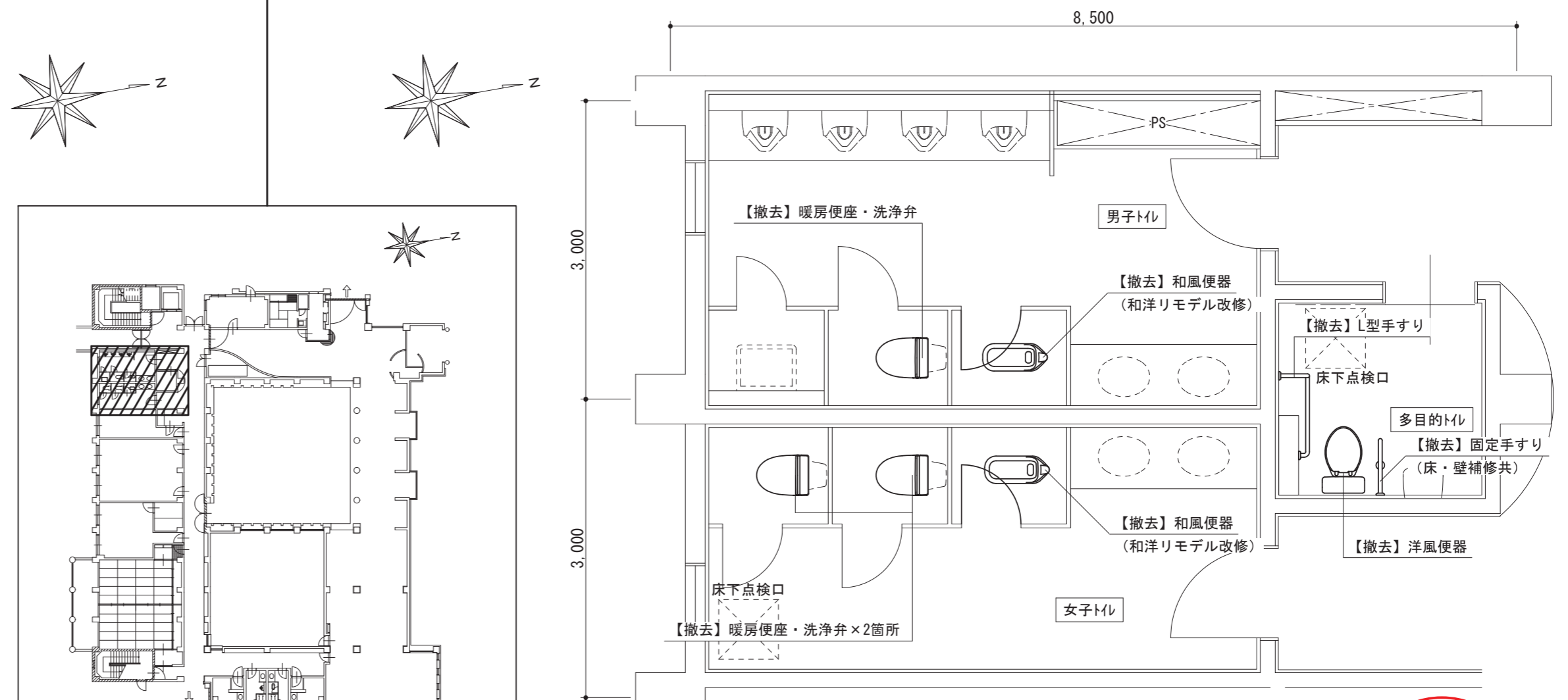
衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	1階男子トイレ	1階女子トイレ	1階多目的トイレ	合計	備考
和風便器	C750V, TV750CR	FV(手動・床給水), 紙巻器	1	1		2	【撤去】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C710A, S710B, 234-010-PI (カクダイ)	ロータンク, 暖房便座, 紙巻器			1	1	【撤去】
洋風便器	C48	紙巻器	(1)	(2)		(3)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750SRV1	FV(手動・床給水), 配管セット	1	2		3	【撤去】
暖房便座		AC100V	1	2		3	【撤去】
小便器			(4)			(4)	【既設のまま】
L型手すり		SUS製			1	1	【撤去】
固定手すり		SUS製			1	1	【撤去】

特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。

← 改修



国際交流館棟 1階トイレ平面図 (改修前) S=1/50

国際交流館棟 1階キープラン



一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認 田村
管理技術者 板倉
担当 門水
作図 門水

縮尺 1/50 (A2)
設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
図面名称 国際交流館棟 1階トイレ平面図 (改修後・改修前)


図面番号 M-07 / 20

衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	1階男子トイレ	1階女子トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動・床給水), 掃除口付, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器		1	1	【新設】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C48	紙巻器	(1)	(1)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550CS	FV(手動・床給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	1	1	2	【新設】
温水洗浄便座	TCF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	1	1	2	【新設】
小便器			(1)		(1)	【既設のまま】

【注 記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

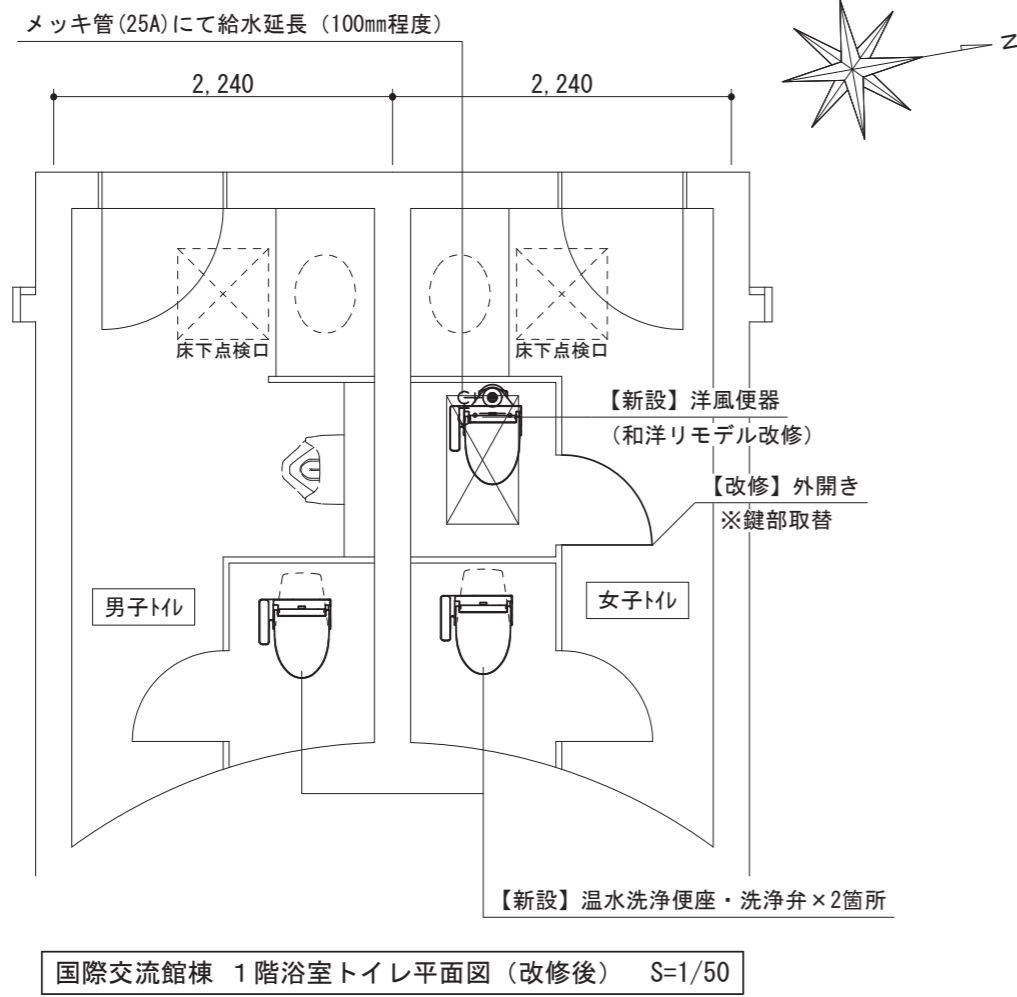
- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※図中  は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり塩ビシート0.4m程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (テラゾブロック)、木製扉は補修の上、再利用とし、鍵・丁番金具類は全て取替えとする。

衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	1階男子トイレ	1階女子トイレ	合計	備考
和風便器	C750V, TV750CR	FV(手動・床給水), 紙巻器		1	1	【撤去】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C48	紙巻器	(1)	(1)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750SRV1	FV(手動・床給水), 配管セット	1	1	2	【撤去】
暖房便座		AC100V	1	1	2	【撤去】
小便器			(1)		(1)	【既設のまま】

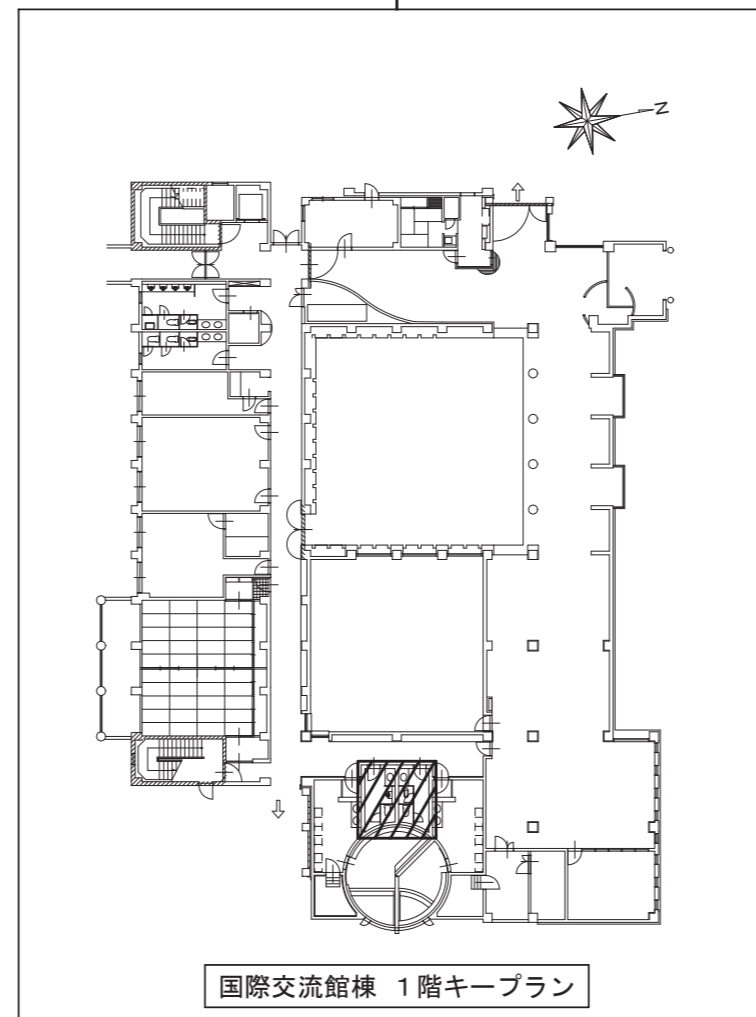
特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。

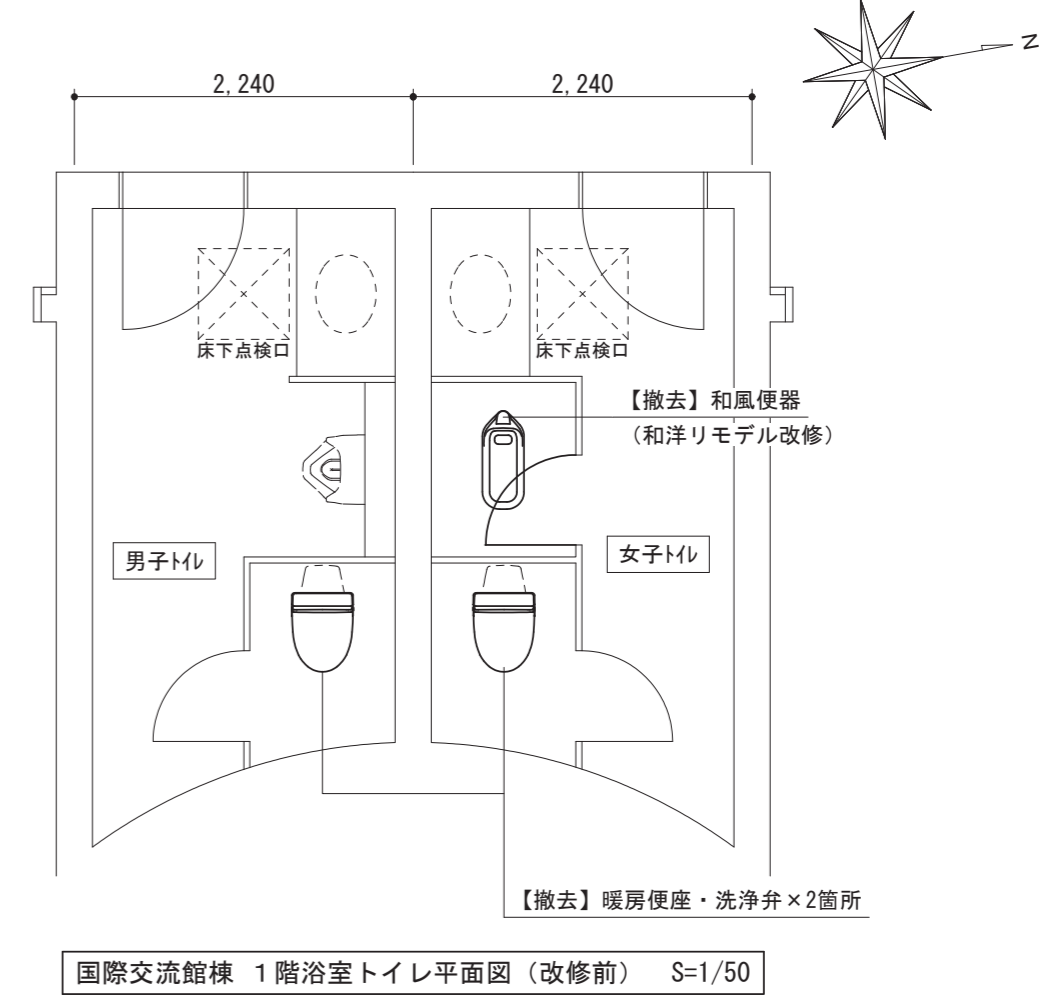


国際交流館棟 1階浴室トイレ平面図 (改修後) S=1/50

← 改 修



国際交流館棟 1階キープラン



国際交流館棟 1階浴室トイレ平面図 (改修前) S=1/50



一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
 Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	門水	門水

縮尺 1/50 (A2)
 設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
 図面名称 国際交流館棟 1階浴室トイレ平面図 (改修後・改修前)

図面番号 M-08 / 20

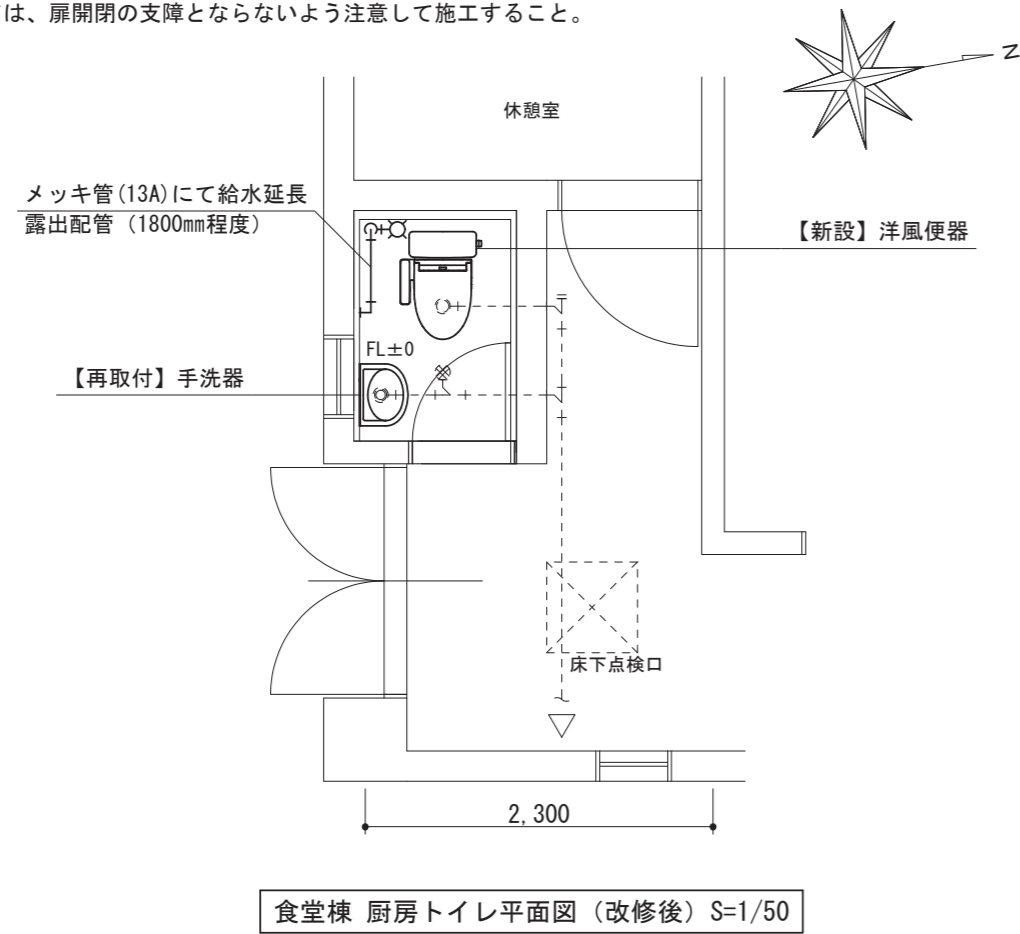
衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	厨房 トイレ	合 計	備考
洋風便器	CS597BMCS, SH596BAR, TCF588, YH702	リモデルタイプ, ロータンク, 掃除口付, 温水洗浄浄座 (貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	1	1	【新設】 (在来工法)
手洗器	L5DR		1	1	【再取付】

【注記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管はビット内配管とする。
- ※図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備を確認のうえ施工すること。
- ※土間及び仕上復旧範囲は参考とし、採用器具の寸法に合わせて施工すること。
- ※新設便器のレイアウトについては、扉開閉の支障とならないよう注意して施工すること。



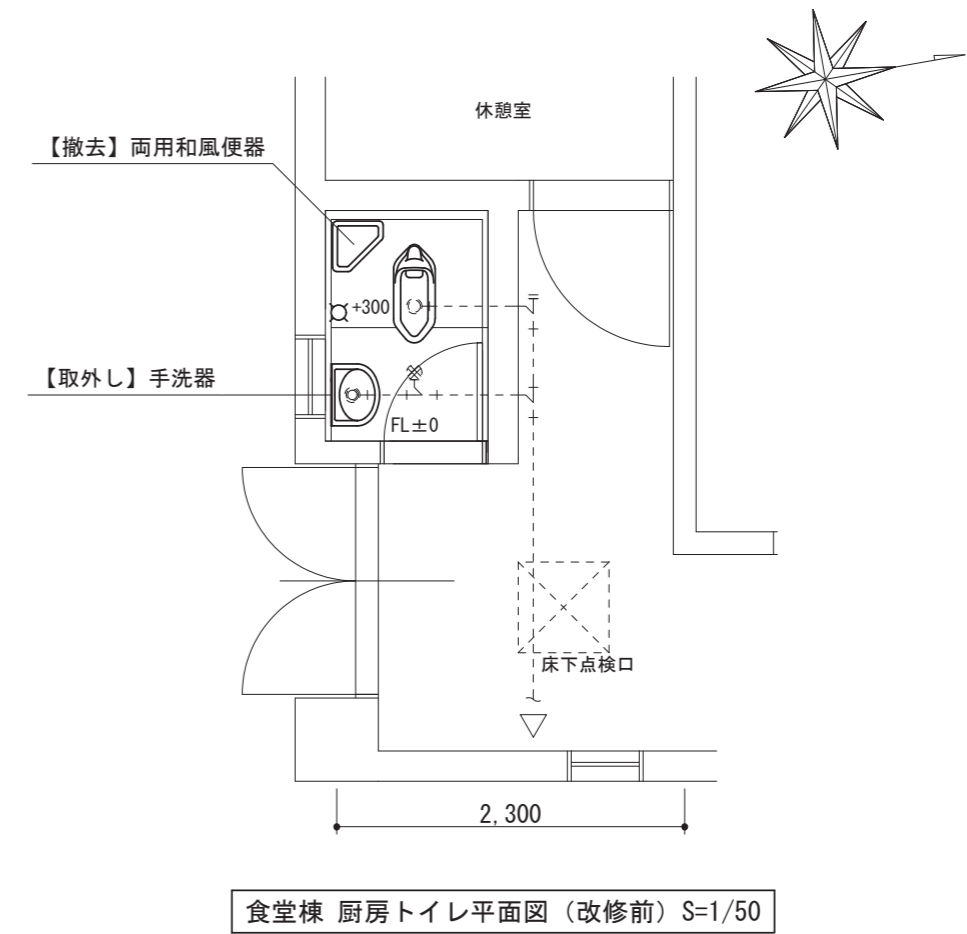
食堂棟 厨房トイレ平面図 (改修後) S=1/50

衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	厨房 トイレ	合 計	備考
両用和風便器	C750AV, S570B	ロータンク, 紙巻器	1	1	【撤去】 (在来工法)
手洗器	L5DR		1	1	【取外し】

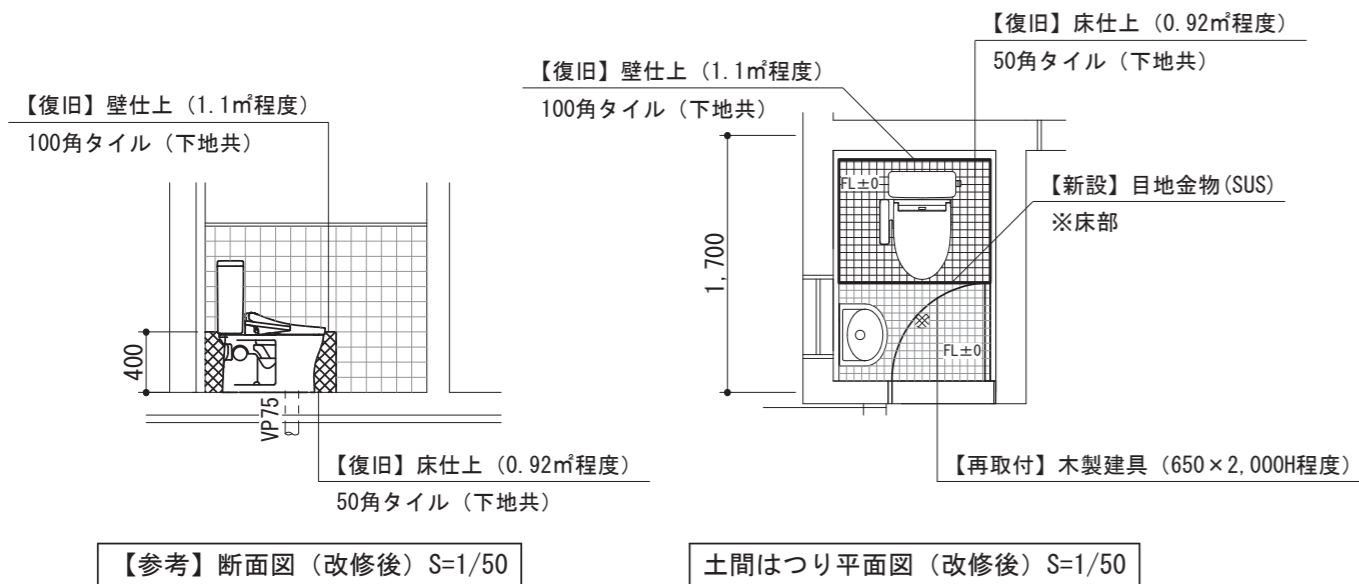
特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管はビット内配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。



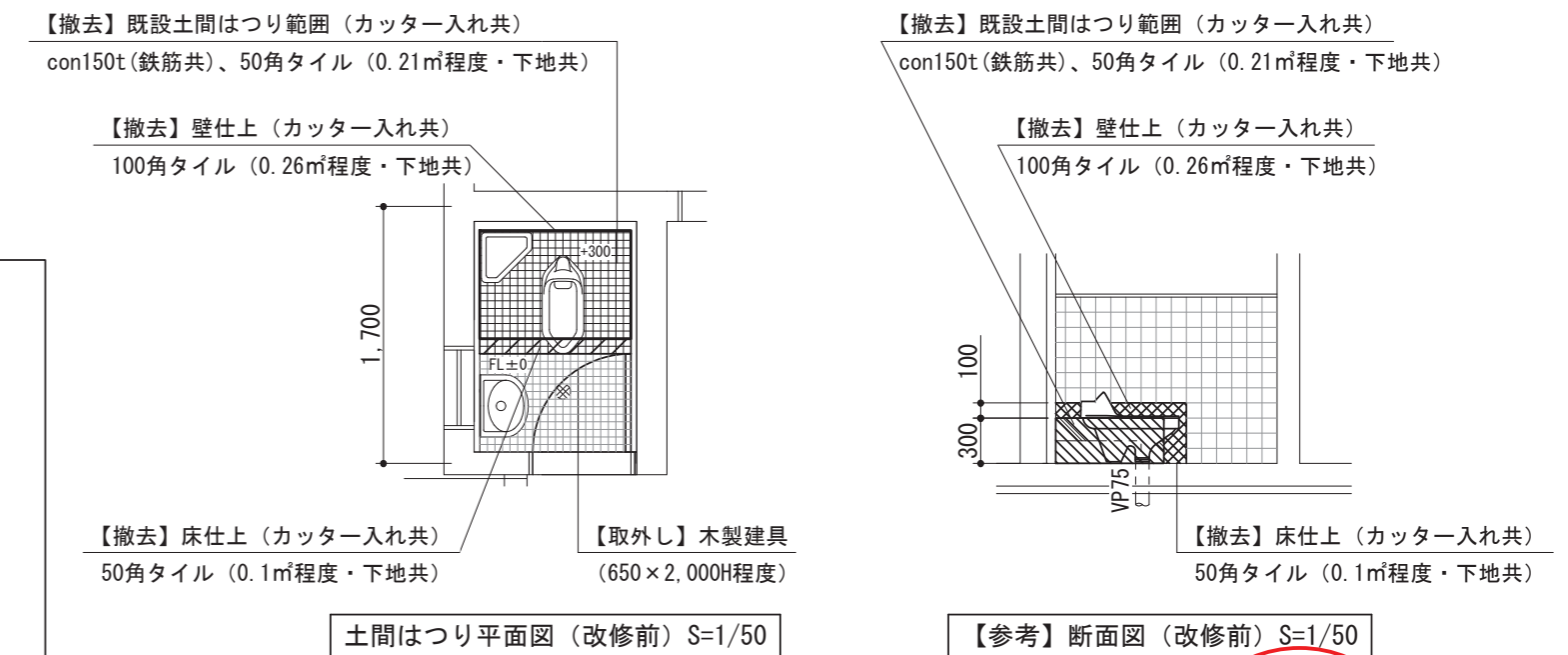
食堂棟 厨房トイレ平面図 (改修前) S=1/50

← 改修



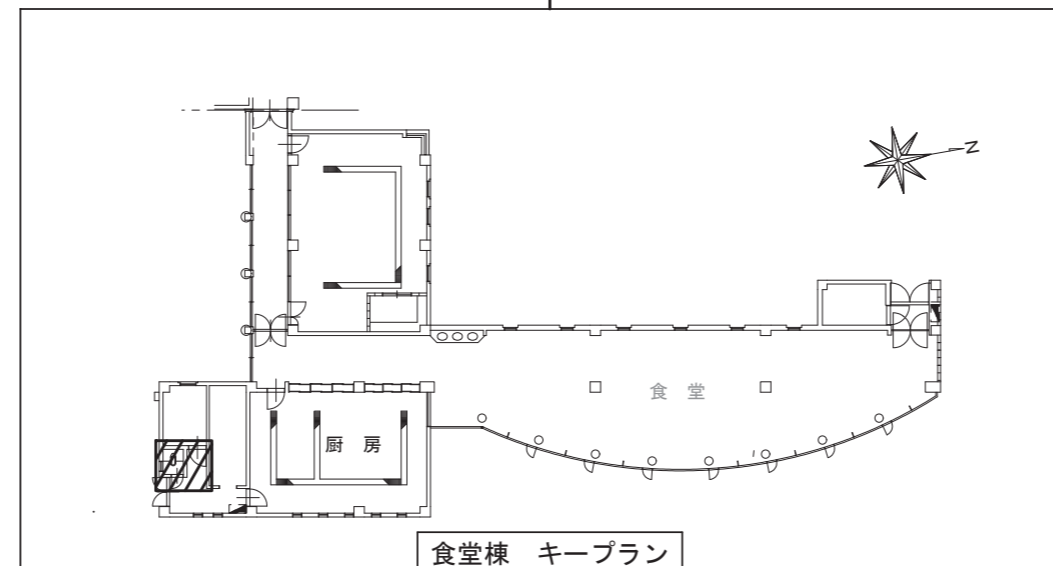
【参考】断面図 (改修後) S=1/50

土間はつり平面図 (改修後) S=1/50



土間はつり平面図 (改修前) S=1/50

【参考】断面図 (改修前) S=1/50



食堂棟 キープラン


鳥取県
令和7年度
J2500470
総務部営繕課

衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	1階男子トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動・床給水), 掃除口付, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	2	2	【新設】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550S	FV(手動・床給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	2	2	【新設】
温水洗浄便座	TOF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	2	2	【新設】
小便器			(4)	(4)	【既設のまま】

【注 記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

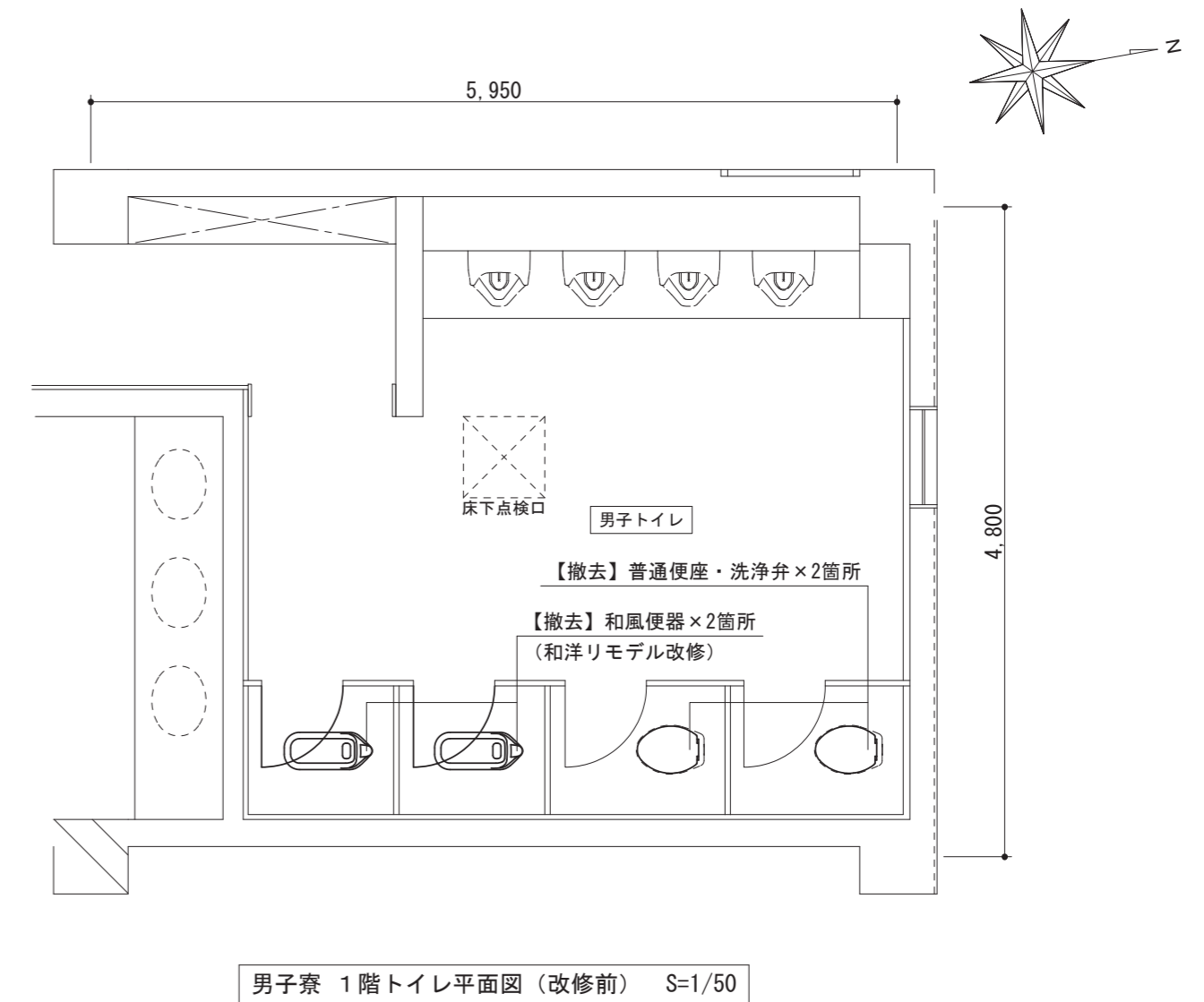
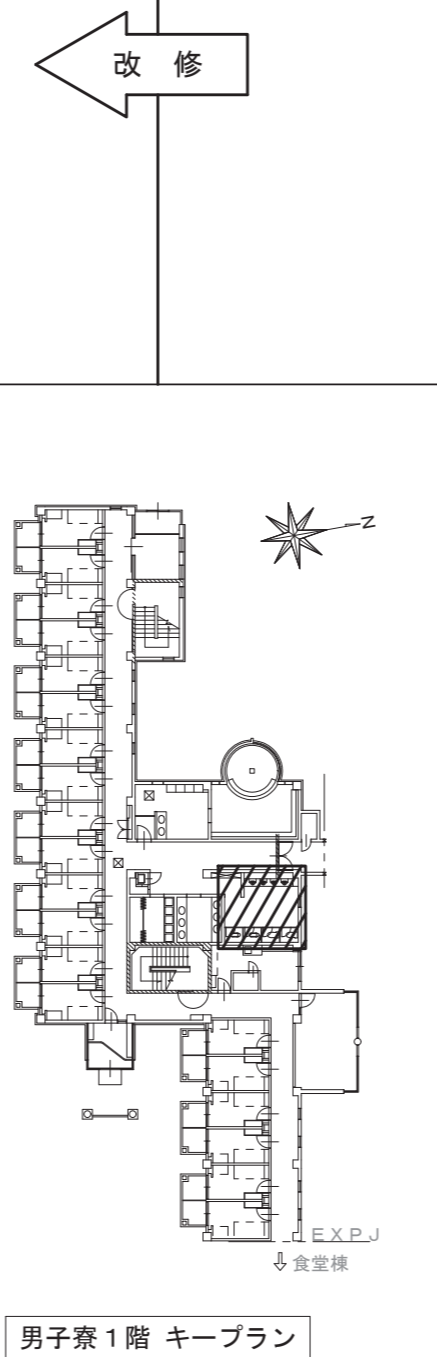
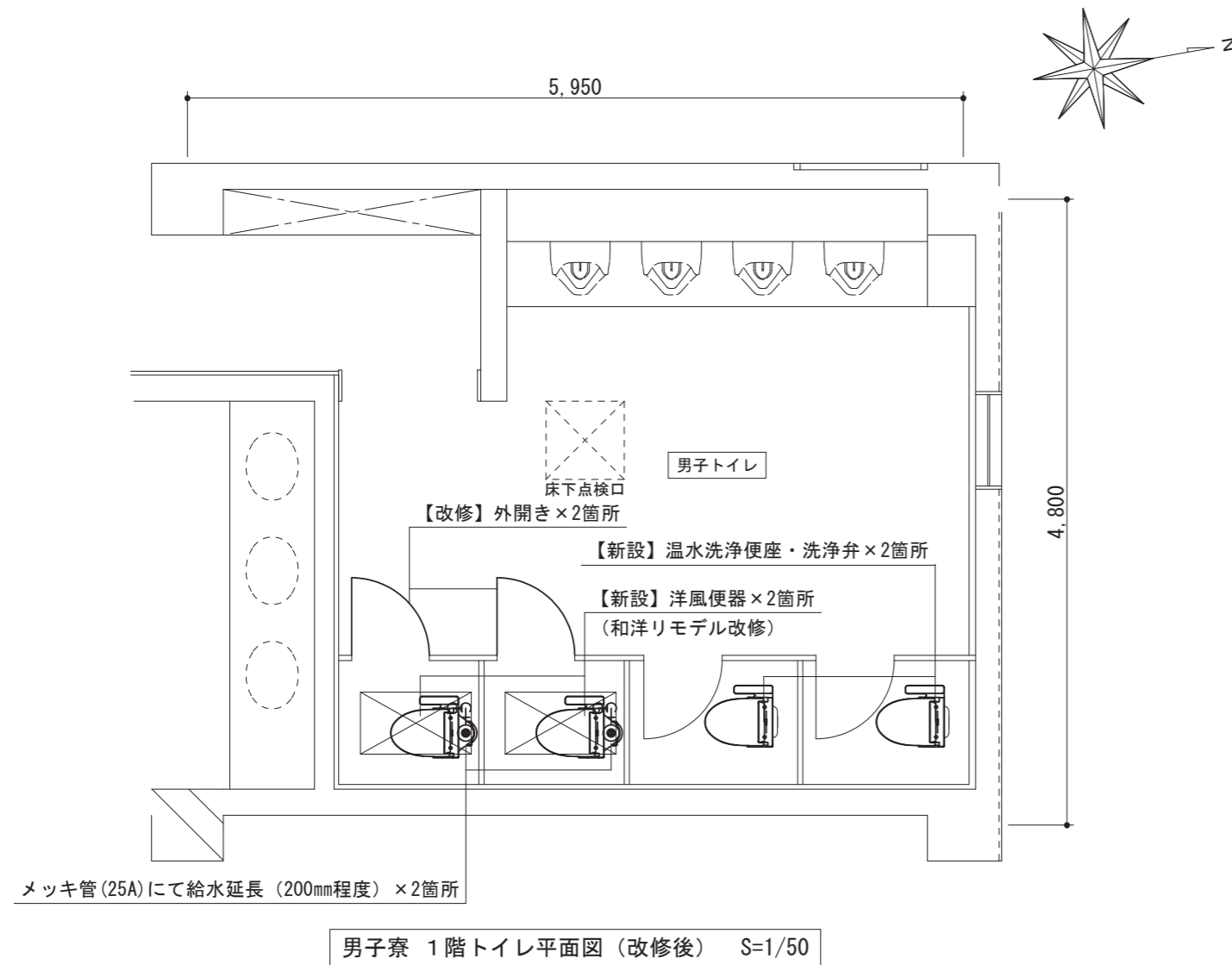
- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※図中  は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり塩ビシート0.4m程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (テラゾブロック)、木製扉は補修の上、再利用とし、鍵・丁番金具類は全て取替えとする。

衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	1階男子トイレ	合計	備考
和風便器	C750V, TV750CR	FV(手動・床給水), 紙巻器	2	2	【撤去】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750DHR	FV(手動・床給水), 配管セット	2	2	【撤去】
普通便座			2	2	【撤去】
小便器			(4)	(4)	【既設のまま】

特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。




衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	2階男子トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動・床給水), 掃除口付, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	2	2	【新設】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550S	FV(手動・床給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	2	2	【新設】
温水洗浄便座	TOF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	2	2	【新設】
小便器			(4)	(4)	【既設のまま】

【注 記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

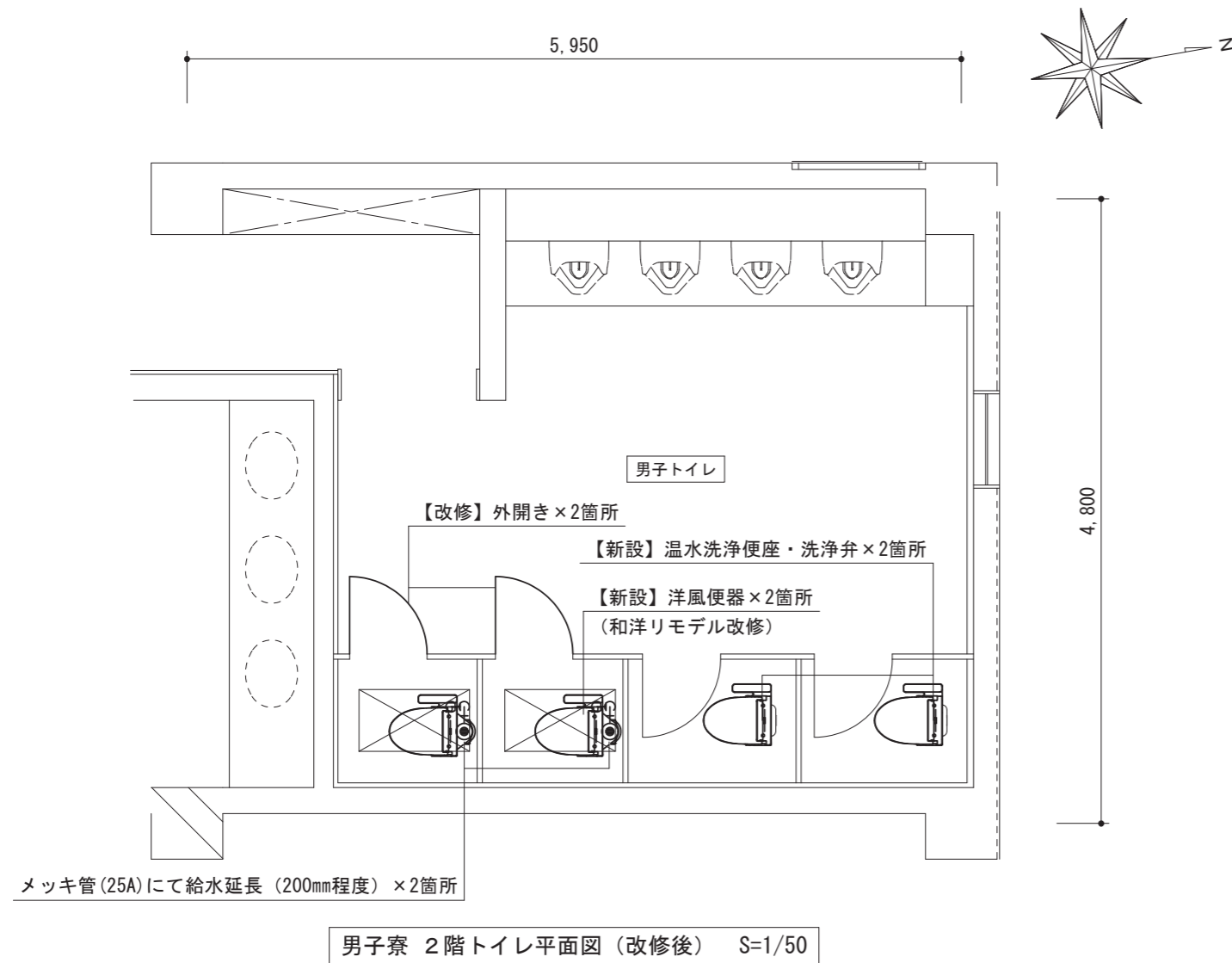
- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※図中  は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり塩ビシート0.4m程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (テラゾブロック)、木製扉は補修の上、再利用とし、鍵・丁番金具類は全て取替えとする。

衛生器具表 (改修前)

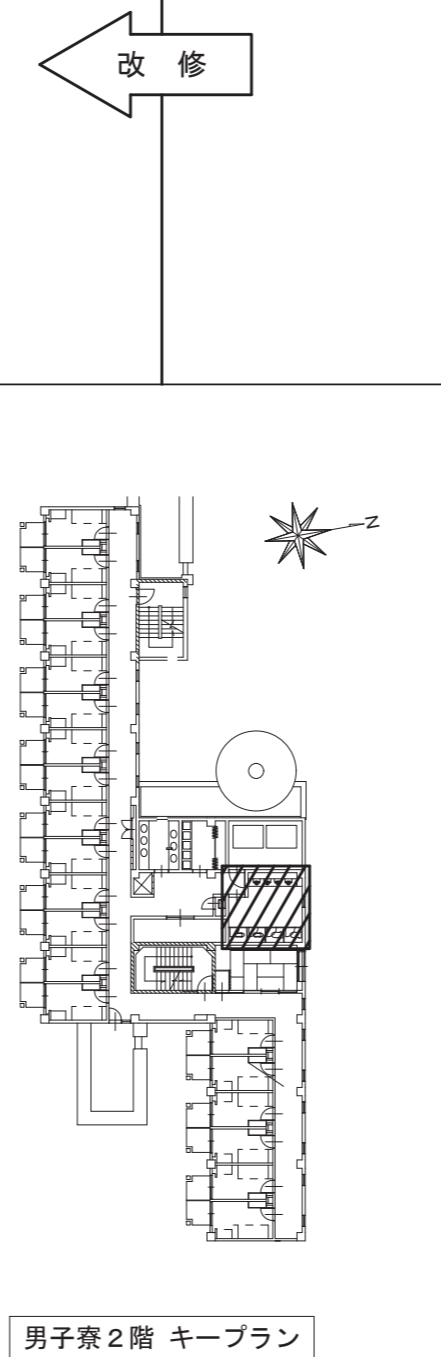
名称	型式 (TOTO)	仕様	2階男子トイレ	合計	備考
和風便器	C750V, TV750CR	FV(手動・床給水), 紙巻器	2	2	【撤去】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750DHR	FV(手動・床給水), 配管セット	2	2	【撤去】
普通便座			2	2	【撤去】
小便器			(4)	(4)	【既設のまま】

特記事項

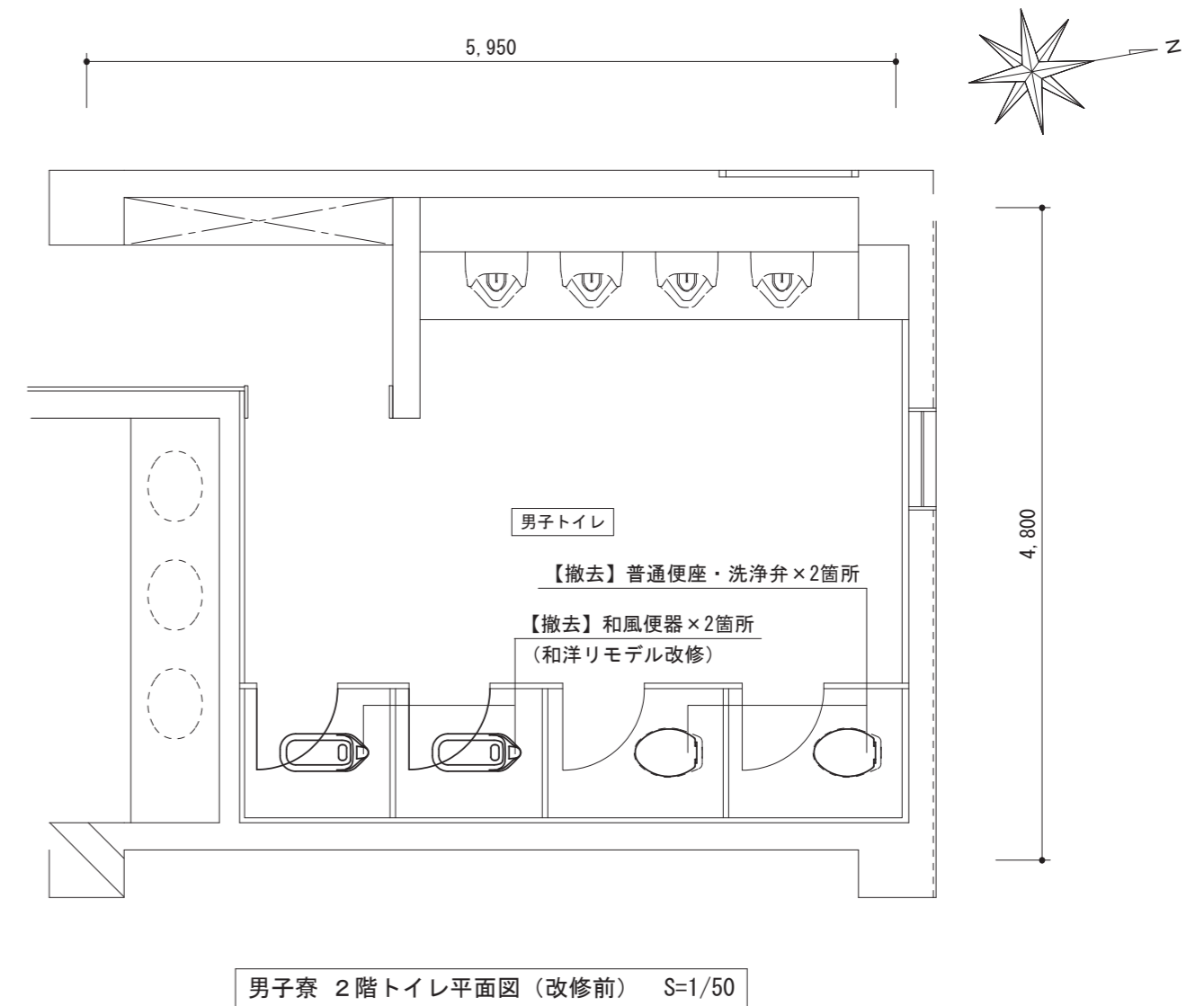
- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。



男子寮 2階トイレ平面図 (改修後) S=1/50



男子寮 2階 キープラン



男子寮 2階トイレ平面図 (改修前) S=1/50



衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	3階男子トイレ	合計	備考
洋風便器	C21	紙巻器	(3)	(3)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550S	FV(手動・床給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	3	3	【新設】
温水洗浄便座	TCF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	3	3	【新設】
小便器			(2)	(2)	【既設のまま】

特記事項

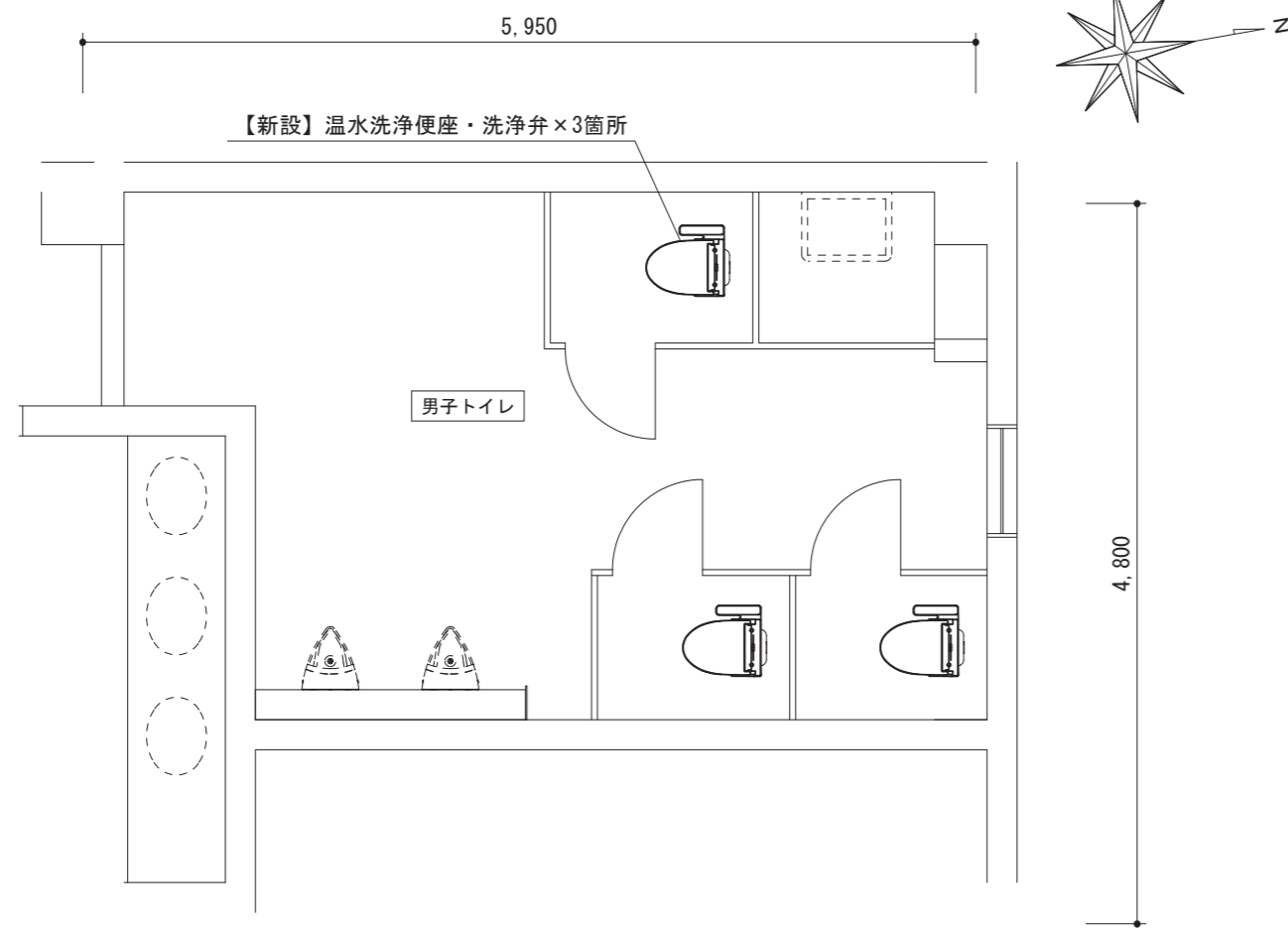
※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
 ※図中特記無き配管は露出配管とする。
 ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。

衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	3階男子トイレ	合計	備考
洋風便器	C21	紙巻器	(3)	(3)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750DHR	FV(手動・床給水), 配管セット	3	3	【撤去】
普通便座			3	3	【撤去】
小便器			(2)	(2)	【既設のまま】

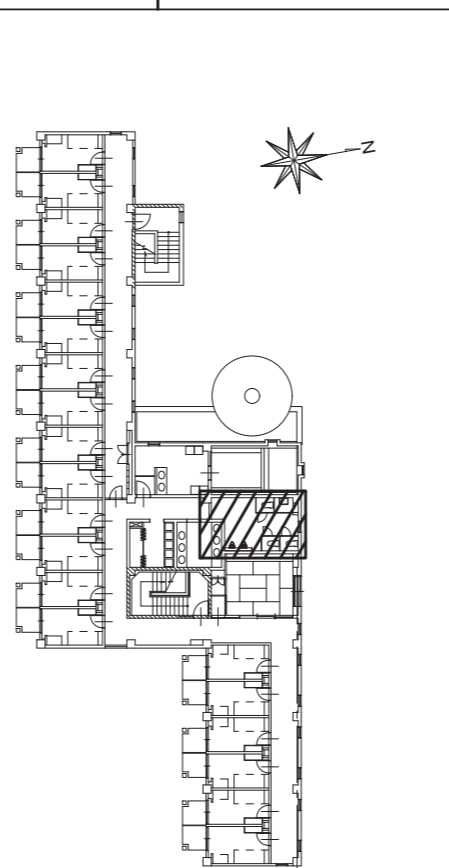
特記事項

※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設(既設のまま)を示す。
 ※図中特記無き配管は露出配管とする。

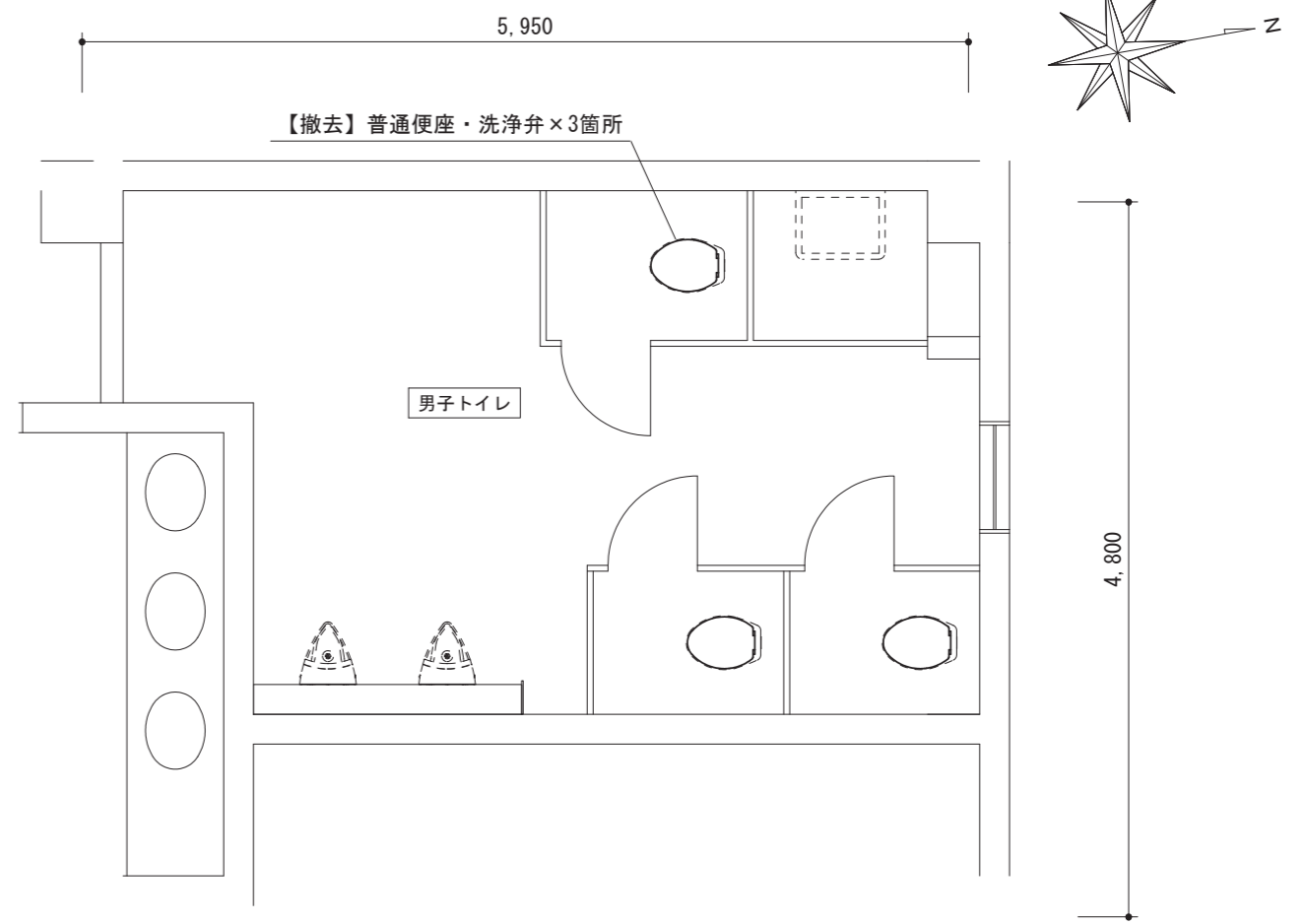


男子寮 3階トイレ平面図 (改修後) S=1/50

← 改修



男子寮 3階 キープラン



男子寮 3階トイレ平面図 (改修前) S=1/50



衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	1階女子トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動・床給水), 掃除口付, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	2	2	【新設】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21R	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550S	FV(手動・壁給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	2	2	【新設】
温水洗浄便座	TCF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	2	2	【新設】

【注記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

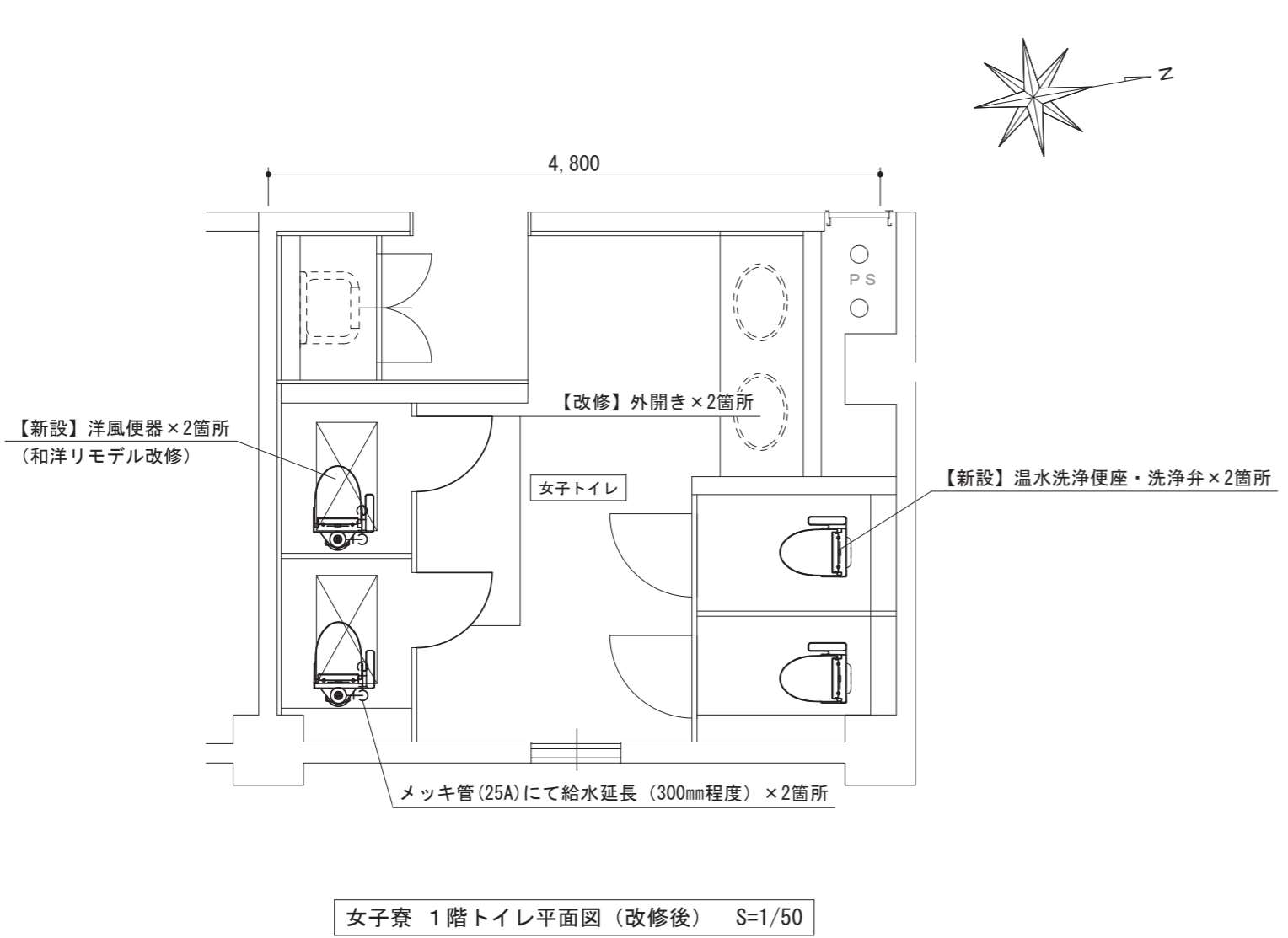
- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※図中 は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり磁器質無釉150口タイル0.4㎡程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (メラミン化粧板)、扉、丁番は再利用とし、鍵・戸当たり金具は取替えとする。

衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	1階女子トイレ	合計	備考
和風便器	C755VFU, TV750CR	FV(手動・床給水), 紙巻器	2	2	【撤去】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21R	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750LS	FV(手動・壁給水), 配管セット	2	2	【撤去】
暖房便座			2	2	【撤去】

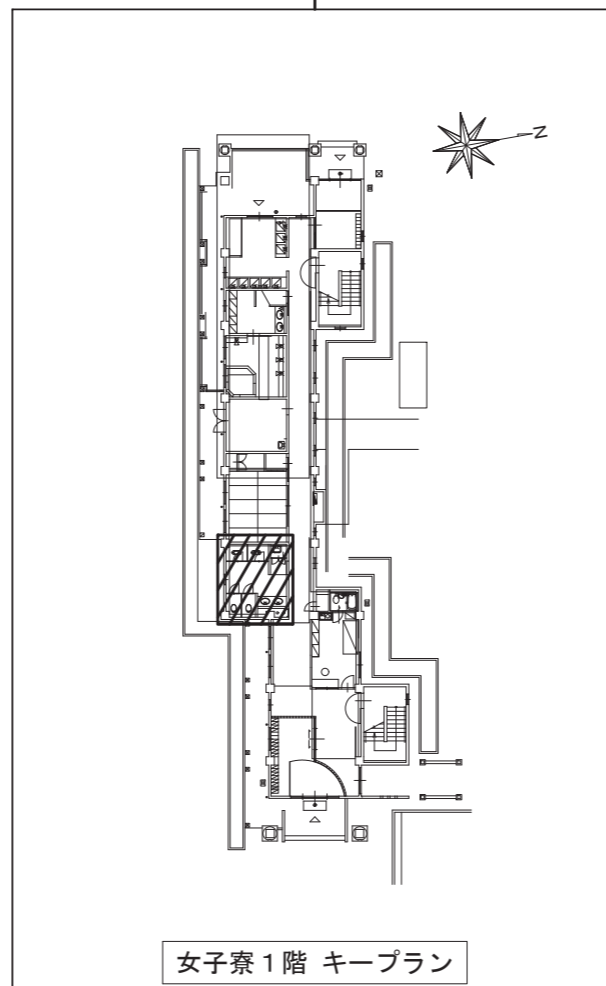
特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。
- ※撤去する床防水材 (改質アスファルト防水) にアスベストが含有されている可能性があるため、3階の1箇所をアスベスト含有あり (みなし) として先行工事し、工事の際に施工者で防水材の分析調査を行ってアスベスト含有の有無を確認すること。
- ※上記でアスベスト含有が認められた場合は、女子寮の残り5箇所もアスベスト含有ありとして適正に撤去、発生材処理すること。この場合の費用は別途協議とする。(設計では、アスベスト含有なしを想定している。)

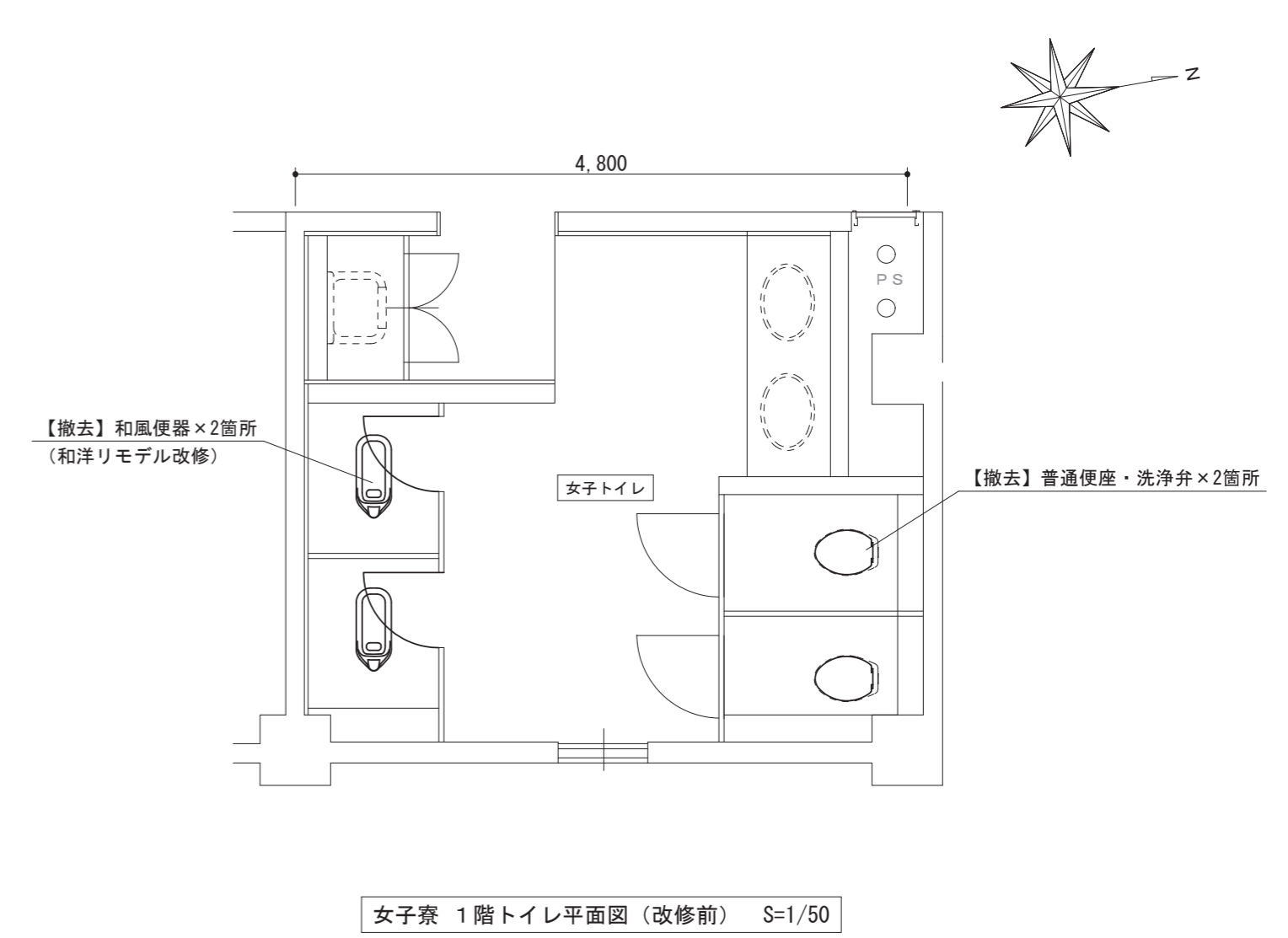


女子寮 1階トイレ平面図 (改修後) S=1/50

← 改修



女子寮 1階 キープラン



女子寮 1階トイレ平面図 (改修前) S=1/50



衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	2階女子トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動・床給水), 掃除口付, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	2	2	【新設】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21R	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550S	FV(手動・壁給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	2	2	【新設】
温水洗浄便座	TCF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	2	2	【新設】

【注 記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※図中 は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり磁器質無軸150口タイル0.4㎡程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (メラミン化粧板)、扉、丁番は再利用とし、鍵・戸当たり金具は取替えとする。

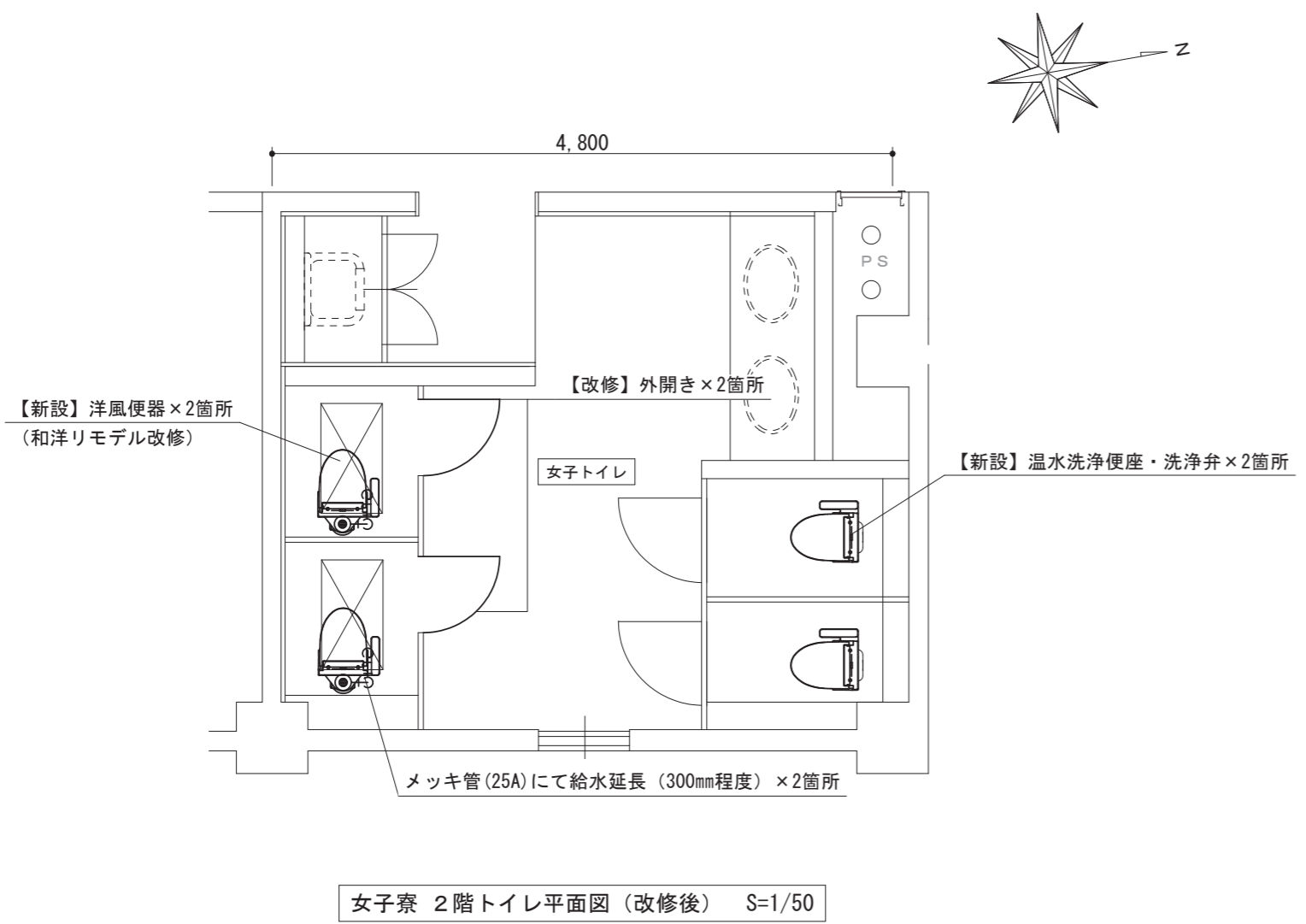
衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	2階女子トイレ	合計	備考
和風便器	C755VFU, TV750CR	FV(手動・床給水), 紙巻器	2	2	【撤去】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21R	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750LS	FV(手動・壁給水), 配管セット	2	2	【撤去】
暖房便座			2	2	【撤去】

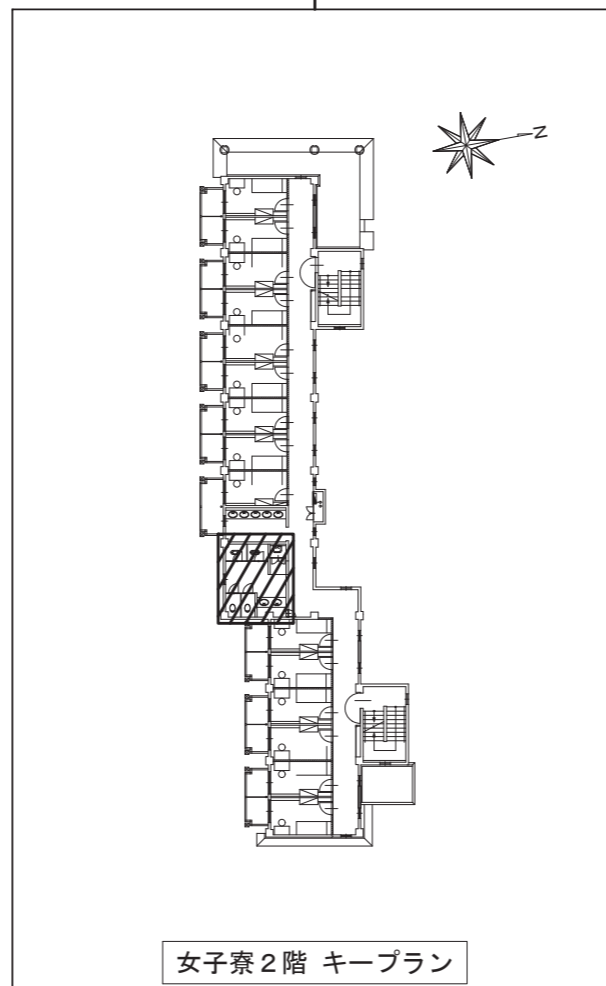
特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。

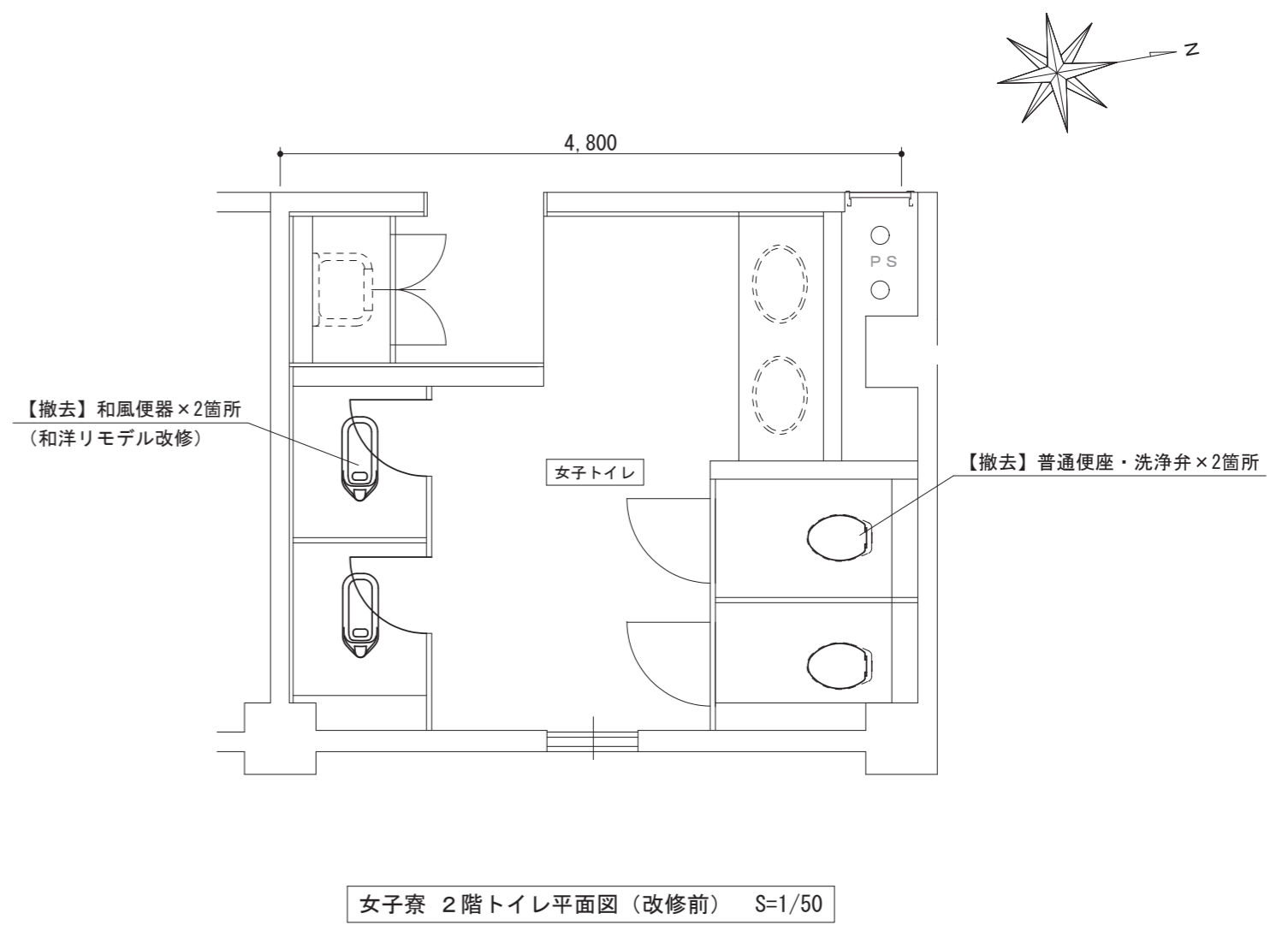
← 改 修



女子寮 2階トイレ平面図 (改修後) S=1/50



女子寮 2階 キープラン



女子寮 2階トイレ平面図 (改修前) S=1/50




衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	3階女子トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動・床給水), 掃除口付, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	2	2	【新設】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21R	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV550S	FV(手動・壁給水), 配管セット, 温水洗浄便座用給水分岐口付	2	2	【新設】
温水洗浄便座	TCF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共	2	2	【新設】

【注 記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

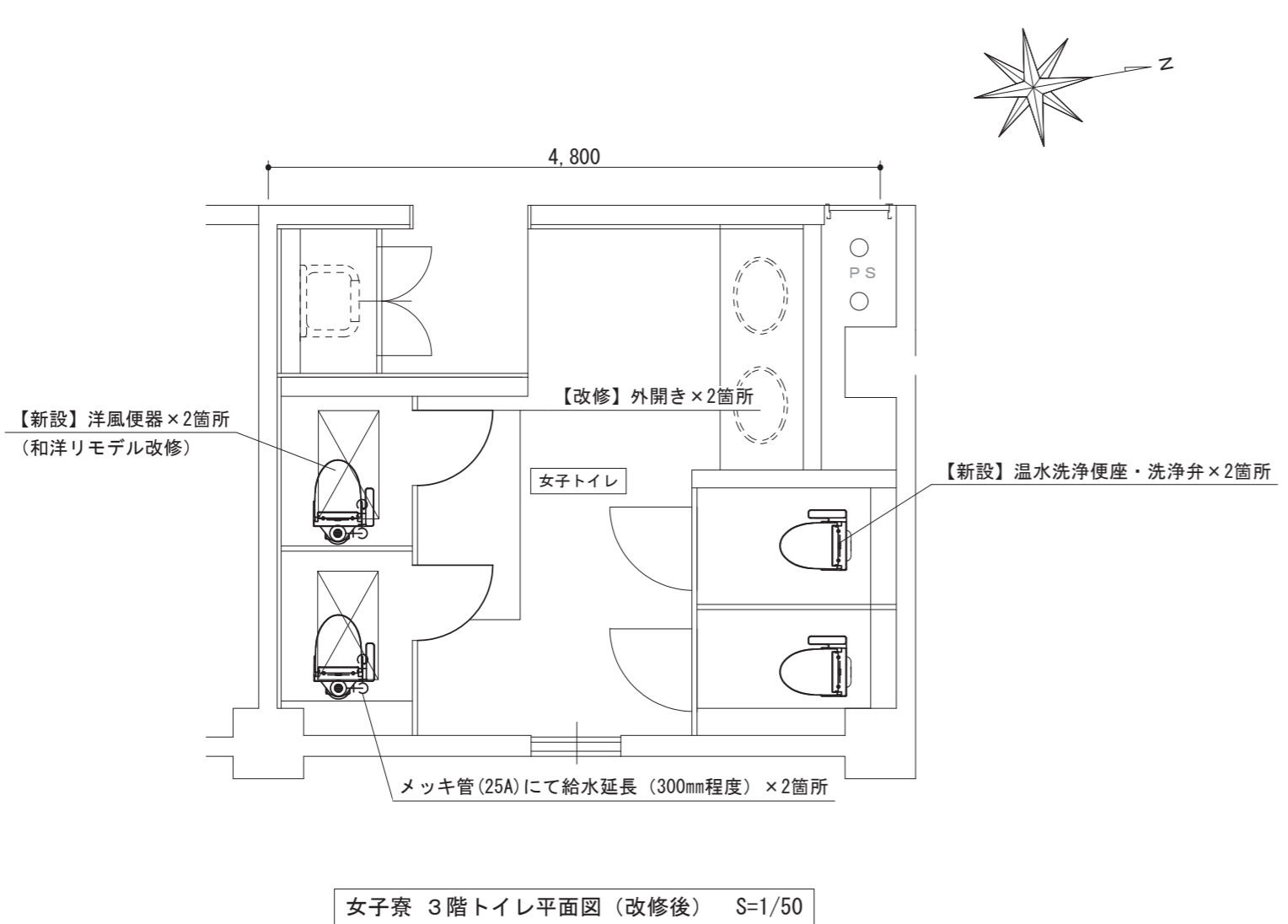
- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※図中  は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり磁器質無軸150口タイル0.4㎡程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (メラミン化粧板)、扉、丁番は再利用とし、鍵・戸当たり金具は取替えとする。

衛生器具表 (改修前)

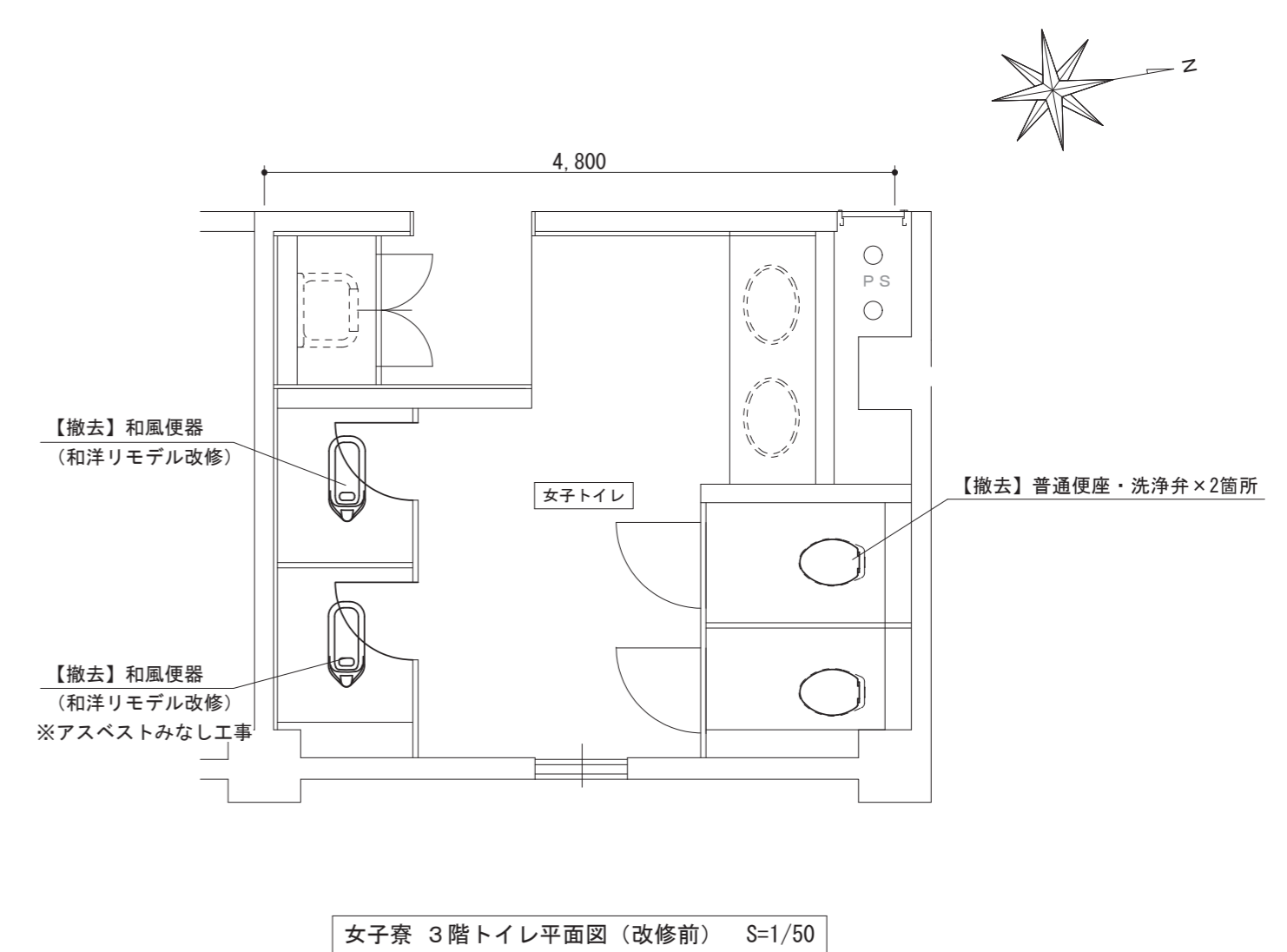
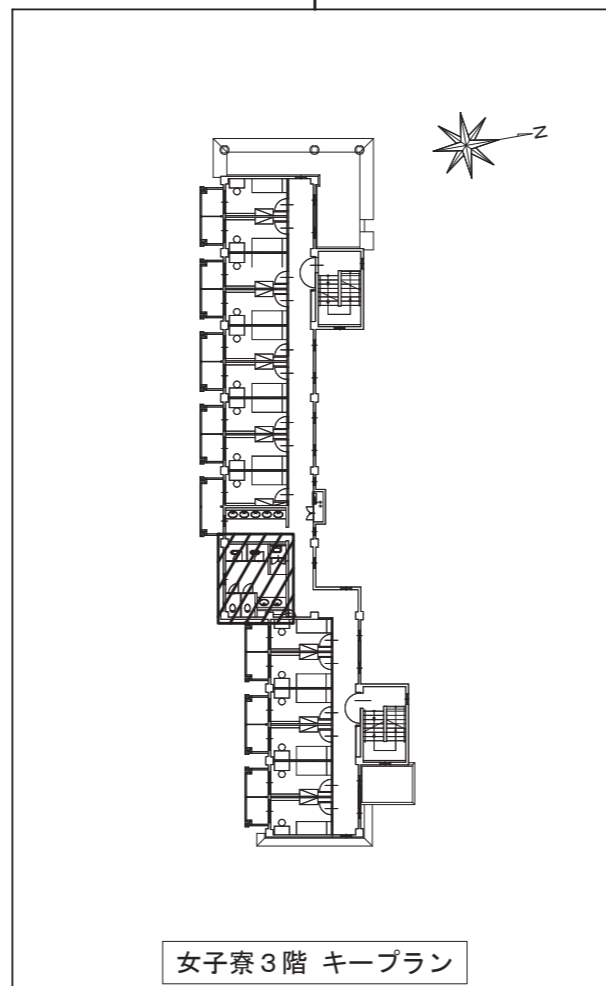
名称	型式 (TOTO)	仕様	3階女子トイレ	合計	備考
和風便器	C755VFU, TV750CR	FV(手動・床給水), 紙巻器	2	2	【撤去】 (和洋リモデル改修)
洋風便器	C21R	紙巻器	(2)	(2)	【既設のまま】
洗浄弁	TV750LS	FV(手動・壁給水), 配管セット	2	2	【撤去】
暖房便座			2	2	【撤去】

特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。



← 改 修



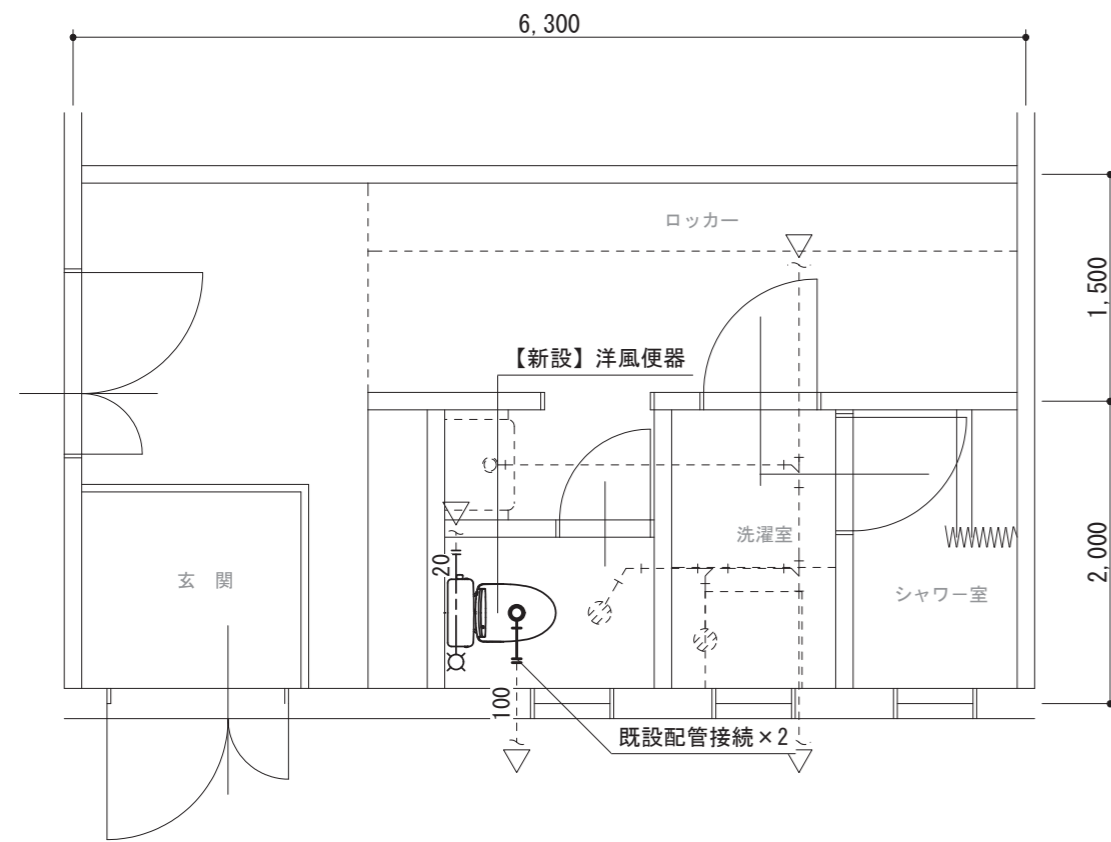
衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	トイレ ユニット	合計	備考
洋風便器	CS597BMCS, SH596BAR, TCF588, YH702	リモコンタイプ, ロータンク, 掃除口付, 温水洗浄便座 (貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	1	1	【新設】 (在来工法)
洗面器			(1)	(1)	【既設のまま】

【注記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は土間配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※土間及び仕上復旧範囲は参考とし、採用器具の寸法に合わせて施工すること。



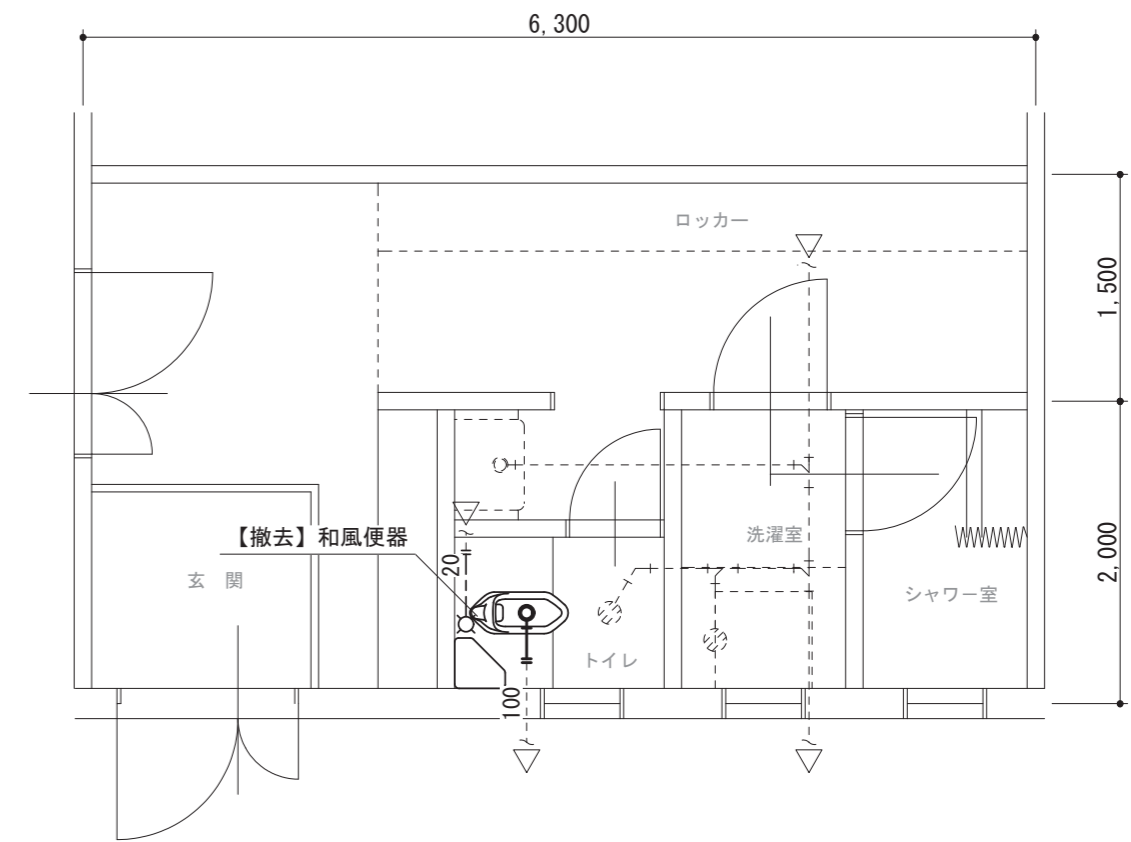
畜産教室棟 トイレ平面図 (改修後) S=1/50

衛生器具表 (改修前)

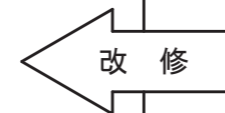
名称	型式 (TOTO)	仕様	トイレ ユニット	合計	備考
両用和風便器	C750AV, S570B, TS116MD	ロータンク, 紙巻器	1	1	【撤去】 (在来工法)
洗面器			(1)	(1)	【既設のまま】

特記事項

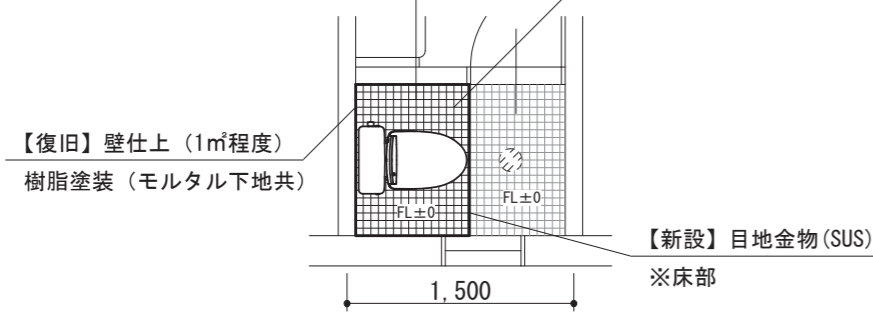
- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は土間配管とする。



畜産教室棟 トイレ平面図 (改修前) S=1/50

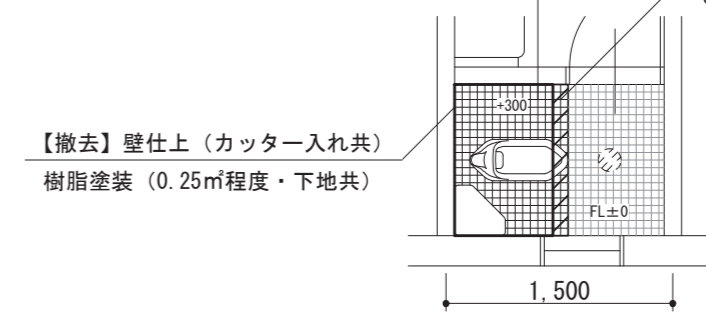


- 【復旧】土間 砕石150t 防湿シート (0.65㎡程度) con150t (0.1㎡程度) D10 @200S 差し筋アンカーD10@200S (外周)
- 【復旧】床仕上 (0.75㎡程度) 50角タイル (下地共)
- 【復旧】壁仕上 (1㎡程度) 樹脂塗装 (モルタル下地共)
- 【新設】目地金物 (SUS) ※床部

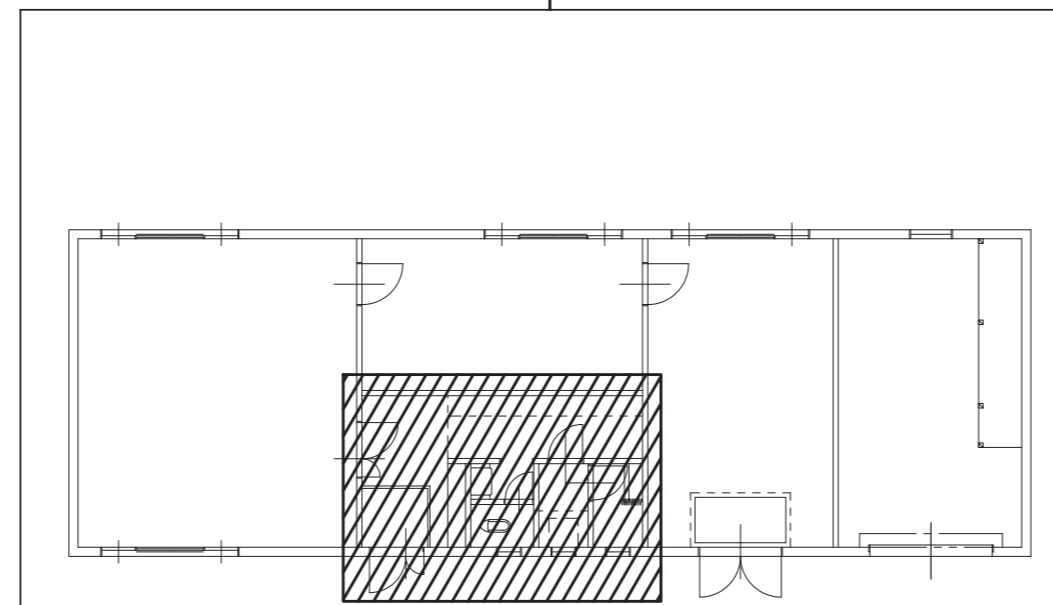


土間はつり平面図 (改修後) S=1/50

- 【撤去】既設土間はつり範囲 (カッター入れ共) con150t (鉄筋共)、50角タイル (0.2㎡程度・下地共)
- 【撤去】床仕上 (カッター入れ共) 50角タイル (0.1㎡程度・下地共)
- 【撤去】壁仕上 (カッター入れ共) 樹脂塗装 (0.25㎡程度・下地共)



土間はつり平面図 (改修前) S=1/50



畜産教室棟 キープラン




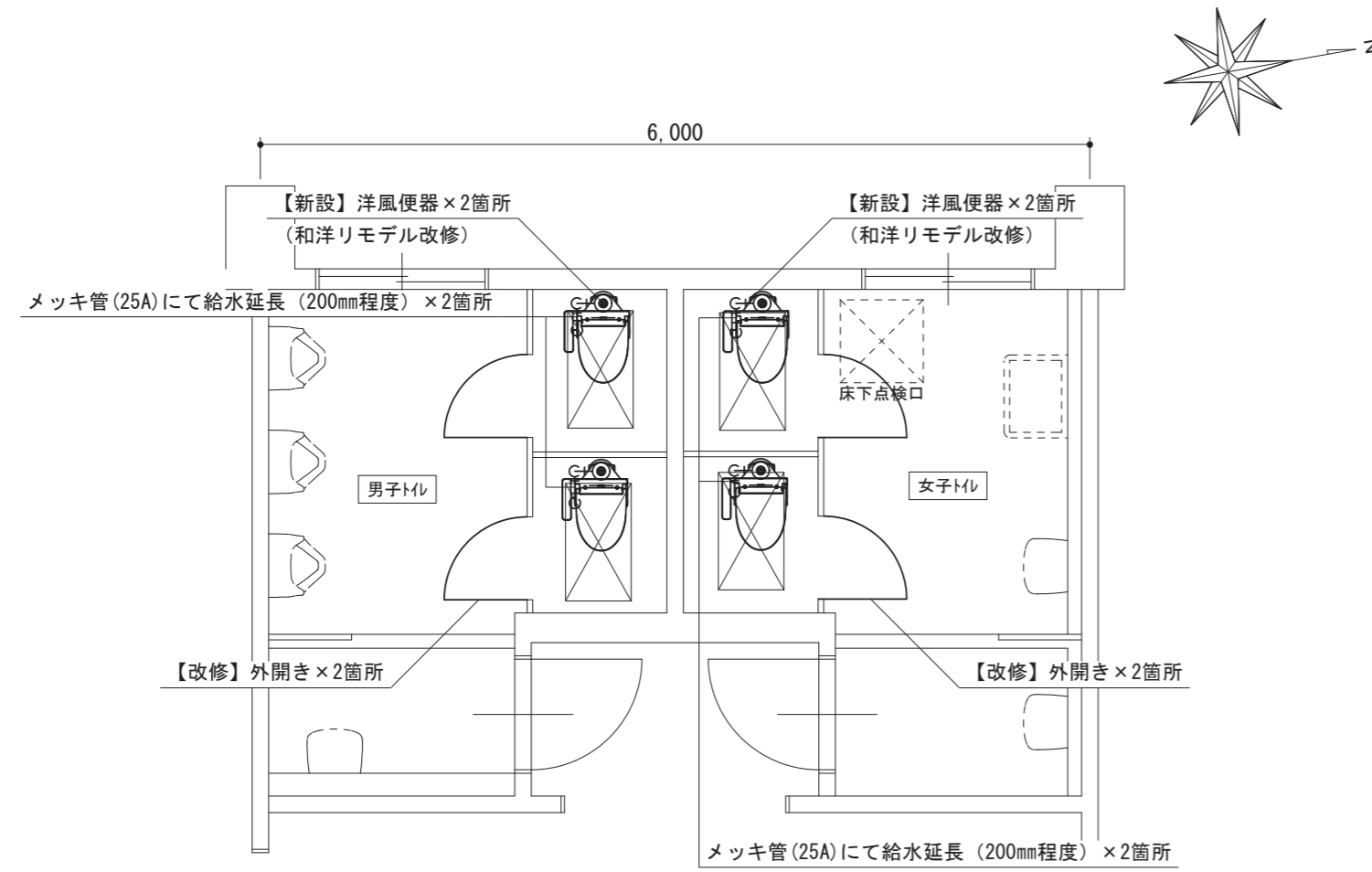
衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	男子トイレ	女子トイレ	合計	備考
洋風便器	CFS494MCHNS, TCF588, YH702	リモデルタイプ, FV(手動・床給水), 掃除口付, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	2	2	4	【新設】 (和洋リモデル改修)
小便器	U307C		(3)		(3)	【既設のまま】

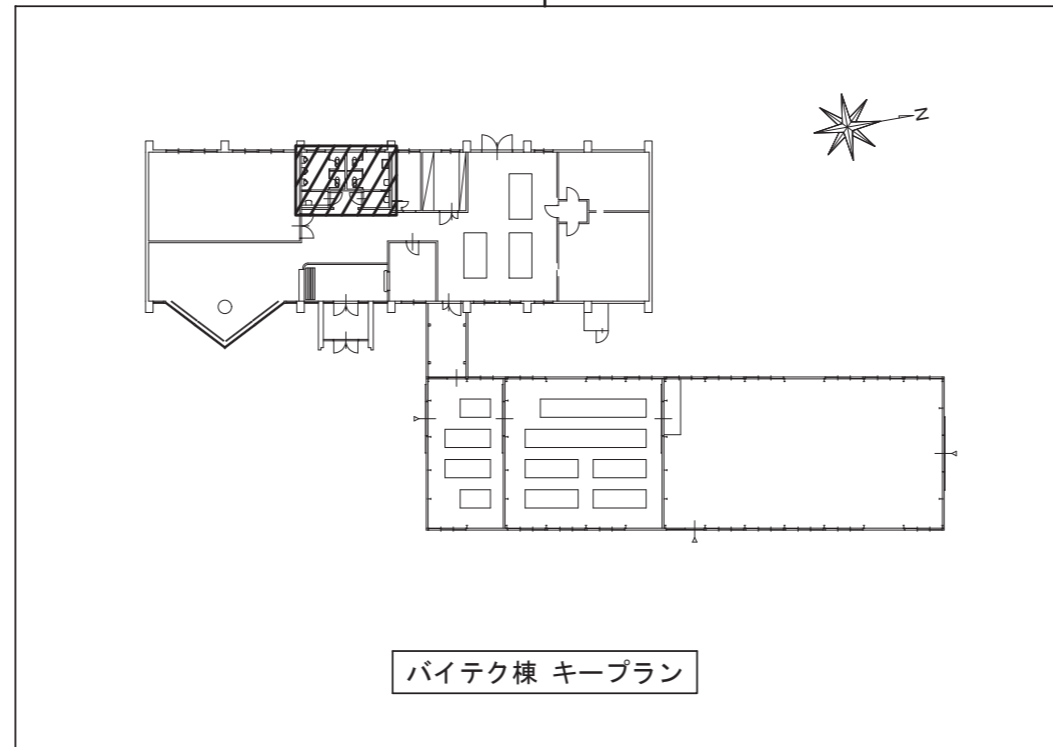
【注記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※施工前に図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備の仕様を確認すること。
- ※図中  は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり25口タイル0.4㎡程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シム厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存スラブを傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (テラゾブロック)、木製扉は補修の上、再利用とし、鍵・丁番金具類は全て取替えとする。



バイテク棟 トイレ平面図 (改修後) S=1/50



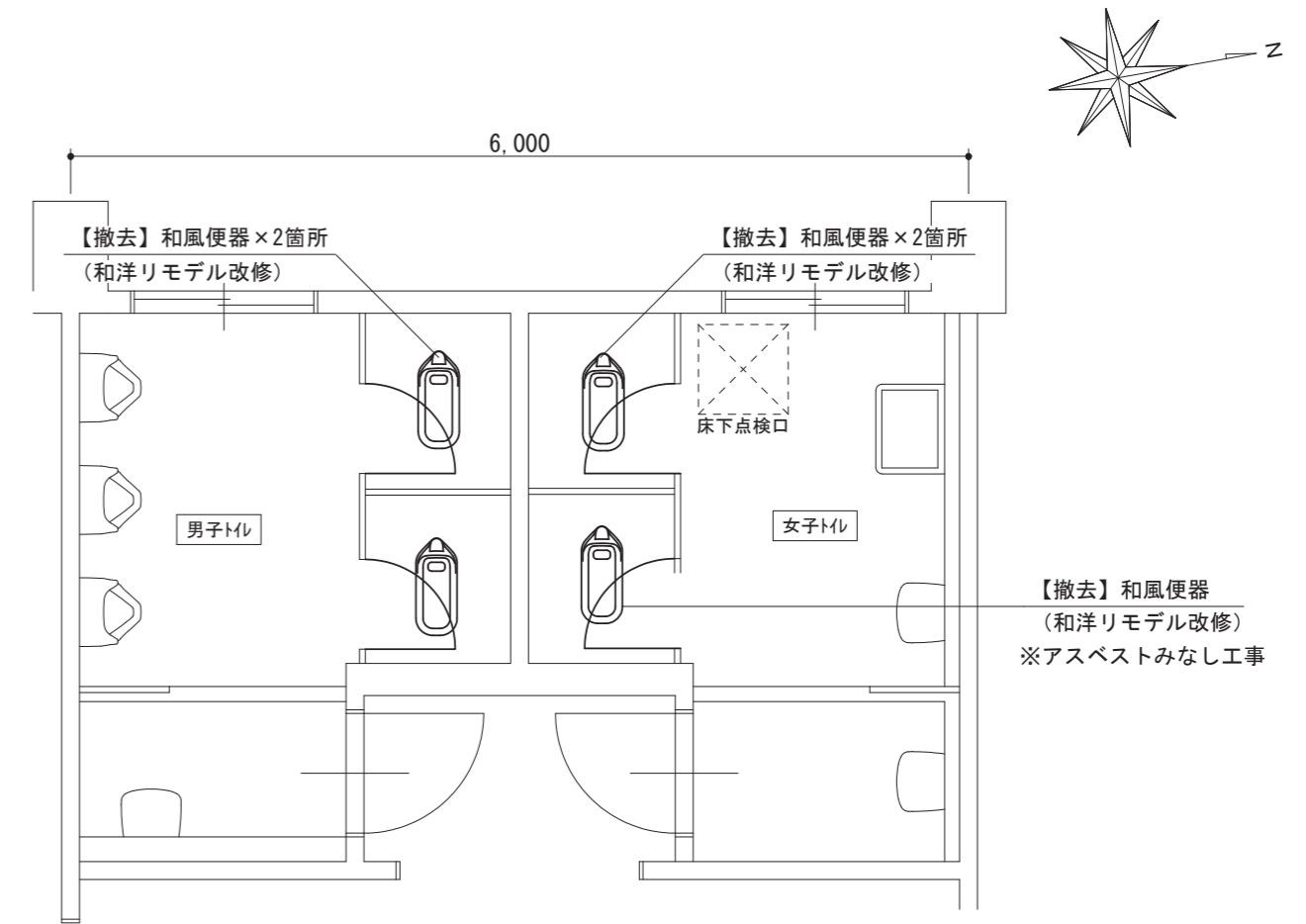
バイテク棟 キープラン

衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	男子トイレ	女子トイレ	合計	備考
和風便器	G750V, TV750	FV(手動・床給水), 紙巻器	2	2	4	【撤去】 (和洋リモデル改修)
小便器	U307C		(3)		(3)	【既設のまま】

特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。
- ※撤去する床防水材にアスベストが含有されている可能性があるため、1箇所をアスベスト含有あり (みなし) として先行工事し、工事の際に施工者で防水材の分析調査を行ってアスベスト含有の有無を確認すること。
- ※上記でアスベスト含有が認められた場合は、バイテク棟の残り3箇所もアスベスト含有ありとして適正に撤去、発生材処理すること。この場合の費用は別途協議とする。(設計では、アスベスト含有なしを想定している。)



バイテク棟 トイレ平面図 (改修前) S=1/50

【撤去】和風便器 (和洋リモデル改修)
※アスベストみなし工事



衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	合計	備考
洋風便器	CS597BMCS, SH596BAR, TCF588, YH702	リモデルタイプ, ロータンク(手動), 掃除口付, 給水延長ホース, 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	1	1		2	【新設】(和洋リモデル改修)
洋風便器	CS20B, SH30BA	ロータンク(手動), 紙巻器		(1)		(1)	【既設のまま】
温水洗浄便座	TCF588	温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 分岐金具共		1		1	【新設】
洋風便器	CS20AB, SH30BA	ロータンク			(1)	(1)	【既設のまま】
温水洗浄便座	TCF5534AP, TCA348	温水洗浄便座(貯湯式・AC100V・発電式リモコン) 洗浄リモコン(発電式), 分岐金具共		1		1	【新設】
紙巻器	YH60M				1	1	【再取付】※L形手すり下へ移設

【注記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備を確認のうえ施工すること。
- ※図中 は和洋リモデル工法(和洋改修工法)による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法(和洋改修工法)による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり25口タイル0.4㎡程度)
- ※和洋リモデル工法(和洋改修工法)の採用メーカーにより、必要な床シンダー厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存土間を傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース(メラミン化粧板)、扉、丁番は再利用とし、鍵・戸当たり金具は取替えとする。

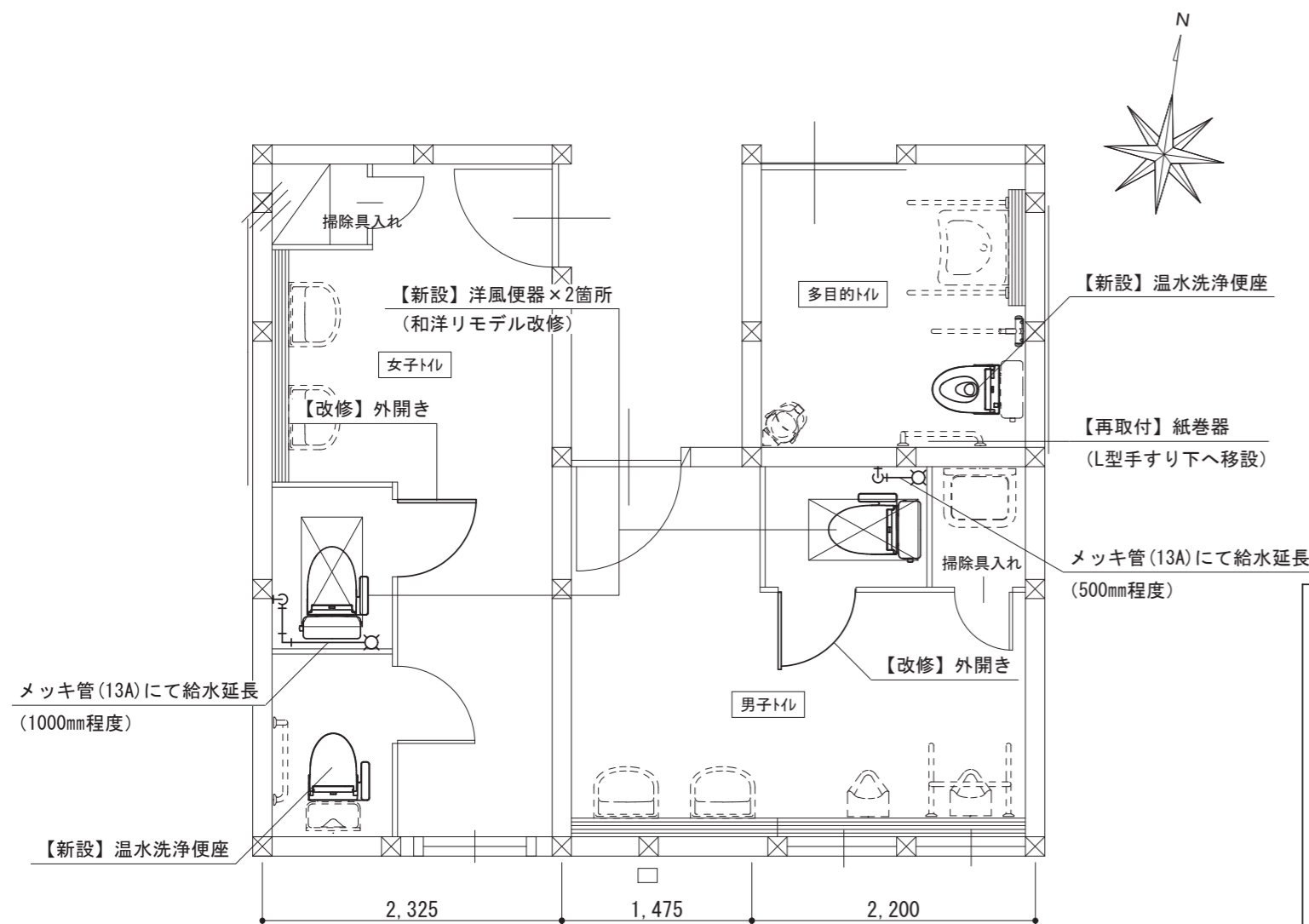
衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (TOTO)	仕様	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	合計	備考
和風便器	C755VU, S570B	ロータンク, 紙巻器	1	1		2	【撤去】(和洋リモデル改修)
洋風便器	CS20B, SH30BA	ロータンク, 紙巻器		(1)		(1)	【既設のまま】
普通便座	TC291			1		1	【撤去】
洋風便器	CS20AB, SH30BA	ロータンク, 暖房便座, リモコン洗浄			(1)	(1)	【既設のまま】
温水洗浄便座	TCF111, TES90	暖房便座(AC100V), リモコン洗浄			1	1	【撤去】
紙巻器	YH60M				1	1	【取外し】
I型手すり	T112C3	L=300	1	1		2	【撤去】

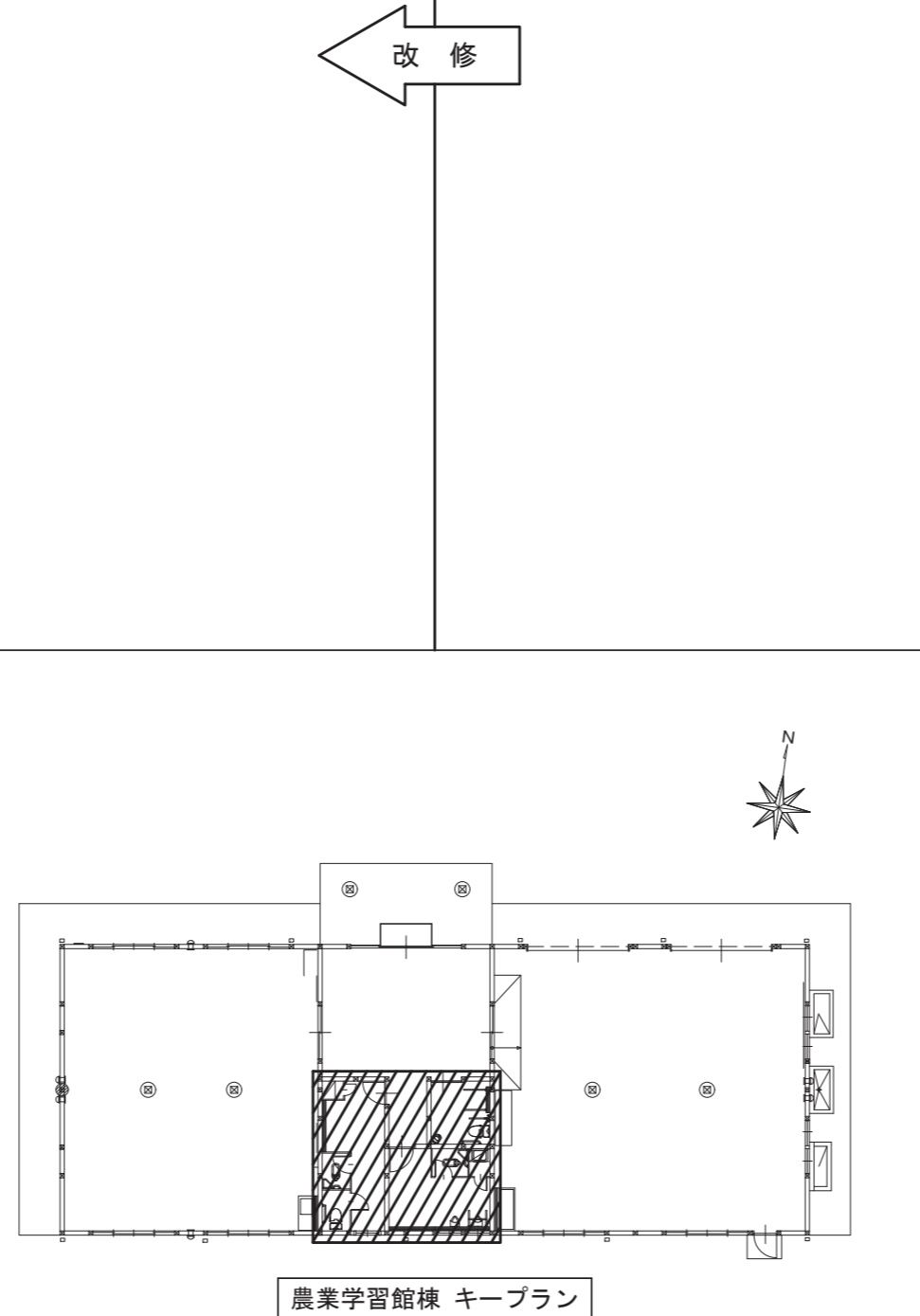
特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設(既設のまま)を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。

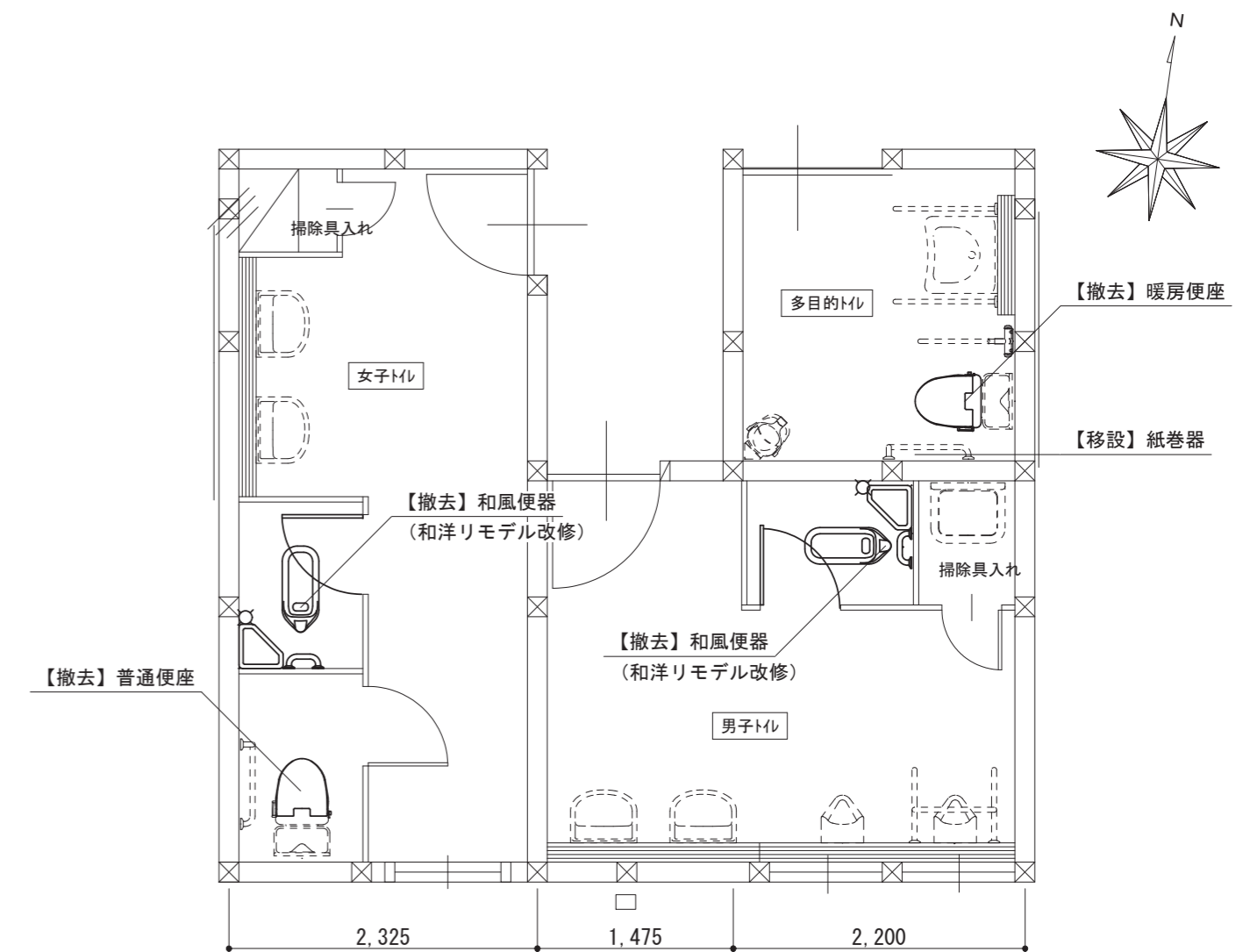
改修



農業学習館棟 トイレ平面図 (改修後) S=1/50



農業学習館棟 キープラン



農業学習館棟 トイレ平面図 (改修前) S=1/50



一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
 Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認 田村
 管理技術者 板倉
 担当 門水
 作図 門水

縮尺 1/50 (A2)
 設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
 図面名称 農業学習館棟 トイレ平面図 (改修後・改修前)


図面番号 M-18 / 20

衛生器具表 (改修後)

名称	参考型式 (TOTO)	仕様	男子トイレ	女子トイレ	合計	備考
洋風便器	CS597BMCS, SH596BAR, TCF588, YH702	リモデルタイプ, ロータンク(手動), 掃除口付, 給水延長ホース 温水洗浄便座(貯湯式・擬音装置付・AC100V), 棚付二連紙巻器	2	1	3	【新設】(和洋リモデル改修)

【注 記】 ※洋風便器の掃除口は、維持管理時の作業性を考慮し、適切な方向に設置すること。

特記事項

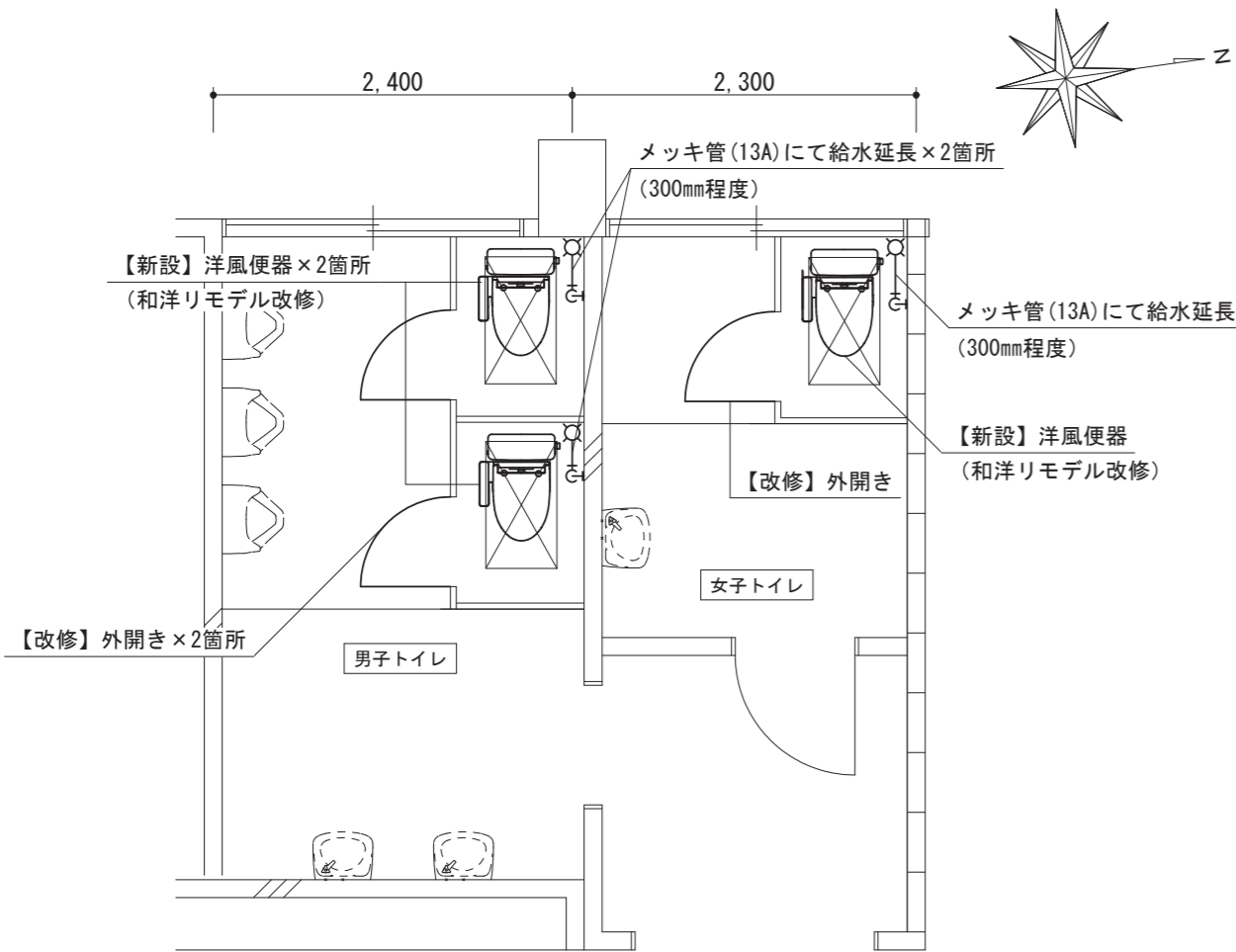
- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備を確認のうえ施工すること。
- ※図中  は和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所を示し、本工事とする。
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) による改修箇所の床仕上げ復旧は本工事とする。(1箇所あたり25口タイル0.4㎡程度)
- ※和洋リモデル工法 (和洋改修工法) の採用メーカーにより、必要な床シム厚が確保されているか確認した上で施工すること。
- ※和風便器をカッター切断する際は、既存土間を傷つけないよう注意して施工すること。
- ※新設洋風便器の位置は使い勝手を考慮して決定すること。(便器先端からブースまでの間隔を400mm程度を確保すること。)
- ※ブース外開き改修において、既設ブース (テラゾブロック)、木製扉は補修の上、再利用とし、鍵・丁番金具類は全て取替えとする。

衛生器具表 (改修前)

名称	型式 (INAX)	仕様	男子トイレ	女子トイレ	合計	備考
和風便器	L-252B, DT-570	ロータンク, 紙巻器	2	1	3	【撤去】(和洋リモデル改修)

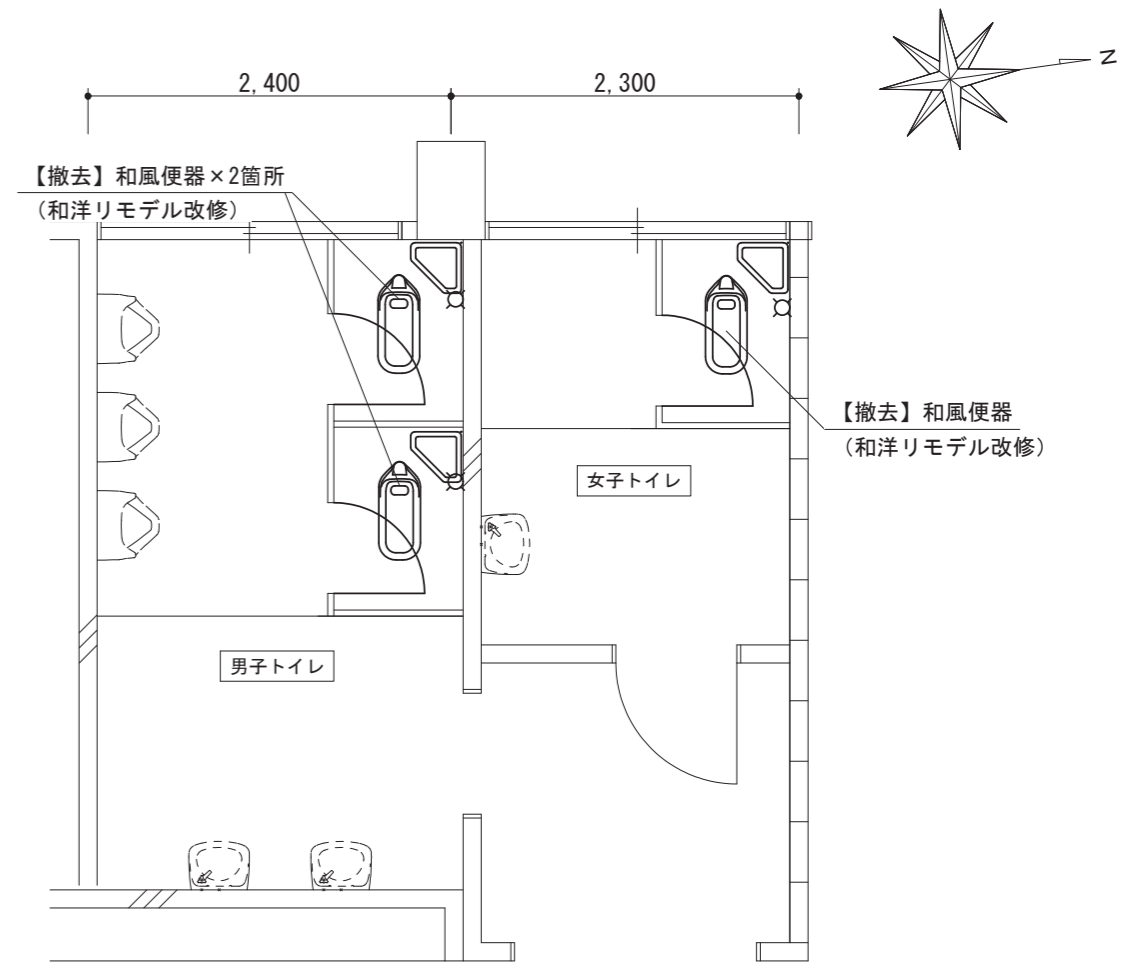
特記事項

- ※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設 (既設のまま) を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※紙巻器取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。

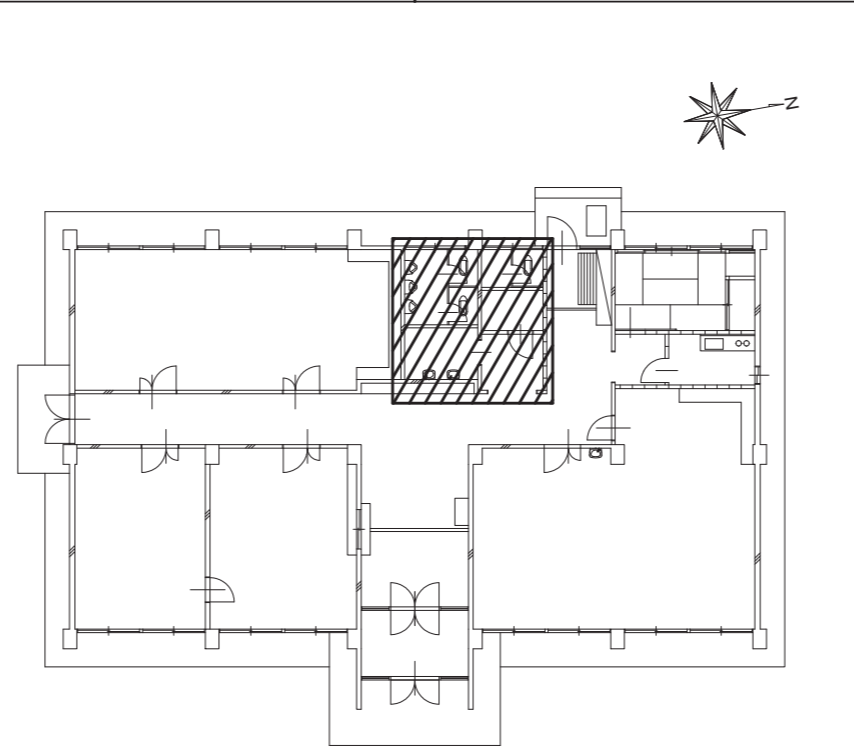


旧本館 トイレ平面図 (改修後) S=1/50

← 改修



旧本館 トイレ平面図 (改修前) S=1/50



旧本館棟 キープラン



一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical & Electrical Engineers
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	門水	門水

縮尺 1/50 (A2)
 設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
 図面名称 旧本館 トイレ平面図 (改修後・改修前)

図面番号 M-19 / 20

概略工事工程表 (参考)

工事対象トイレ	1ヵ月(5月)	2ヵ月(6月)	3ヵ月(7月)	4ヵ月(8月)	5ヵ月(9月)	7ヵ月(10月)	8ヵ月(11月)	9ヵ月(12月)	10ヵ月(1月)	工事中の代用トイレ (案)
準備工事等		現地調査・施工書類作成ほか					検査準備			
管理教室棟 2階トイレ			工事期間							管理教室棟 1階トイレ
体育館棟 トイレ					工事期間					管理教室棟 1階トイレ
国際交流館棟 1階トイレ						工事期間				管理教室棟 1階トイレ
国際交流館棟 1階浴室トイレ							工事期間			国際交流館棟 1階トイレ
食堂棟 厨房トイレ							工事期間			国際交流館棟 1階浴室トイレ
男子寮 1階～3階トイレ				3階工事 2階工事 1階工事						男子寮 工事フロア以外のトイレ
女子寮 1階～3階トイレ			先行工事 (3階 1箇所)		3階工事 2階工事 1階工事 (3階 残り)					女子寮 工事フロア以外のトイレ
畜産教室棟 トイレ				工事期間						屋外トイレ又はバイテク棟
バイテク棟 トイレ			先行工事 (1箇所)		工事期間 (残り)					屋外トイレ又は体育館棟
農業学習館棟 トイレ				工事期間						野菜・花き教室棟
旧本館棟 トイレ				工事期間						管理教室棟 1階トイレ
その他	入札	契約		夏休み期間				完成検査・引き渡し	冬休み期間	

特記事項

- ※本工程は設計段階の想定であり、工事受注者は本工程によらず、施設・監督員と十分に協議の上、工事の実施工程表を作成すること。
 - ※施設運営の妨げにならないよう、行事（入試や発表会など）の日程を確認し、施設側へ十分配慮すること。
 - ※仮設トイレは設けないものとし、表中の代用トイレ（案）を使用できるように配慮した工程とすること。
 - ※男子寮及び女子寮は、1フロア毎に改修し、利用者に配慮した工程を計画すること。
 - ※女子寮及びバイテク棟は、先行して1箇所をアスベスト含有のみなし工事とする。その際に防水層を施工者で採取し、分析調査を行うこと。
 - ※上記調査によりアスベスト含有が認められた場合は監督員と協議の上、適正に撤去処分すること。
- なお、アスベスト対策費及び処分費については当初設計では見込んでいないため、別途協議とする。



電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市関金町大鳥居

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考	番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	管理教室棟	RC	2	1270.64	(7) 項		6	女子寮	RC	3	913.72	(7) 項	
2	体育館棟	S	1	940.24	(7) 項		7	畜産教室棟	W	1	147.00	(7) 項	
3	国際交流館棟	RC	4	2329.71	(7) 項		8	バイテク棟	RC	1	353.25	(7) 項	
4	食堂棟	RC	1	455.05	(7) 項		9	農業学習館棟	W	1	260.00	(7) 項	
5	男子寮	RC	3	1465.71	(7) 項		10	旧本館棟	RC	1	292.7	(7) 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1~10	屋外	備考
● 電灯設備	○			
● 動力設備				
● 電熱設備				
● 雷保護設備				
● 受変電設備				
● 電力貯蔵設備				
● 発電設備				
● 構内情報通信網設備				
● 構内交換設備				
● 情報表示設備				
● 映像・音響設備	通			
● 拡声設備	信			
● 誘導支援設備	情			
● テレビ共同受信設備	設			
● 監視カメラ設備	備			
● 駐車場管制設備				
● 防犯・入退室管理設備				
● 火災報知設備				
● 中央監視制御設備				
● 医療関係設備				
● 構内配電線路				
● 構内通信線路				
● テレビ電波障害防除設備				
● 機械設備工事				
● 建築工事				

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。) ●の付いたものを適用する。

項目	特記事項
電灯設備	● 電気方式 幹線 ● 単相3線式100/200V ● 直流2線式100V 分岐 ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 直流2線式100V ● 非常用照明器具 ● 誘導灯
動力設備	● 電気方式 幹線 ● 三相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100/200V 分岐 ● 三相3線式200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V)
雷保護設備	● 受雷部 ● 避雷導線 ● 接地極
受変電設備	● 電気方式 高圧 三相3線式 6.6kV 低圧 ● 三相3線式200V ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 契約電力 改修工事 既存設備 ● kW 新設工事 ● 100kW未満 ● 100kW以上500kW未満 ● 500kW以上 ● 設備方式 ● 機器類 ● キューブ式配電盤 (● PF形 ● CB-1形 ● CB-2形) ● 高圧スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 変圧器 三相 kVA、単相 kVA ● 油入 ● モールド 主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB

項目	特記事項
電力貯蔵設備	● 直流電源装置 用途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用 蓄電池 ● HS形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 ● (Ah) 形式 ● 標仕によるUPS ● 簡易形UPS 用途 ● 電算機用 ●
発電設備	● 自家発電装置 電気方式 三相3線式 ● 6.6kV ● 210V 機器類 形 式 ● キューブ形 ● 簡易形 ● オープン形 発電機 (kVA以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン 防油堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製 (● 本工事 ● 別途工事) ● 太陽光発電装置 モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ● ● 風力発電装置 風車 ● プロペラ形 ●
通信情報設備	● 構内情報通信網設備 ● 構内交換設備 ● 情報表示設備 ● 映像・音響設備 ● 拡声設備 ● 誘導支援設備 ● テレビ共同受信設備 ● 監視カメラ設備 ● 駐車場管制設備 ● 防犯・入退室管理設備 ● 自動火災報知設備 ● 発電設備 ● 自動閉鎖設備 ● 非常警報設備 ● ガス漏れ火災警報設備
中央監視	● 形式 ● 監視制御対象設備 ● 伝送方式
構内配電線路	● 電気方式 三相3線式 (● 6.6kV ● 200V) ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 施工方法 ● 外灯点滅方式
構内通信線路	● 用途 ● 施工方法
テレビ電波防除	● 対策方針 ● 責任分界点

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書のうち、●印の付いたものによる。
● 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版) (以下、「標準仕様書」という。)
● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版) (以下、「改修標準仕様書」という。)
● 公共建築設備工事標準年図(電気設備工事編)(令和4年版) (以下、「標準年図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は●の付いたものを適用する。
●の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。●と●の付いた場合は共に適用する。
- 一般共通事項のうち (1, 2, 6, 9, 10, 12, 13, 15, 29) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事仕様書による。

項目	特記事項
1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
2 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士より施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資材 (● 配線用遮断機 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 PCB使用機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り
● 電気工事士	
4 工事安全計画書等	
● 発生材の処理等	

承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	NS	工事名称
田村	板倉	山下	山下	設計年月日	2026.02	農業大学校トイレ洋式化改修工事

項目	特記事項
6 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ. 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 使用する機材がⅢ. 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(b)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。提出した施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。
7 機材の品質・性能証明	
8 施工図等	
9 完成写真等	
10 完成図等	
11 他工事との取合い	
12 工事用電力・水・その他	
13 表示板	
14 足場	

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区分	名称	部数
※ 完成図原図	完成図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部
※ 完成図 2つ折製本	● 完成図 ● 完成図(縮小版)	※ 2部 ● 部
※ 完成図書	● 完成図(縮小版) ※ A4版市販ファイル ● 主要機器図 ● 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 A4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ● 機器取扱説明書 ● 主要機器一覧表	※ 2部 ●
※ 保証書		1部
※ 官公署届出書類		1部

● 原因ケース・製本図面の背景紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

他工事との取合い	電気設備	機械設備	建築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補強 ●	スリーブ・箱入 ●	※
● 鉄骨造の開口及び補強	●	●	※
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)	※	●	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	※	●	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 ●	補強 ●	※
● OAFフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	●	●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材、仕上げ材	切り込み ●	補強 ●	※
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ	●	●	※
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)	●	●	※
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線	●	※	●
● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線	●	※	●
● テレビアンテナ	基礎 ●	アンカーボルト ●	※
● 天井点検口	●	●	※
● 自立型制御盤の基礎	※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 ●	屋上設置 ●	※

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一緒に表示する)

※ 工事表示板 ● お願い表示板

記入要領
1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願い表示板は平易な表現及び内容及び内容とし、監督員が指示するものとする。

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さ及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

一級建築士事務所／建築設備設計事務所
Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号



<p>15 工所用仮設物 16 土工</p> <p>17 電線類</p> <p>18 電線本数・管路等</p> <p>19 厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ</p> <p>20 露出配管の塗装</p> <p>21 波付硬質合成樹脂管 (FEP)</p> <p>22 フラッシュプレートの材質</p> <p>23 カバープレートの用途別表示</p> <p>24 地中箱</p> <p>25 耐震施工</p>	<p>構内につくることが ※ できる ● できない</p> <p>埋め戻し土 ※ 根切土中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()</p> <p>建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積</p> <p>本工事で環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。</p> <p>EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。</p> <p>通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。</p> <p>盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。</p> <p>ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。</p> <p>分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。</p> <p>メッキ付着量 300g/m²以上とする。(※ 屋外 ●)</p> <p>塗装する部分 ● 居室、廊下等 ● 機械室 ● 屋外 ●</p> <p>波付硬質合成樹脂管 (FEP) 使用する場合は不燃又は難燃性とする。</p> <p>● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製</p> <p>シール等を貼付する。</p> <p>蓋の記号表示は鋳型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入) とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。</p> <p>設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8年版・建設大臣官庁官庁管理課部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。</p> <p>1) 設計用水平地震力 機器の重量[kN]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は、次による。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">設計用標準水平地震度</th> <th colspan="2">● 特定の施設</th> <th colspan="2">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">上層階注、屋上及び塔屋</td> <td>機器</td> <td rowspan="3">2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td> <td>機器</td> <td rowspan="3">1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地下及び1階</td> <td>機器</td> <td rowspan="3">1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>注) 上層階の定義は次による。 ※水槽類には燃料小出槽を含む。 2～6階建:最上階、7～9階建:上層2階、10～12階建:上層3階、13階以上:上層4階 重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換機 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ●)</p> <p>2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 接地極の材料は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極</th> </tr> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>E A E D</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>E A E C E D</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● A種</td> <td>E A</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● B種</td> <td>E B</td> <td>Ω以下</td> <td>E B × 2 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● C種</td> <td>E C</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● D種</td> <td>E D</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B × 1</td> </tr> <tr> <td>● 雷保護設備用</td> <td>E L A</td> <td>Ω以下</td> <td>● E P - 0. 6 × 2 ● E B × 連 - 1 組</td> </tr> <tr> <td>● 高圧避雷器</td> <td>E L H</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● 交換機用</td> <td>E t</td> <td>Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 1 組</td> </tr> <tr> <td>● 通信用</td> <td>E A t</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● 通信用</td> <td>E D t 及び E D a</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B × 1</td> </tr> <tr> <td>● 電話引込口の保安器用</td> <td>E L t</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B × 1</td> </tr> <tr> <td>● 測定用</td> <td>E o</td> <td>-</td> <td>E B × 1</td> </tr> </table> <p>(連続又は単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする) (測定用の場合、EBはD=10 L=1500 または W=30 L=1200とする)</p> <p>ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。 外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。 建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。</p> <p>● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。 分析方法はJISA 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <p>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 (測定時期:) (測定場所:) (測定点:)</p> <p>● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 対象箇所 ()</p>	設計用標準水平地震度		● 特定の施設		● 一般の施設		設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階注、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.0	1.0	防振支持の機器	2.0	1.5	1.5	水槽類	1.5	1.0	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	0.6	0.6	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	水槽類	1.0	0.6	0.6	地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.4	0.4	防振支持の機器	1.0	0.6	0.6	水槽類	1.5	1.0	0.6	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極	● 共同接地	E A E D	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● 共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● A種	E A	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● B種	E B	Ω以下	E B × 2 連 - 2 組	● C種	E C	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● D種	E D	100Ω以下	E B × 1	● 雷保護設備用	E L A	Ω以下	● E P - 0. 6 × 2 ● E B × 連 - 1 組	● 高圧避雷器	E L H	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● 交換機用	E t	Ω以下	E B × 3 連 - 1 組	● 通信用	E A t	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● 通信用	E D t 及び E D a	100Ω以下	E B × 1	● 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B × 1	● 測定用	E o	-	E B × 1	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							<p>30 補修など</p> <p>31 はつり</p> <p>32 はつり工事における非破壊検査</p> <p>33 あと施工アンカー</p> <p>34 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>35 火災保険等</p> <p>36 鳥取県公共事業環境配慮指針</p> <p>37 建築物省エネ法</p> <p>1 1 照明器具</p> <p>1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 電球色)</p> <p>2 1 一般照明的照度測定</p> <p>3 非常用照明的照度測定</p> <p>4 照明制御の照度測定等</p> <p>照度測定時期 100%点灯時 (※ 夜間 ● 昼間) 調光制御点灯時 (※ 夜間 ※ 昼間)</p> <p>2 1 機器への接続</p> <p>※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事</p> <p>3 1 大地抵抗率の測定</p> <p>● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。 ● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極</p> <p>2 外部雷保護設備接地システム</p> <p>4 1 変圧器移動車輪</p> <p>75kVA以上に取付。 ● 本工事 ● 別途工事</p> <p>2 デマンド監視装置</p> <p>前・後に設置する。</p> <p>3 盤内照明</p> <p>5 1 交流無停電電源装置 (UPS)</p> <p>停電補償時間 (分) 方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)</p> <p>6 1 自家発電装置</p> <p>運転時間 (h) システム連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 出力 (kW) 配電盤外箱 (● 有 ● 無) 保安装置 (重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子 (● 要 ● 不要) 減圧水槽及び初期注水槽の材質 (● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製) オイルタンク (● 地下 ● 屋内) 据付: 機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り)) 燃料小出槽 (%): 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過係接点とする。 材質 (● 鋼板製 ● ステンレス製) 燃料油等 (● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス ()) 排気系統配管断熱材の厚さ (mm) (ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない)) 排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (dB以下) 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 公称最大出力 (kW) 耐風速 (m/s) パワーコンディショナ (相 線式 V) 定格容量 (kW) 自立運転機能 (● 有 ● 無) 表示装置 (● 有 ● 無) 方式 (※ 液晶 ●)</p> <p>3 風力発電装置</p> <p>系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力 (kW)</p> <p>7 1 交換機</p> <p>局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式)</p> <p>停電補償時間 (分) ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート</p> <p>2 保安器用接地</p> <p>3 壁付電話機との接続</p> <p>※ モジュラージャック ● 電話用プレート</p> <p>4 回線数</p> <p>内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用/実装/容量)</p> <p>5 電話機</p> <p>● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台</p> <p>6 電話機への配線</p> <p>卓上電話機1台につき次のものを見込む。 ● ボタン電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●) ● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)</p> <p>8 1 マルチサイン装置</p> <p>イメージスキャナ (● 設ける ● 設けない)</p> <p>2 出退表示装置</p> <p>制御装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形) 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●) 親時計 (● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線) 太陽電池式屋外時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)</p> <p>9 1 プロジェクタ</p> <p>光出力 (● I形 ● II形 ● III形) 解像度 (● A形 ● B形 ● C形) コントラスト比 (● X形 ● Y形)</p>	<p>10 1 増幅器</p> <p>形式 (● 卓上形 ● ラック形) 定格出力 (W) 性能 (● Hi形 ● Lo形) ● 増幅器の入出力配線と外部配管 (壁ボックス等) の接続はコネクタによる。</p> <p>11 1 音声誘導装置</p> <p>検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)</p> <p>12 1 自動火災報知設備</p> <p>受信機 (● 型 級 回線 (蓄積型) ● 複合形 ● 単独形) ● 防火戸用 (※ ラッチ式 ● 電磁式) ● 防煙ダンパー用 (※ 電動復帰 ● 手動復帰) ● 防火シャッター用 (※ 別途工事 ● 本工事) 検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)</p> <p>2 自動閉鎖設備</p> <p>3 ガス漏れ火災警報設備</p> <p>1 施工方法</p> <p>埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上 (● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)</p> <p>2 地中箱</p> <p>3 高圧負荷開閉器</p> <p>● 閉鎖形 (● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡継電器付 (※ 方向性 ● 無方向性) ● 避雷器内蔵 ※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。 高圧ケーブルの両端部にシースの締め対策 (熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等) を行う。</p> <p>4 高圧ケーブルの端末部</p> <p>5 高圧ケーブルの屋外端末処理</p> <p>6 標識シート</p> <p>7 照明用ポール</p> <p>● 一般形 ● 耐塩形 ※ 高圧 ● 低圧 照明用ポールには配線用遮断器 (トリップ機能なし) 又はカットアウトスイッチ (素通しヒューズ) を内蔵する。 ただし、ガーデンライトは除く。</p> <p>14 1 施工方法</p> <p>埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上 (● ●)</p> <p>2 地中箱</p> <p>3 標識シート</p> <p>● データ回線 ● 電話 ● CATV ●</p> <p>15 1 調査仕様</p> <p>図面に記載されていない事項は、すべて (一社) 日本CATV技術協会の「建築物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建築物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。</p> <p>2 テレビ電波受信障害調査時期</p> <p>※ 事前 ● 中間 ※ 事後</p> <p>3 受信する受信波及び地点数</p> <p>中継局 波: 地点 中継局 波: 地点</p> <p>4 報告書提出部数</p> <p>※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部</p> <p>10 1 機器取付高</p> <p>機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。</p> <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">電力 共通</td> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心 1,800~2,000</td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>地上～中心 1,800~2,200</td> </tr> <tr> <td>分電盤・OA盤・実験盤</td> <td>床上～中心 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電 灯</td> <td>” (多機能トイレ)</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>コンセント (一般)</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>” (台上)</td> <td>台上～中心 150</td> </tr> <tr> <td>” (土間)</td> <td>床上～中心 800~1,300</td> </tr> <tr> <td>” (車椅子用)</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>ブラケット (一般)</td> <td>2,100~2,300</td> </tr> <tr> <td>” (踊場)</td> <td>2,000~2,500</td> </tr> <tr> <td>” (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心 150</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">動 力</td> <td>壁掛形制御盤</td> <td>床上～中心 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>端子盤</td> <td>床上～下端 300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">構 内 交 換</td> <td>保安器箱</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td>壁付アウトレット</td> <td>床上～中心 300</td> </tr> <tr> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電 気 時 計</td> <td>壁掛形親時計</td> <td>床上～中心 1,500 (上限1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>壁掛形スピーカ</td> <td>床上～中心 天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="1">拡 声</td> <td>壁付アッテネータ</td> <td>1,300</td> </tr> </table> <p>11 1 機器取付高</p> <p>機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。</p> <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">表 示</td> <td>表示盤</td> <td>床上～中心 天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>ベル、ブザー、チャイム</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>受付押ボタン (一般)</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">誘 導 支 援</td> <td>電源箱</td> <td>床上～下端 300</td> </tr> <tr> <td>外部受付用インターホン (子機)</td> <td>標準図による</td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン (上記以外)</td> <td>床上～中心 1,300</td> </tr> <tr> <td>壁付押ボタン (多機能トイレ)</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">テ レ ビ 共 同 受 信</td> <td>壁付押ボタン (多機能トイレ)</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>床転倒時用</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>機器収容箱</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td>テレビ端子</td> <td>床上～中心 300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">火 災 報 知</td> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>受信機・副受信機</td> <td>床上～操作部 800~1,500</td> </tr> <tr> <td>機器収容箱</td> <td>800~1,500</td> </tr> <tr> <td>発信機</td> <td>床上～中心 800~1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ガ ス 検 知</td> <td>ベル</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>ガス漏れ中継器</td> <td>天井下～中心 300</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">検 知</td> <td>検知器 (都市ガス)</td> <td>天井下～下端 300</td> </tr> <tr> <td>” (LPガス)</td> <td>床上～上端 300</td> </tr> </table>	名 称	測 点	取付高 (mm)	電力 共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800~2,000	引込開閉器	地上～中心 1,800~2,200	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)	スイッチ	1,300	電 灯	” (多機能トイレ)	1,100	コンセント (一般)	300	” (和室)	150	” (台上)	台上～中心 150	” (土間)	床上～中心 800~1,300	” (車椅子用)	900	ブラケット (一般)	2,100~2,300	” (踊場)	2,000~2,500	” (鏡上)	鏡上端～中心 150	動 力	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)	手元開閉器	1,500	操作スイッチ	1,300	端子盤	床上～下端 300	構 内 交 換	保安器箱	天井下～上端 200	壁付アウトレット	床上～中心 300	” (和室)	150	電 気 時 計	壁掛形親時計	床上～中心 1,500 (上限1,900以下)	子時計	天井高×0.9	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9	拡 声	壁付アッテネータ	1,300	名 称	測 点	取付高 (mm)	表 示	表示盤	床上～中心 天井高×0.9	壁付発信器	1,300	ベル、ブザー、チャイム	2,300	受付押ボタン (一般)	1,300	誘 導 支 援	電源箱	床上～下端 300	外部受付用インターホン (子機)	標準図による	壁付インターホン (上記以外)	床上～中心 1,300	壁付押ボタン (多機能トイレ)	900	テ レ ビ 共 同 受 信	壁付押ボタン (多機能トイレ)	300	床転倒時用	300	機器収容箱	天井下～上端 200	テレビ端子	床上～中心 300	火 災 報 知	” (和室)	150	受信機・副受信機	床上～操作部 800~1,500	機器収容箱	800~1,500	発信機	床上～中心 800~1,500	ガ ス 検 知	ベル	天井下～上端 200	表示灯	200	ガス漏れ中継器	天井下～中心 300	検 知	検知器 (都市ガス)	天井下～下端 300	” (LPガス)	床上～上端 300	<p>III. 機 材</p> <p>工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び (社) 公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。</p> <p>ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>樹永井電機工業所</td> <td>樹平木電機産業</td> </tr> <tr> <td>小林制電南</td> <td>樹富士オートメーション</td> </tr> <tr> <td>勝英産業㈱</td> <td>樹岡電機製作所</td> </tr> </table>	樹永井電機工業所	樹平木電機産業	小林制電南	樹富士オートメーション	勝英産業㈱	樹岡電機製作所
	設計用標準水平地震度		● 特定の施設		● 一般の施設																																																																																																																																																																																																																																								
	設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																																																																																																																																																																							
	上層階注、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																							
		防振支持の機器		2.0	1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																							
		水槽類		1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																							
	中間階	機器	1.5	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																							
		防振支持の機器		1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																							
		水槽類		1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																							
	地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																							
防振支持の機器		1.0		0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																								
水槽類		1.5		1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																								
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極																																																																																																																																																																																																																																										
● 共同接地	E A E D	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																										
● 共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																										
● A種	E A	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																										
● B種	E B	Ω以下	E B × 2 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																										
● C種	E C	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																										
● D種	E D	100Ω以下	E B × 1																																																																																																																																																																																																																																										
● 雷保護設備用	E L A	Ω以下	● E P - 0. 6 × 2 ● E B × 連 - 1 組																																																																																																																																																																																																																																										
● 高圧避雷器	E L H	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																										
● 交換機用	E t	Ω以下	E B × 3 連 - 1 組																																																																																																																																																																																																																																										
● 通信用	E A t	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																										
● 通信用	E D t 及び E D a	100Ω以下	E B × 1																																																																																																																																																																																																																																										
● 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B × 1																																																																																																																																																																																																																																										
● 測定用	E o	-	E B × 1																																																																																																																																																																																																																																										
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																																											
名 称	測 点	取付高 (mm)																																																																																																																																																																																																																																											
電力 共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800~2,000																																																																																																																																																																																																																																											
	引込開閉器	地上～中心 1,800~2,200																																																																																																																																																																																																																																											
	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																																																																											
	スイッチ	1,300																																																																																																																																																																																																																																											
電 灯	” (多機能トイレ)	1,100																																																																																																																																																																																																																																											
	コンセント (一般)	300																																																																																																																																																																																																																																											
	” (和室)	150																																																																																																																																																																																																																																											
	” (台上)	台上～中心 150																																																																																																																																																																																																																																											
	” (土間)	床上～中心 800~1,300																																																																																																																																																																																																																																											
	” (車椅子用)	900																																																																																																																																																																																																																																											
	ブラケット (一般)	2,100~2,300																																																																																																																																																																																																																																											
	” (踊場)	2,000~2,500																																																																																																																																																																																																																																											
	” (鏡上)	鏡上端～中心 150																																																																																																																																																																																																																																											
	動 力	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																																																																										
手元開閉器		1,500																																																																																																																																																																																																																																											
操作スイッチ		1,300																																																																																																																																																																																																																																											
端子盤		床上～下端 300																																																																																																																																																																																																																																											
構 内 交 換	保安器箱	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																																																																											
	壁付アウトレット	床上～中心 300																																																																																																																																																																																																																																											
	” (和室)	150																																																																																																																																																																																																																																											
電 気 時 計	壁掛形親時計	床上～中心 1,500 (上限1,900以下)																																																																																																																																																																																																																																											
	子時計	天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																																											
	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																																											
拡 声	壁付アッテネータ	1,300																																																																																																																																																																																																																																											
名 称	測 点	取付高 (mm)																																																																																																																																																																																																																																											
表 示	表示盤	床上～中心 天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																																											
	壁付発信器	1,300																																																																																																																																																																																																																																											
	ベル、ブザー、チャイム	2,300																																																																																																																																																																																																																																											
	受付押ボタン (一般)	1,300																																																																																																																																																																																																																																											
誘 導 支 援	電源箱	床上～下端 300																																																																																																																																																																																																																																											
	外部受付用インターホン (子機)	標準図による																																																																																																																																																																																																																																											
	壁付インターホン (上記以外)	床上～中心 1,300																																																																																																																																																																																																																																											
	壁付押ボタン (多機能トイレ)	900																																																																																																																																																																																																																																											
テ レ ビ 共 同 受 信	壁付押ボタン (多機能トイレ)	300																																																																																																																																																																																																																																											
	床転倒時用	300																																																																																																																																																																																																																																											
	機器収容箱	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																																																																											
	テレビ端子	床上～中心 300																																																																																																																																																																																																																																											
火 災 報 知	” (和室)	150																																																																																																																																																																																																																																											
	受信機・副受信機	床上～操作部 800~1,500																																																																																																																																																																																																																																											
	機器収容箱	800~1,500																																																																																																																																																																																																																																											
	発信機	床上～中心 800~1,500																																																																																																																																																																																																																																											
ガ ス 検 知	ベル	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																																																																											
	表示灯	200																																																																																																																																																																																																																																											
	ガス漏れ中継器	天井下～中心 300																																																																																																																																																																																																																																											
検 知	検知器 (都市ガス)	天井下～下端 300																																																																																																																																																																																																																																											
	” (LPガス)	床上～上端 300																																																																																																																																																																																																																																											
樹永井電機工業所	樹平木電機産業																																																																																																																																																																																																																																												
小林制電南	樹富士オートメーション																																																																																																																																																																																																																																												
勝英産業㈱	樹岡電機製作所																																																																																																																																																																																																																																												
<p>一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所</p> <p>Mechanical & Electrical Engineers</p> <p>X.PLAN</p>	<p>一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号</p> <p>管理建築士 川川友加里 一級建築士登録 第 370007 号</p> <p>建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号</p>	<p>承認 (田村)</p> <p>管理技術者 (板倉)</p> <p>担当 (山下)</p> <p>作 図 (山下)</p>	<p>縮 尺 NS</p> <p>設計年月日 2026.02</p>	<p>工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事</p> <p>図面名称 電気設備工事特記仕様書 (2)</p>	<p>図面番号 E-02 / 13</p>																																																																																																																																																																																																																																								



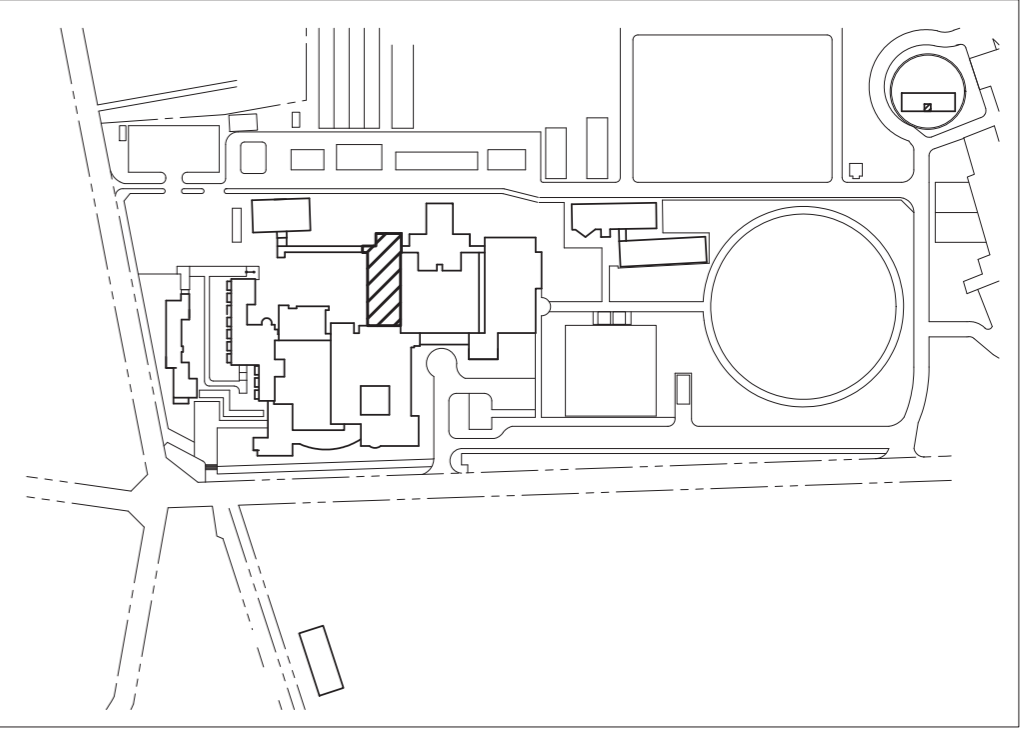
凡 例

記号	名称	摘要	
Ⓧ _{ET}	埋込コンセント	2P15A×1, ET	新 設
Ⓧ	ﾌﾞｯｸｽ	SS 150×150×100	新 設
Ⓧ _M	露出ｼﾞｬﾝｼﾞｮﾝﾌﾞｯｸｽ	MMA用	新 設
Ⓧ	ﾌﾞｯｸｽ	中四角 D44	新 設
Ⓧ	天井点検口	450×450	新 設
Ⓧ	天井点検口		既 設

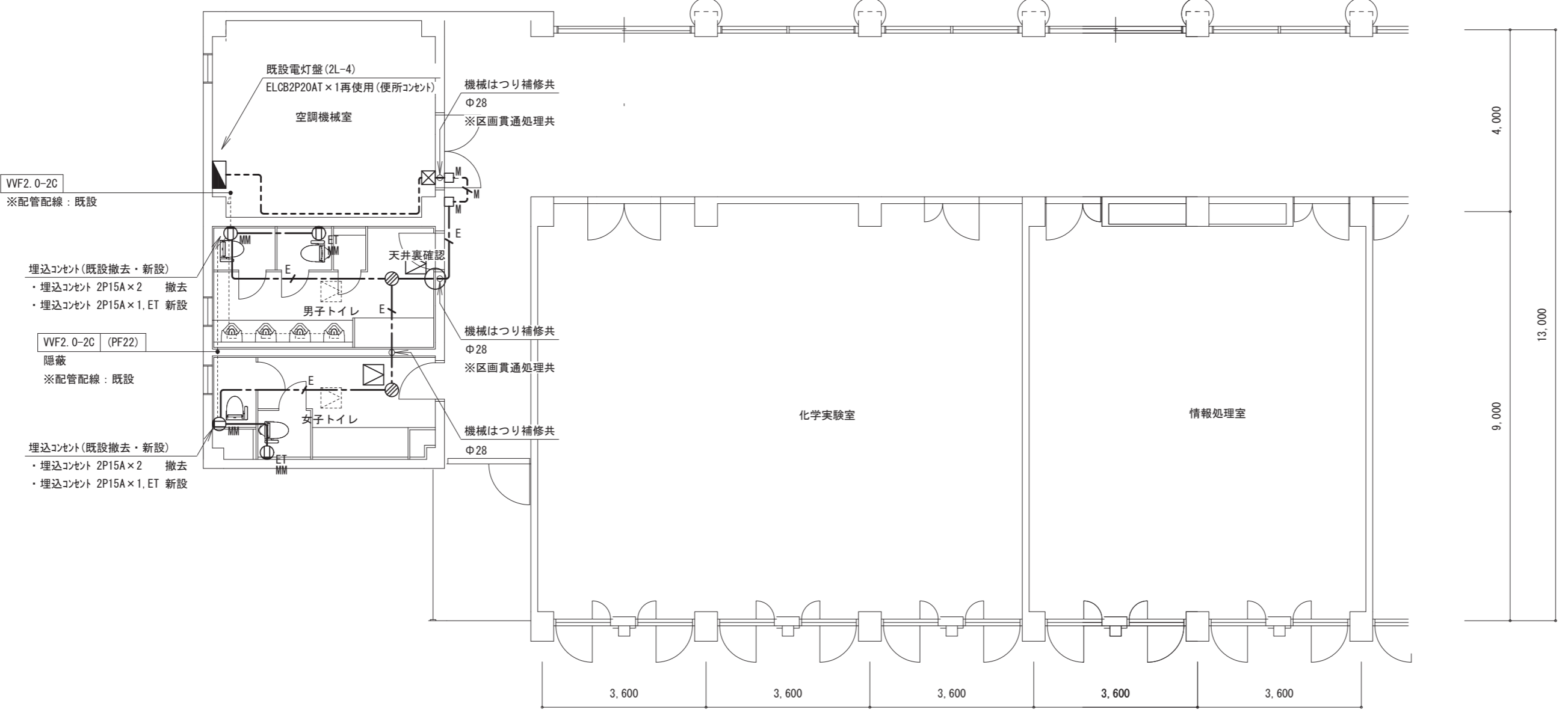
注 記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。

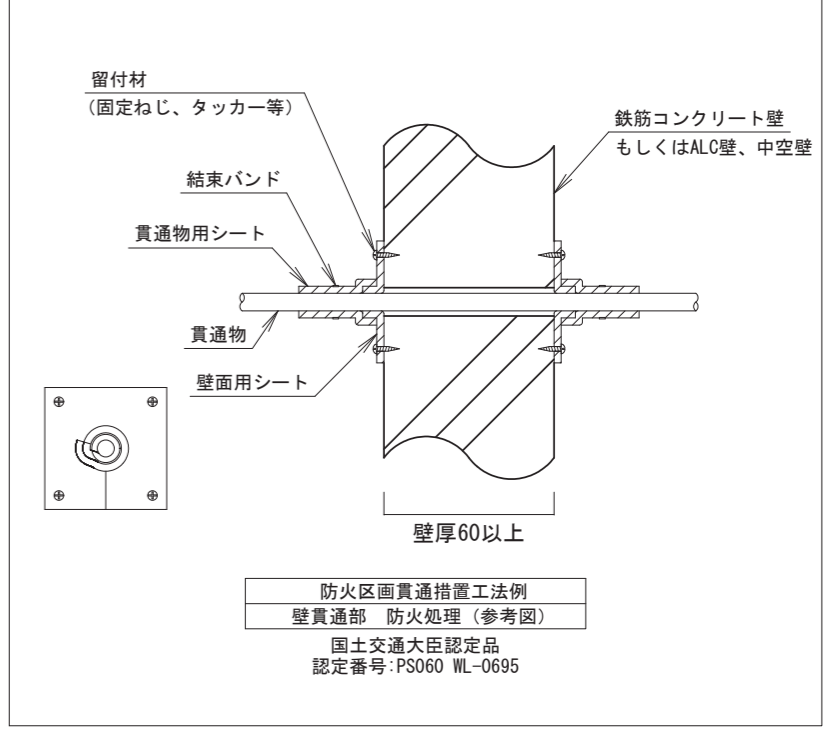
-----	EM-EF2.0-3C(1C7-ス)	天 井 内
-----	EM-1E2.0 (E19)	露 出
-----	EM-1E2.0 (MMA)	露 出
-----	EM-1E2.0	天 井 内
-----	既設配線	
2. 図中、指示なき太線の配管配線及びｼﾝﾌﾞﾙは新設を示す。
3. 図中、指示なき細線の配管配線及びｼﾝﾌﾞﾙは既設を示す。
4. 図中、MM付記ｼﾝﾌﾞﾙの下下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用ｽｲｯﾁﾌﾞｯｸｽを見込む。
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。
7. 天井点検口の新設箇所の7ｽﾍﾞﾙ分析調査(1検体)を行うこと。



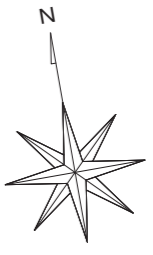
キープラン



電灯設備 管理教室棟 2階平面図 (改修後) S=1/100



防火区画部分 貫通処理 (参考図)

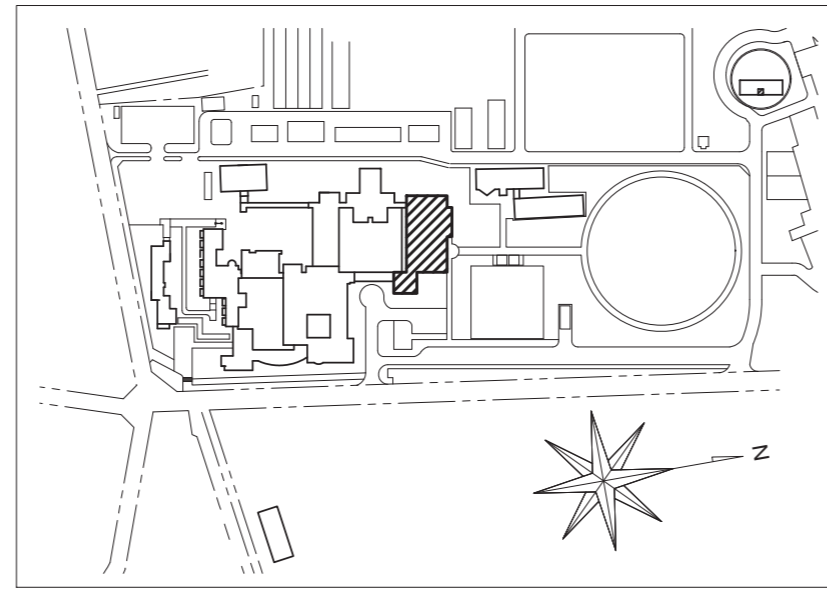


一級建築士事務所／建築設備設計事務所 X.PLAN Mechanical & Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/100 (A2)	工事名称	農業大学校トイレ洋式化改修工事	図面番号	E-03
		田村	板倉	山下	山下	設計年月日	2026.02	図面名称	電灯設備 管理教室棟 2階平面図 (改修後・改修前)	13	

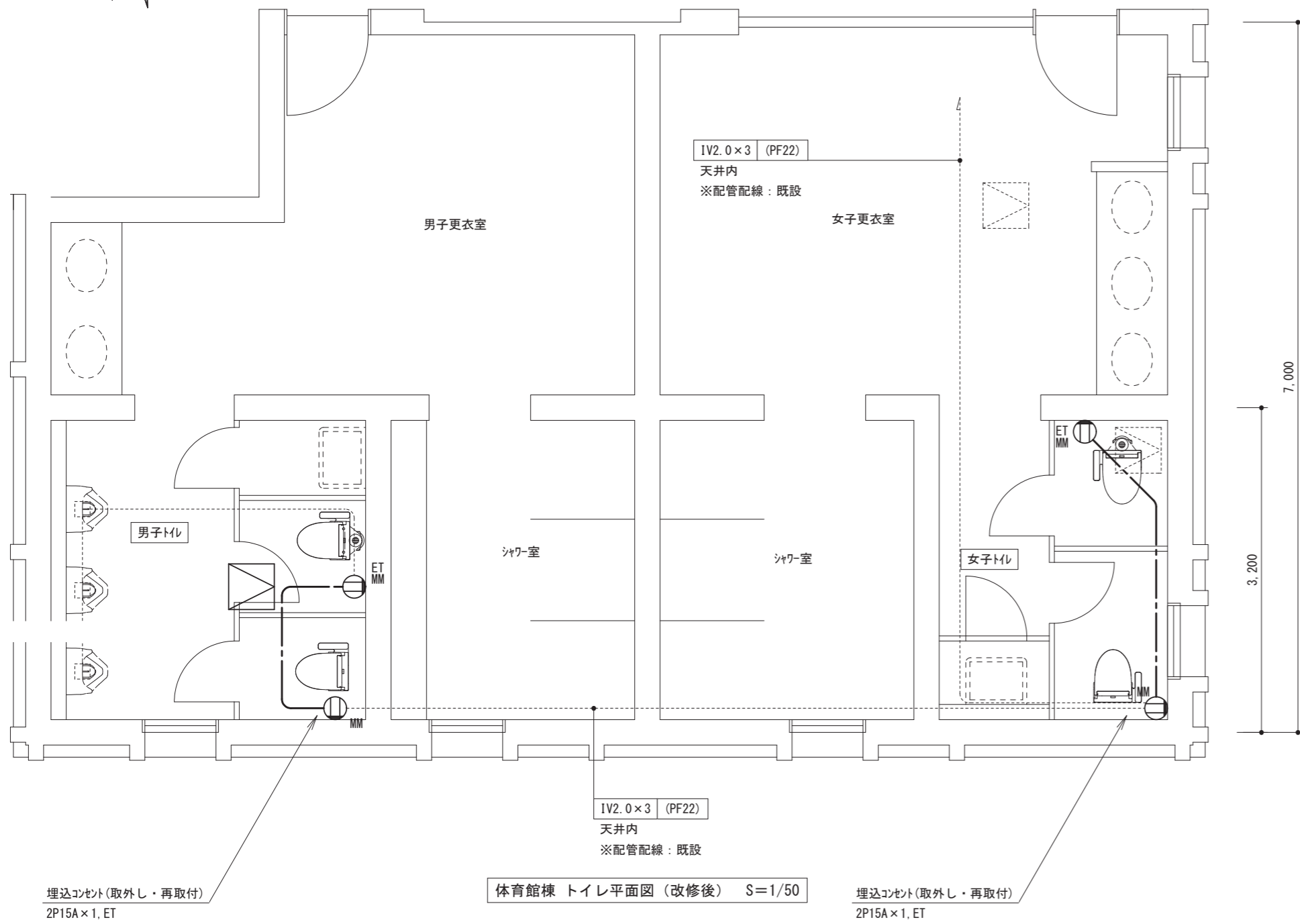
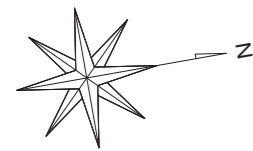
注記

1. 图中、指示なき配管配線は下記による。
 ----- EM-EEF2.0-3C(1C7-ス) ----- 天井内
 ----- 既設配線 -----
2. 图中、指示なき太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。
3. 图中、指示なき細線の配管配線及びシンボルは既設を示す。
4. 图中、MM付記シンボルの立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用スイッチボックスを見込む。
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。
7. 天井点検口の新設箇所の7スベスト分析調査(1検体)を行うこと。

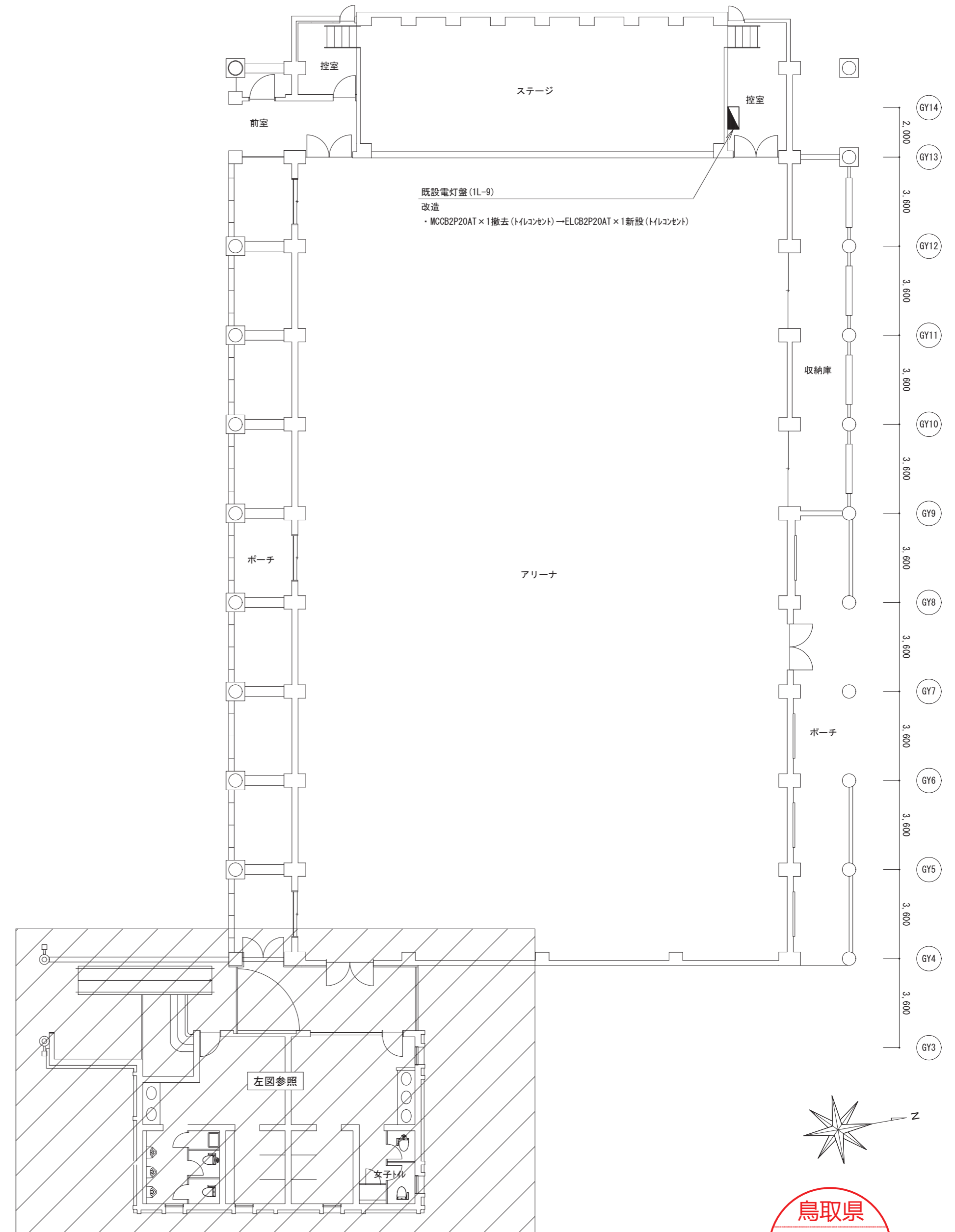
記号	名称	摘要	
⊕ ET	埋込コンセント	2P15A×1, ET	新設
□	天井点検口	450×450	新設
■	天井点検口		既設



キープラン



体育館棟 トイレ平面図 (改修後) S=1/50



電灯設備 体育館棟 1階平面図 (改修後) S=1/150



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
 Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	山下	山下

縮尺 1/150・50(A2)
 設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
 図面名称 電灯設備 体育館棟 トイレ平面図 (改修後)

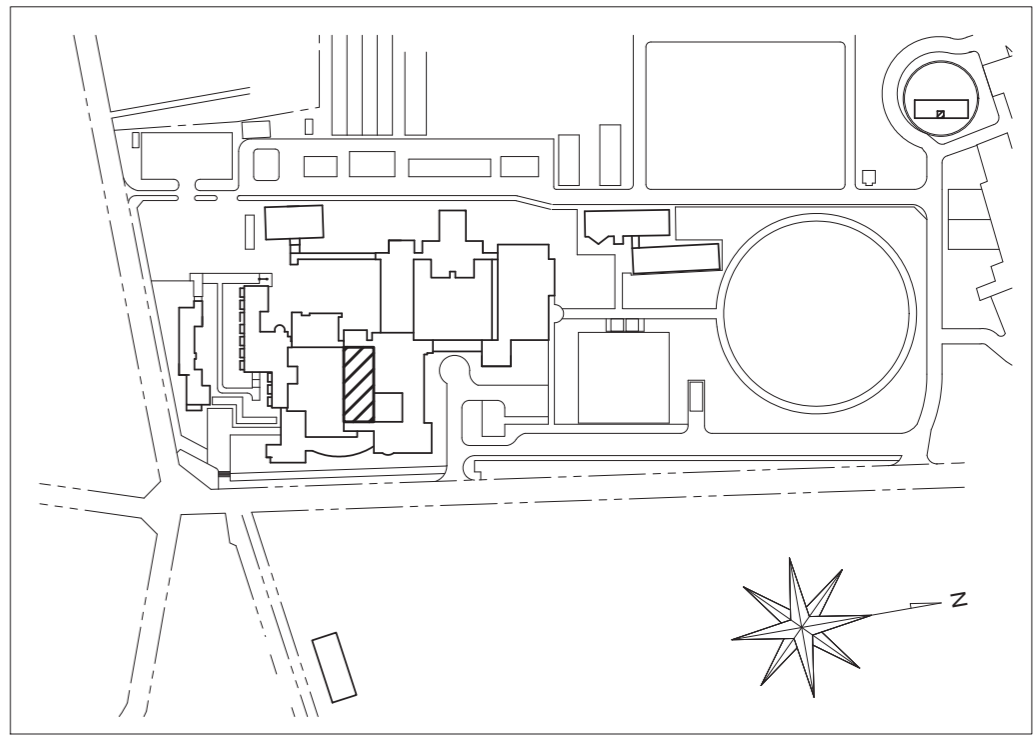
図面番号 E-04 / 13

凡例

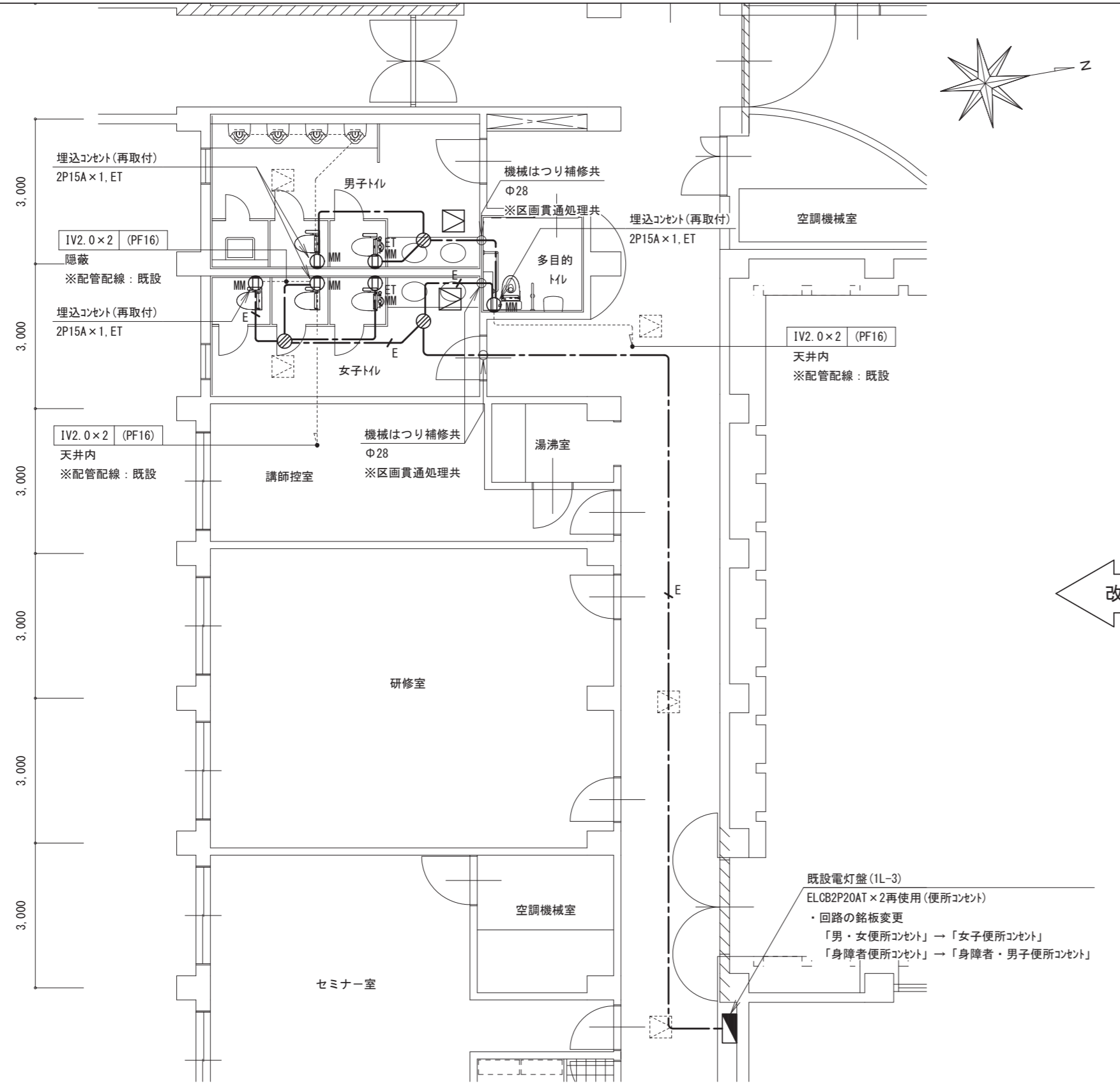
記号	名称	摘要	
⊙ _{ET}	埋込コンセント	2P15A×1, ET	新設
⊙	7φトクトボックス	中四角 D44	新設
□	天井点検口	450×450	新設
□	天井点検口		既設

注記

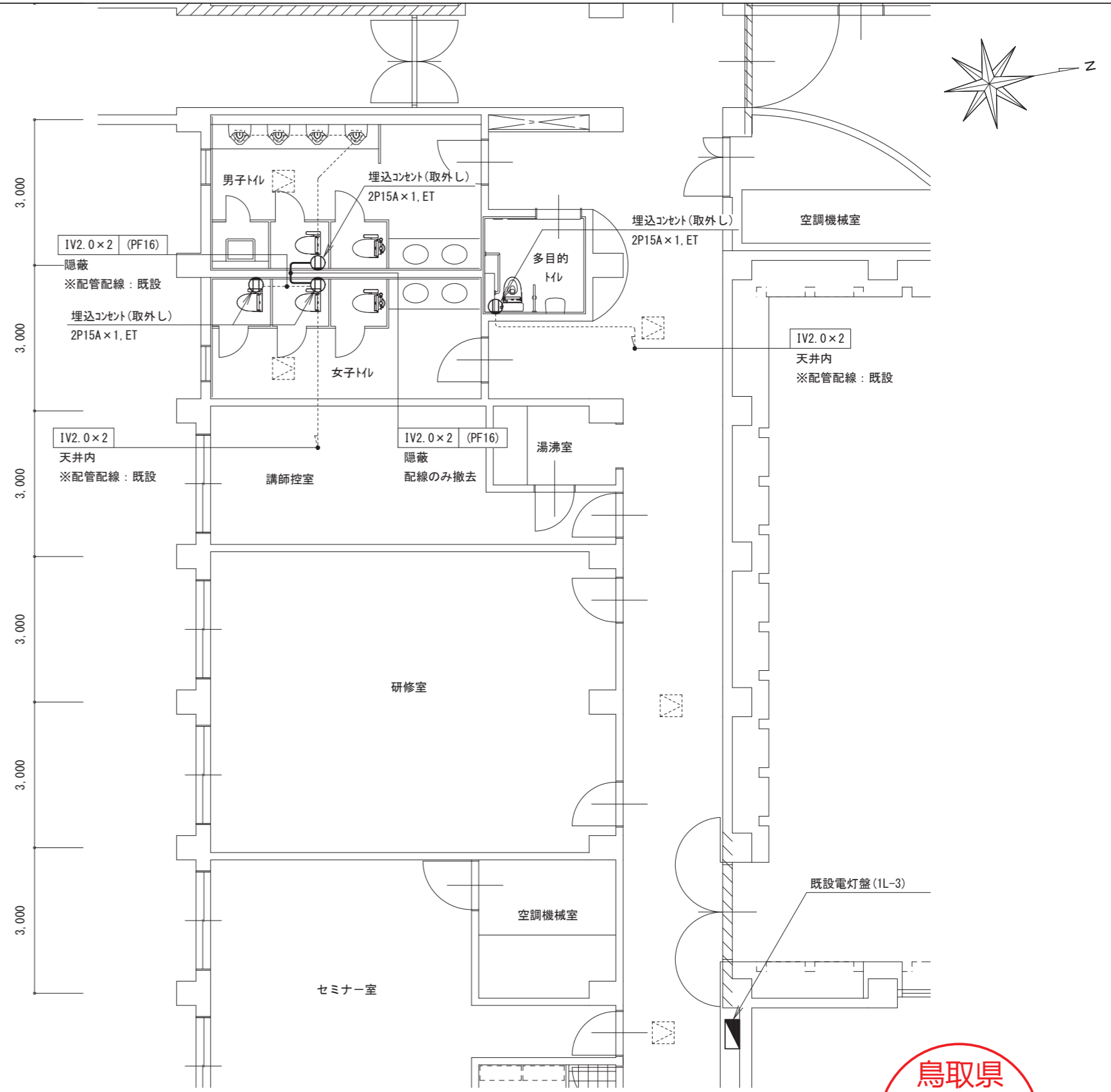
1. 图中、指示なき配管配線は下記による。
 --- EM-EEF2.0-3C(107-ス) 天井内
 --- E --- EM-IE2.0 天井内
 既設配線
2. 图中、太線の配管配線・シボ_Mは新設を示す。
3. 图中、細線のシボ_Mは既設を示す。
4. 图中、MM付記シボ_Mの立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用スリッパ_Mを見込む。
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。
7. 防火区画貫通処理の工法についてはE-01参照のこと。
8. 天井点検口の新設箇所の7H_M分析調査(1検体)を行うこと。



キープラン



電灯設備 国際交流館棟 1階平面図(改修後) S=1/100



電灯設備 国際交流館棟 1階平面図(改修前) S=1/100

← 改修



一級建築士事務所/建築設備設計事務所
 Mechanical&Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	山下	山下

縮尺 1/100 (A2)
 設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
 図面名称 電灯設備 国際交流館棟 1階トイレ平面図(改修後・改修前)

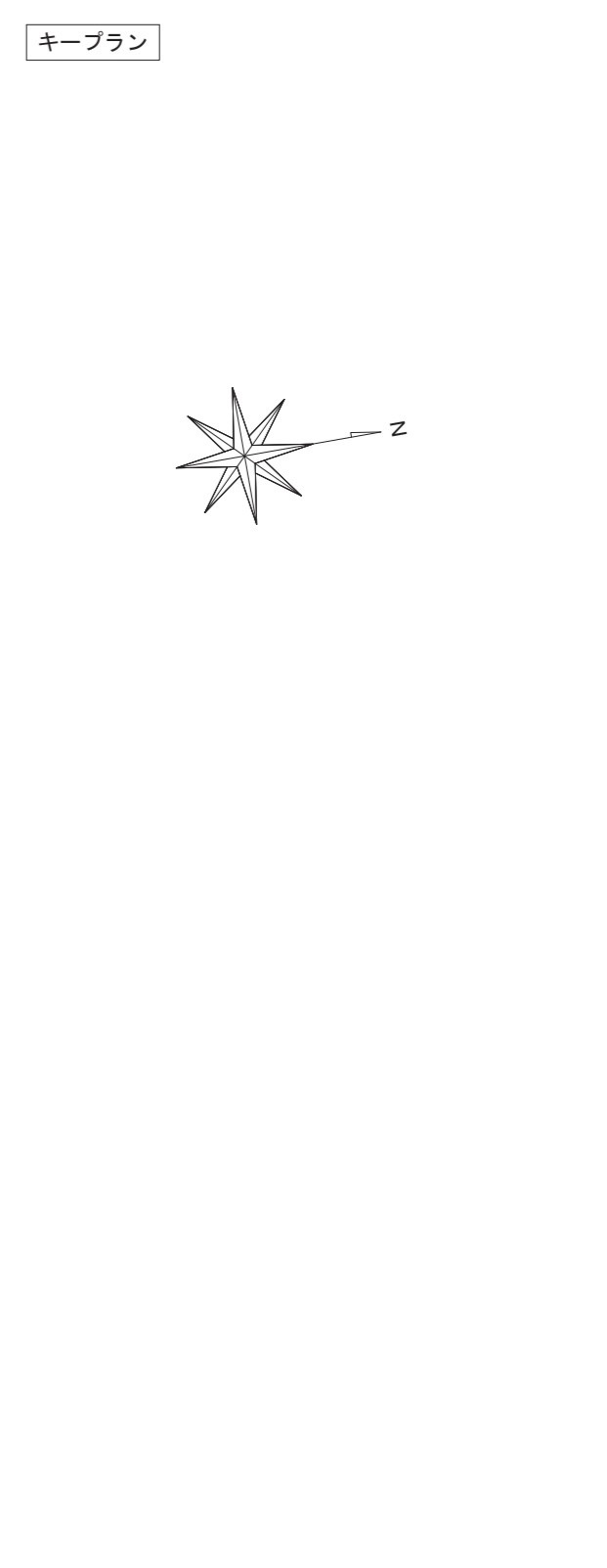
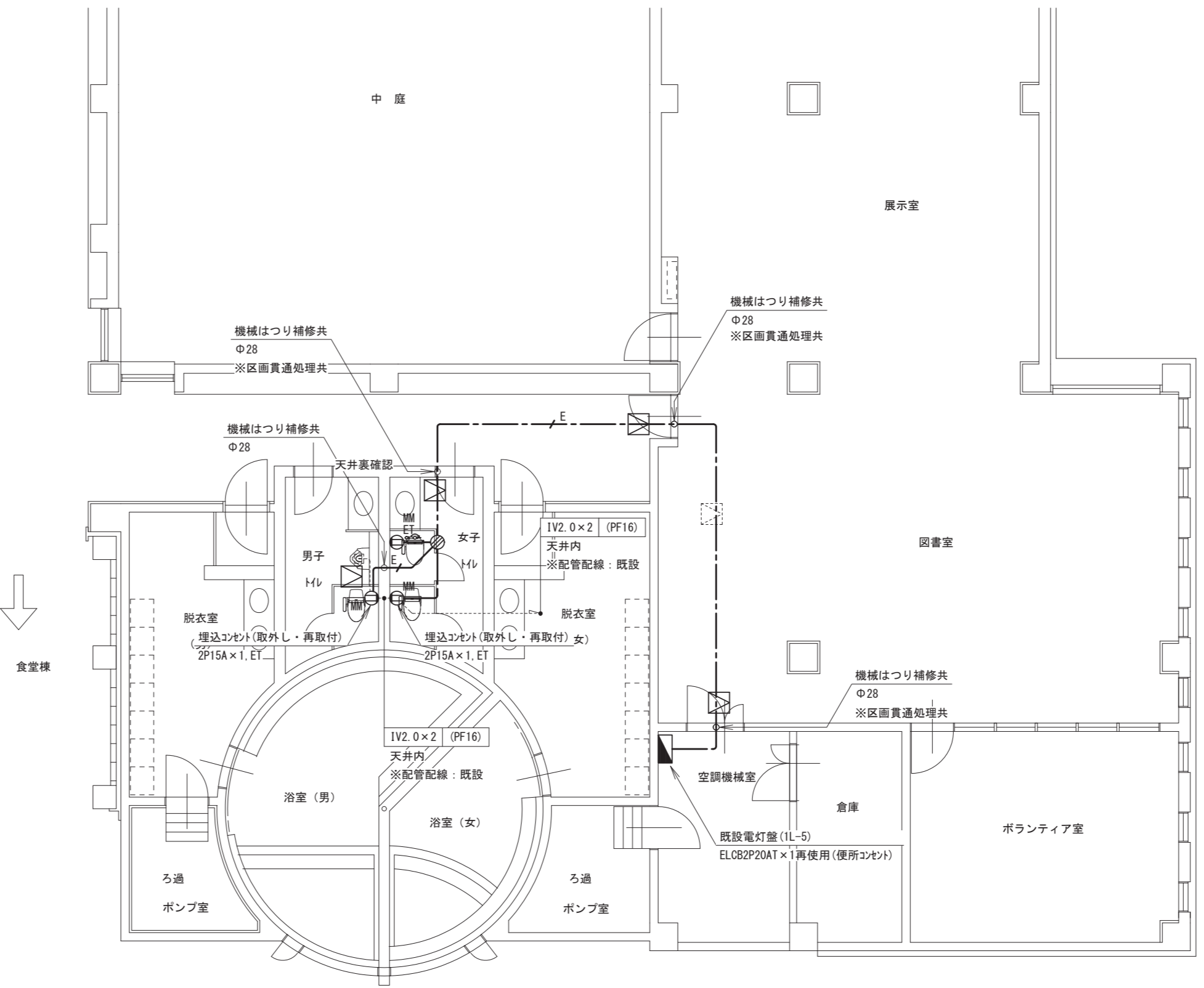
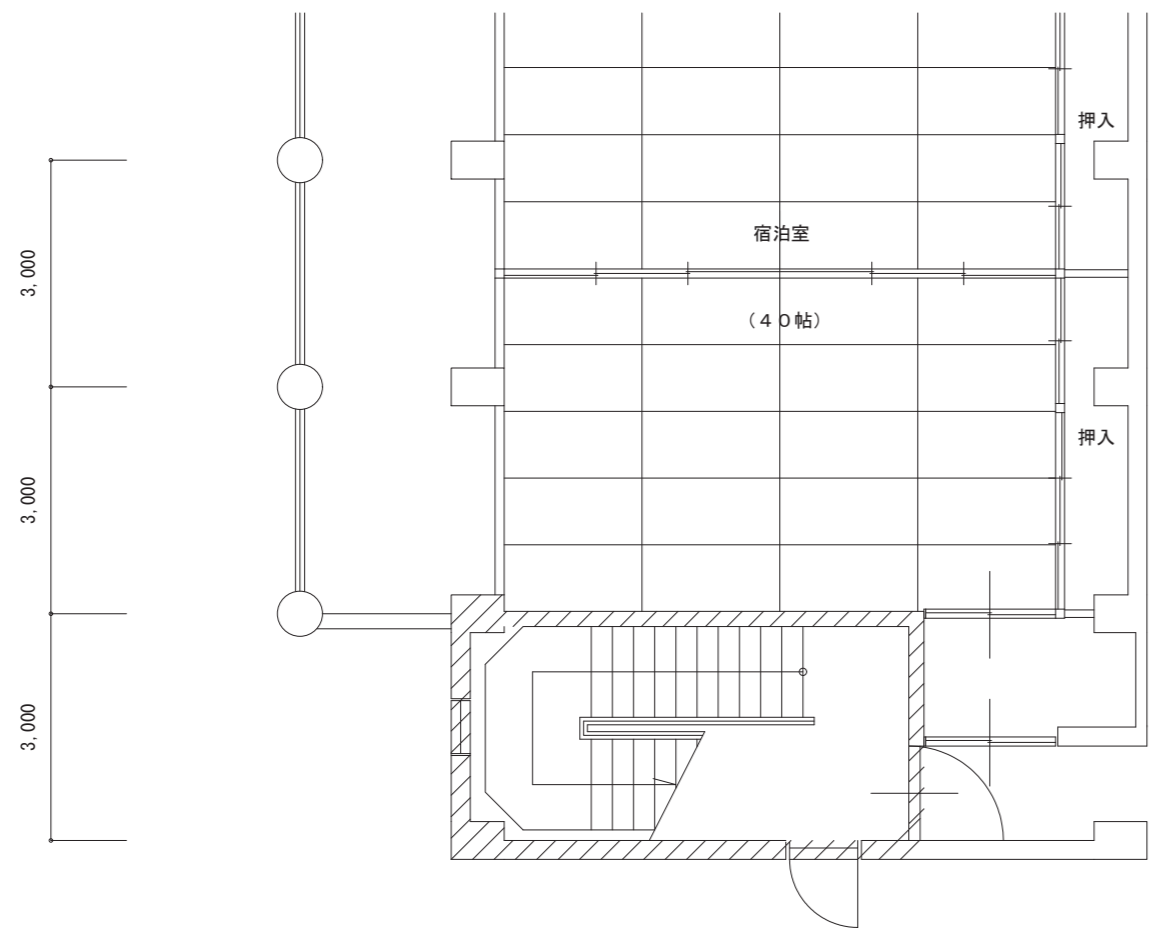
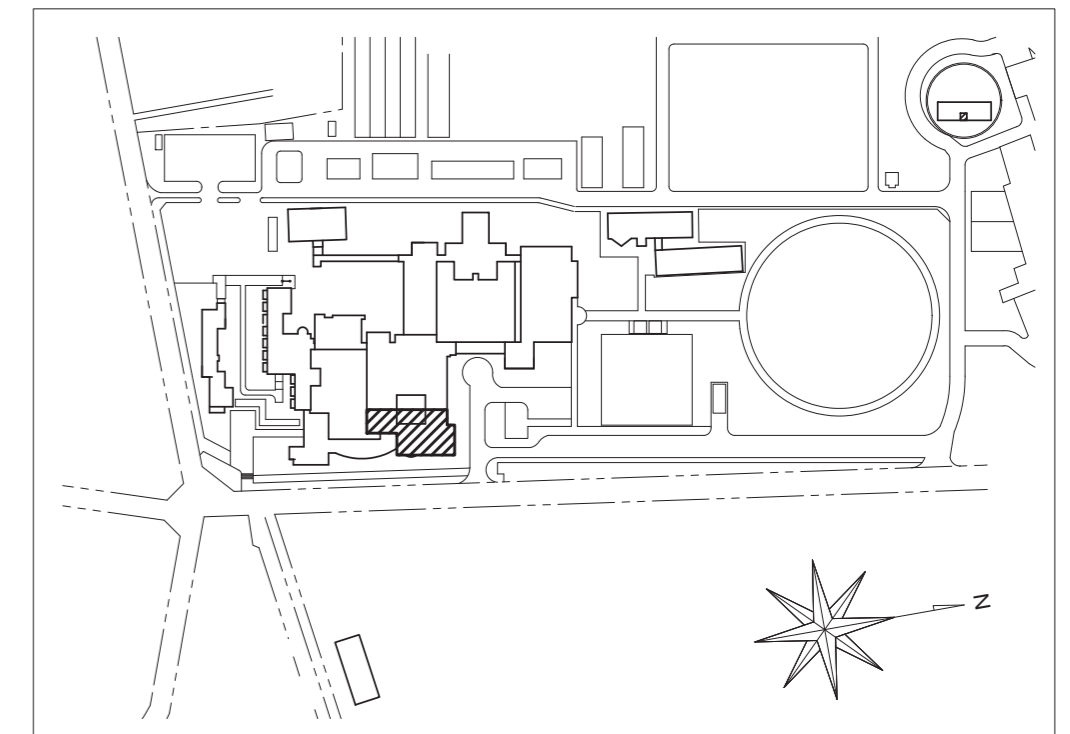
図面番号 E-05 / 13

凡例

記号	名称	摘要	
⊙ _{ET}	埋込コンセント	2P15A×1, ET	新設
⊗	7x4mmボックス	中四角 D44	新設
⊠	天井点検口	450×450	新設
⊞	既設天井点検口		既設

注記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。
 --- EM-EF2.0-3C(1C7-S) 天井内
 --- E --- EM-IE2.0 天井内
 既設配線
2. 図中、指示なき太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。
3. 図中、指示なき細破線の配管配線及びシンボルは既設を示す。
4. 図中、MM付記シンボルの立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用スリットボックスを見込む。
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。
7. 防火区画貫通処理の工法についてはE-01参照のこと。
8. 天井点検口の新設箇所の7x4mm分析調査(1検体)を行うこと。



電灯設備 国際交流館棟 1階平面図(改修後) S=1/100

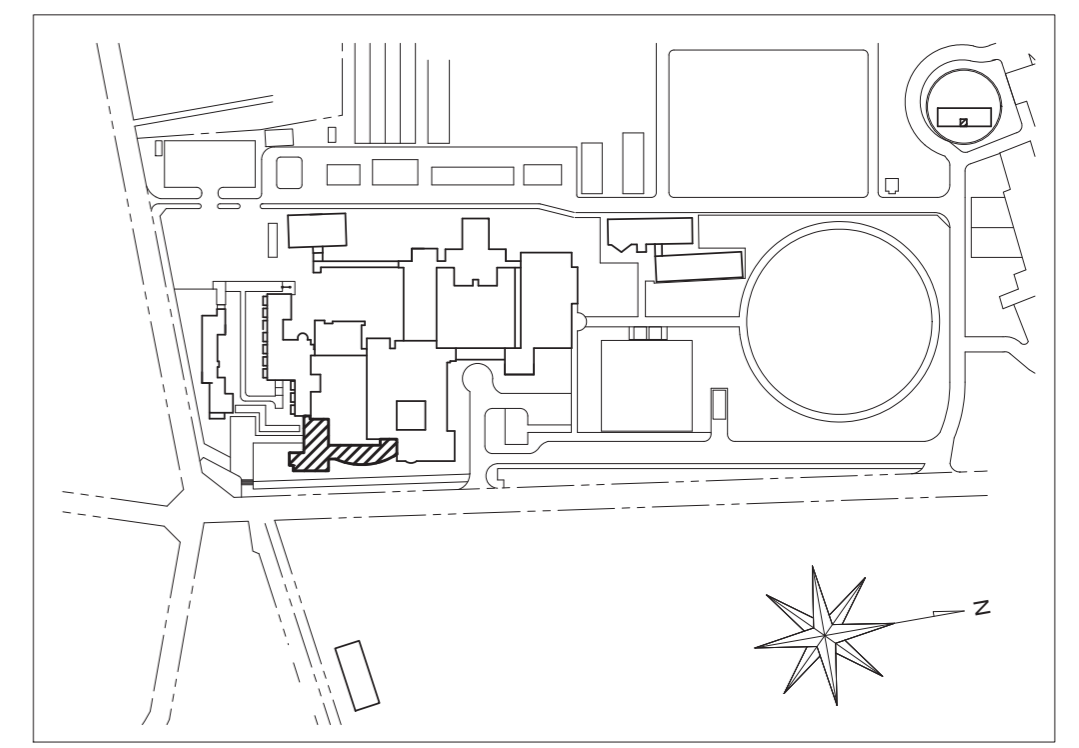


一級建築士事務所／建築設備設計事務所 X.PLAN Mechanical & Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/100 (A2)	工事名称	農業大学校トイレ洋式化改修工事	図面番号	E-06 / 13
		田村	板倉	山下	山下	設計年月日	2026.02	図面名称	電灯設備 国際交流館棟 1階浴室トイレ平面図(改修後)		

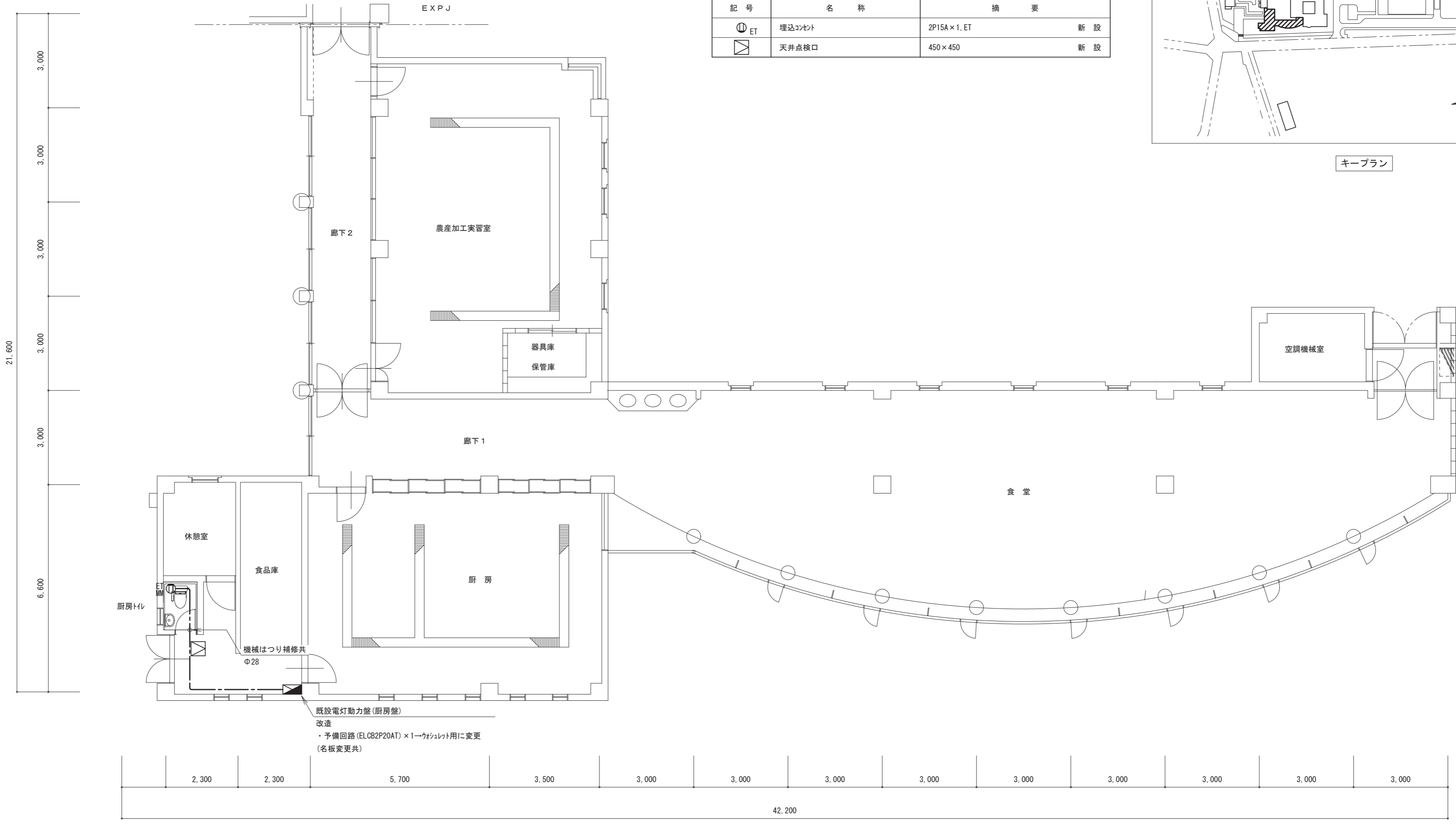
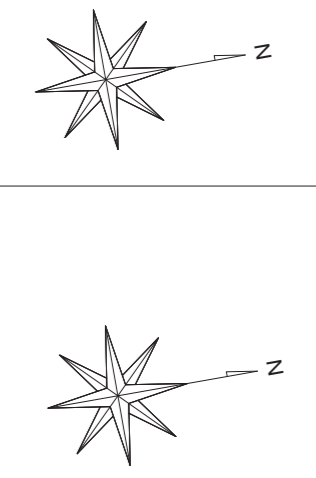
注記

1. 图中、指示なき配管配線は下記による。
 ----- EM-EF2.0-3C(1C7-ス) 天井内
2. 图中、指示なき太線の配管配線及びシボ Mは新設を示す。
3. 图中、指示なき細破線の配管配線及びシボ Mは既設を示す。
4. 图中、MM付記シボ Mの立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用スリッパを見込む。
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。
7. 天井点検口の新設箇所の7スラスト分析調査(1検体)を行うこと。

記号	名称	摘要	
⊕ ET	埋込コンセント	2P15A×1, ET	新設
⊠	天井点検口	450×450	新設



キープラン



既設電灯動力盤(厨房盤)
 改造
 ・予備回路(ELCB2P20AT)×1→ケタレット用に変更
 (名板変更共)

電灯設備 食堂棟 1階平面図(改修後) S=1/100



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
 Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

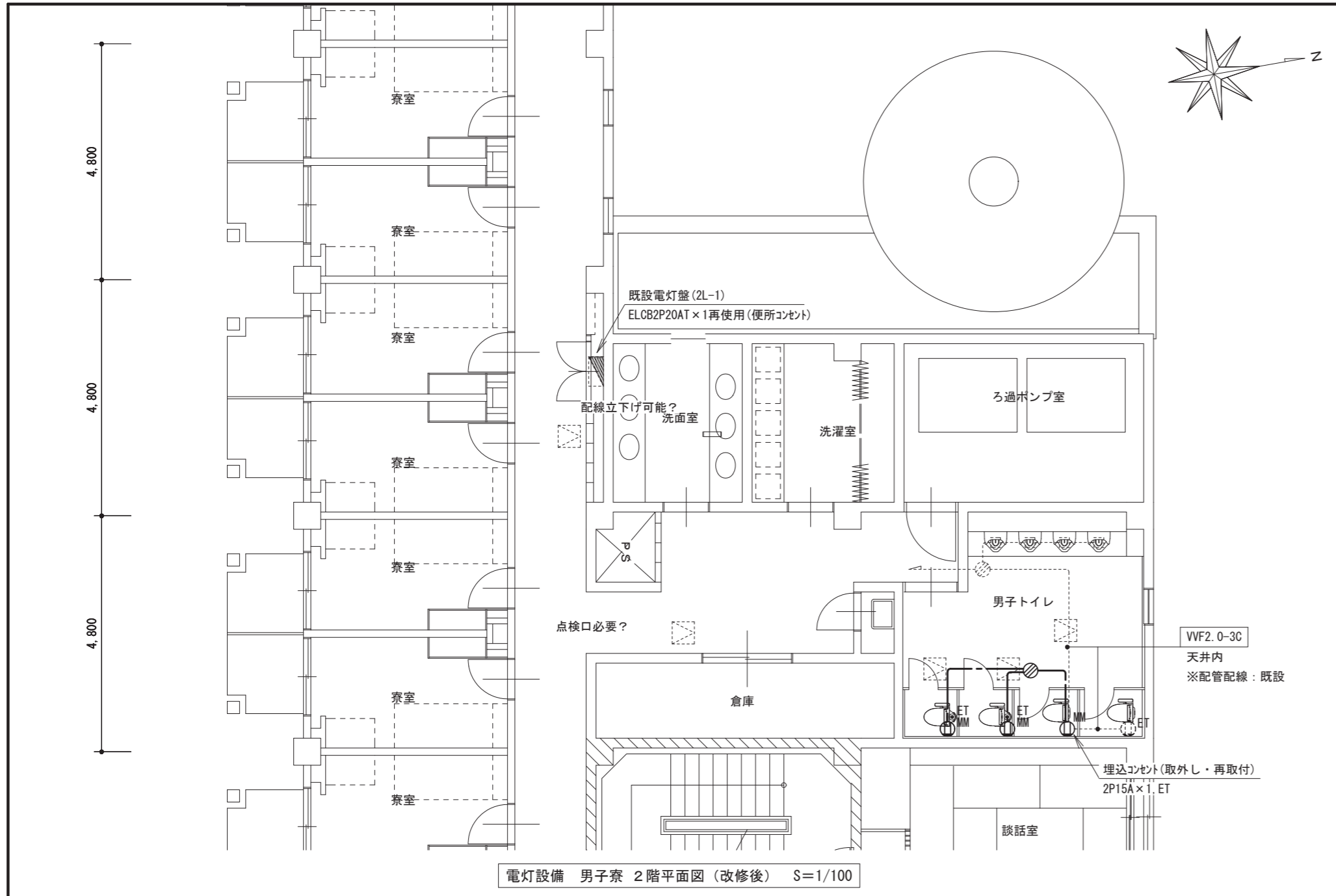
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	山下	山下

縮尺 1/100 (A2)
 設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
 図面名称 電灯設備 食堂棟 厨房トイレ平面図(改修後)

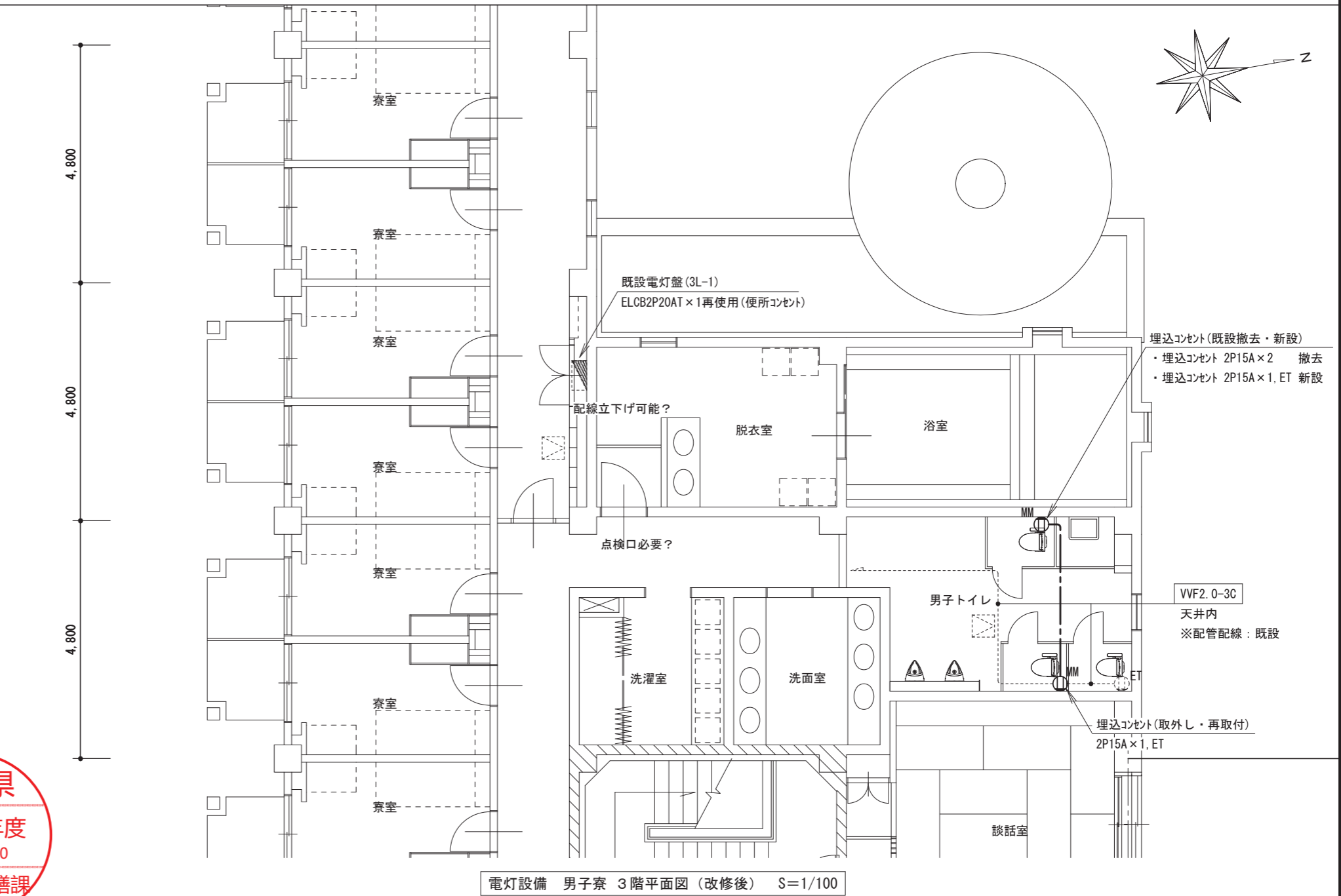
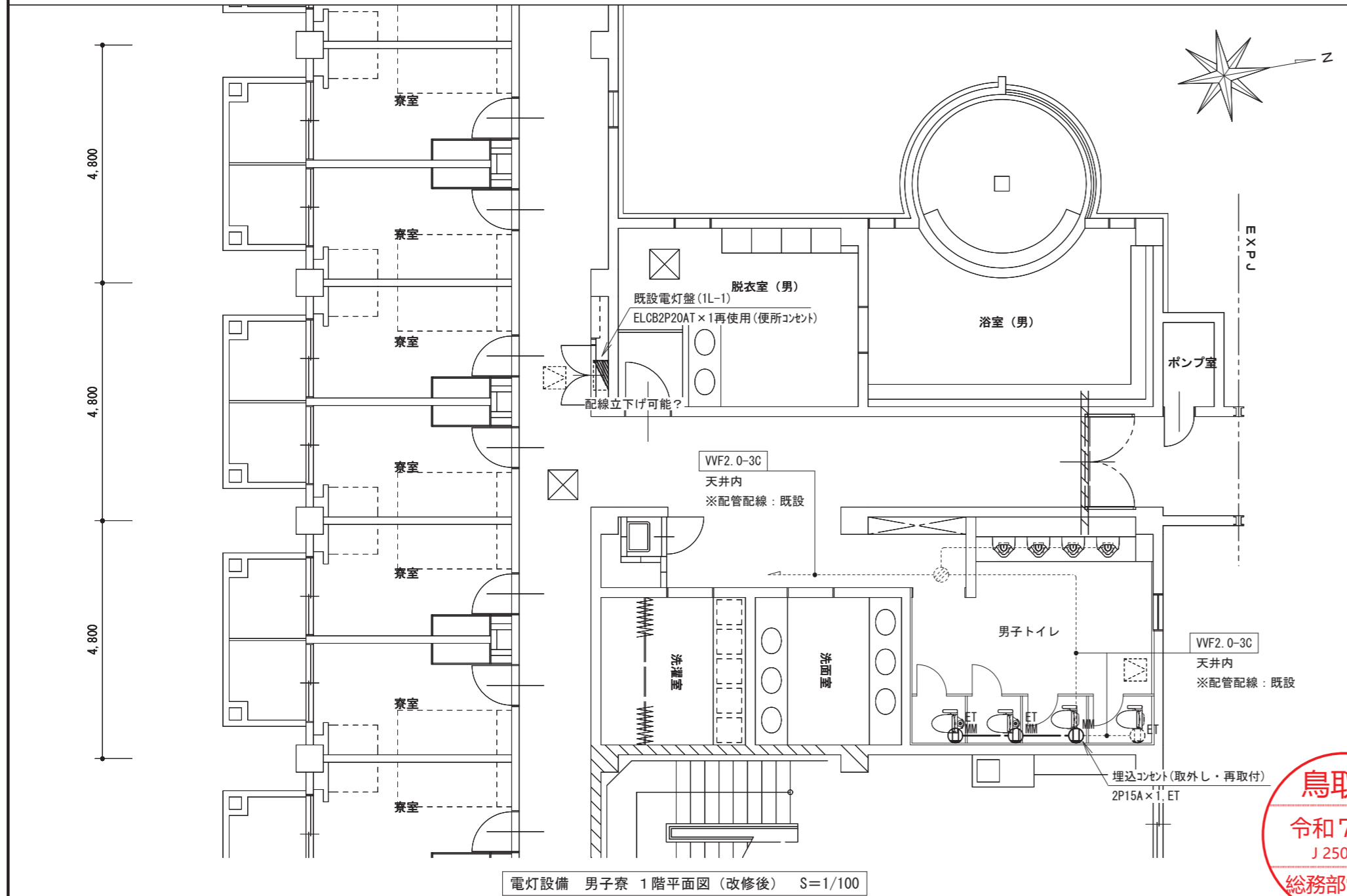
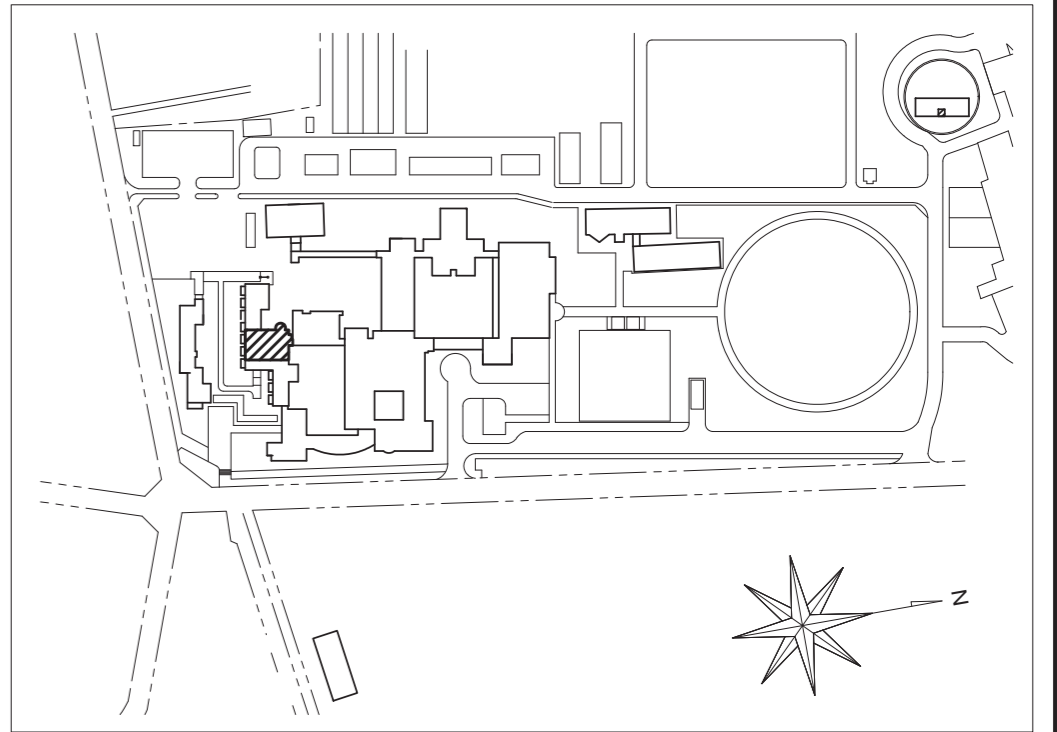
図面番号 E-07 / 13



注記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。
 ----- EM-EEF2.0-3C (107-ス) 天井内
2. 図中、指示なき太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。
3. 図中、指示なき細破線の配管配線及びシンボルは既設を示す。
4. 図中、MM付シンボルの立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用スリッパを見込む。
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。

記号	名称	摘要	
⊕ ET	埋込コンセント	2P15A x 1.ET	新設
⊙	7φトクトックス	中四角 D44	新設
⊖ ET	埋込コンセント	2P15A x 1.ET	既設
⊠	天井点検口		既設



鳥取県
令和7年度
J2500470
総務部営繕課

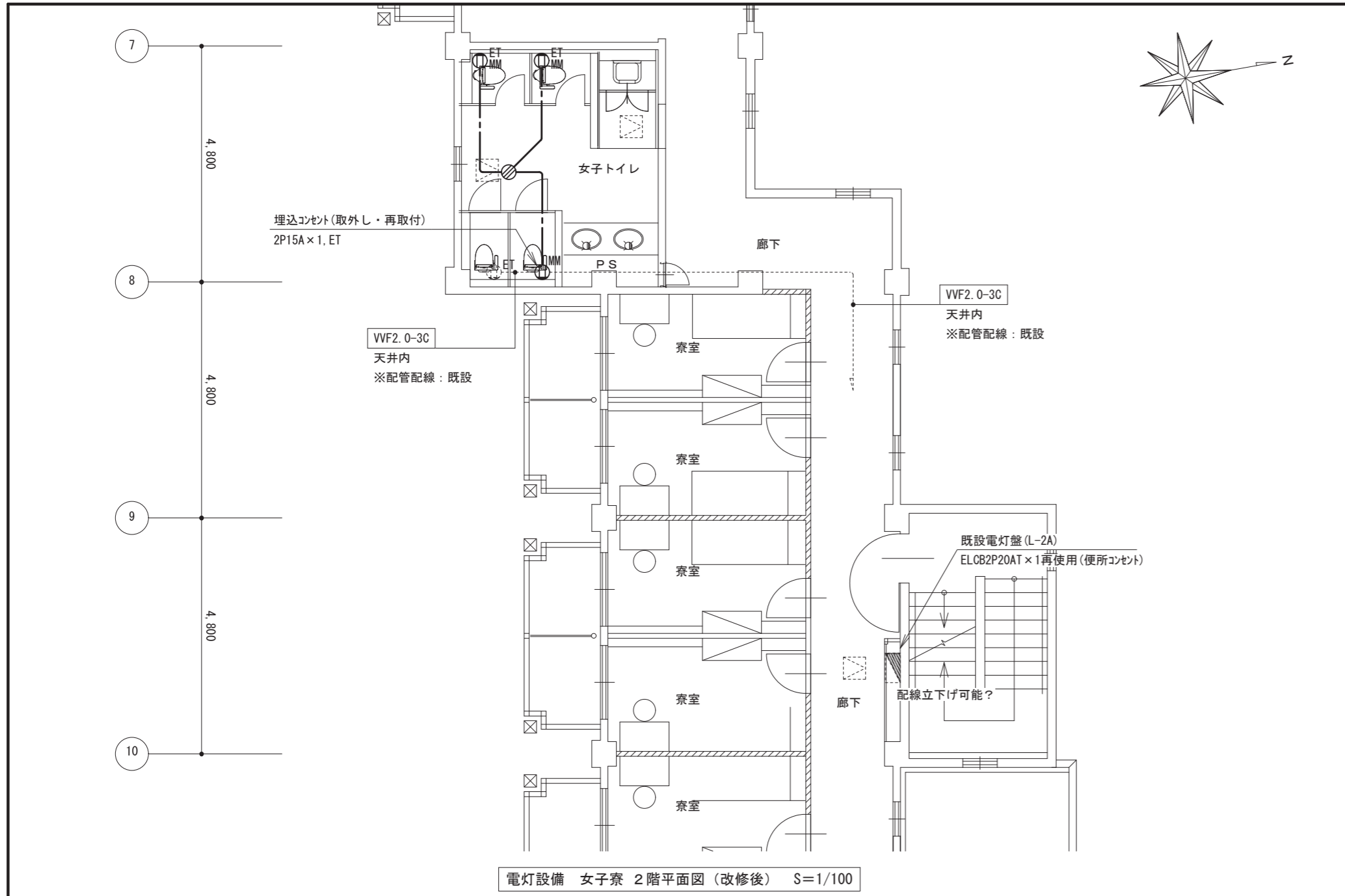
一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
 Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	山下	山下

縮尺 1/100 (A2)
 設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
 図面名称 電灯設備 男子寮 1~3階トイレ平面図 (改修後)

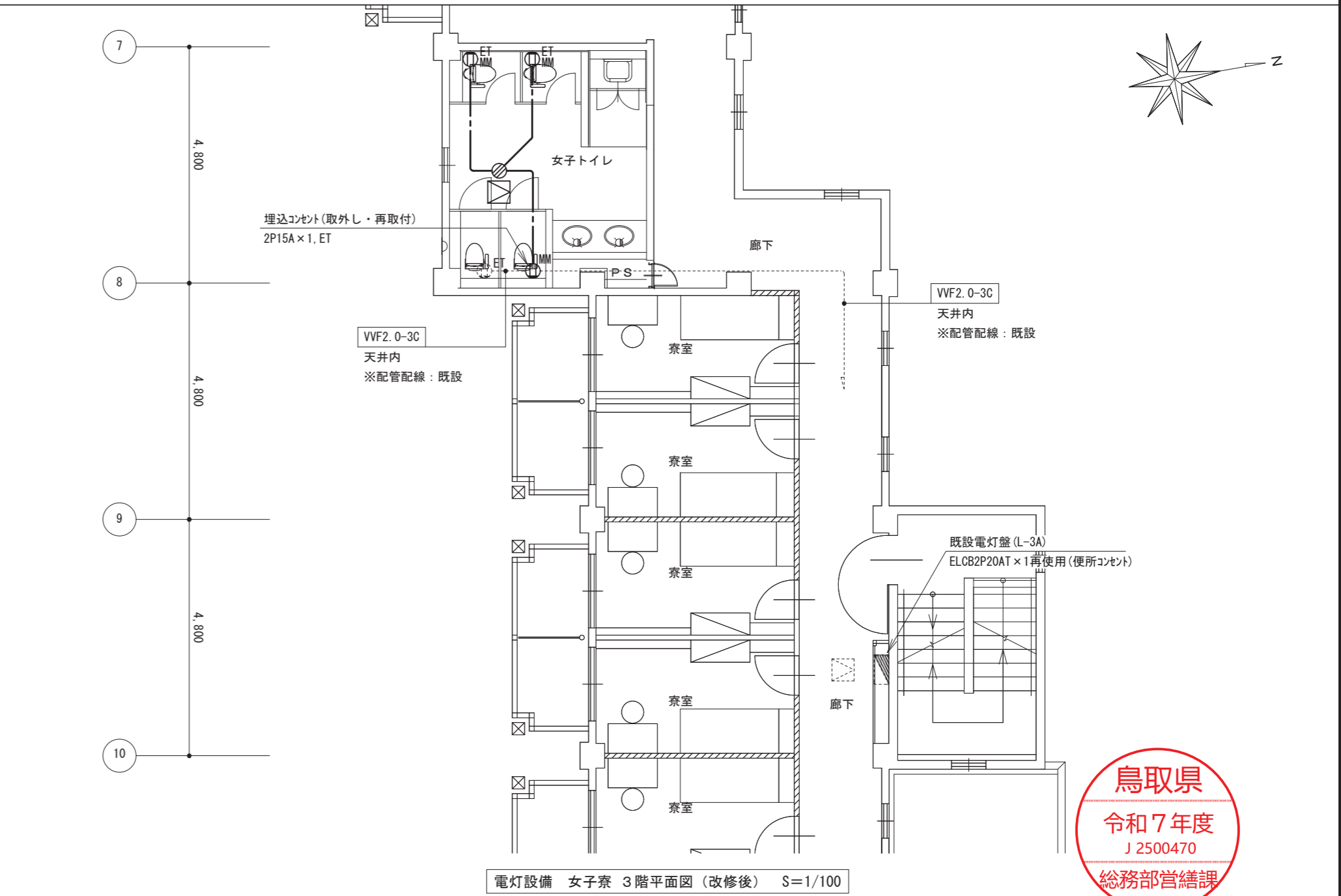
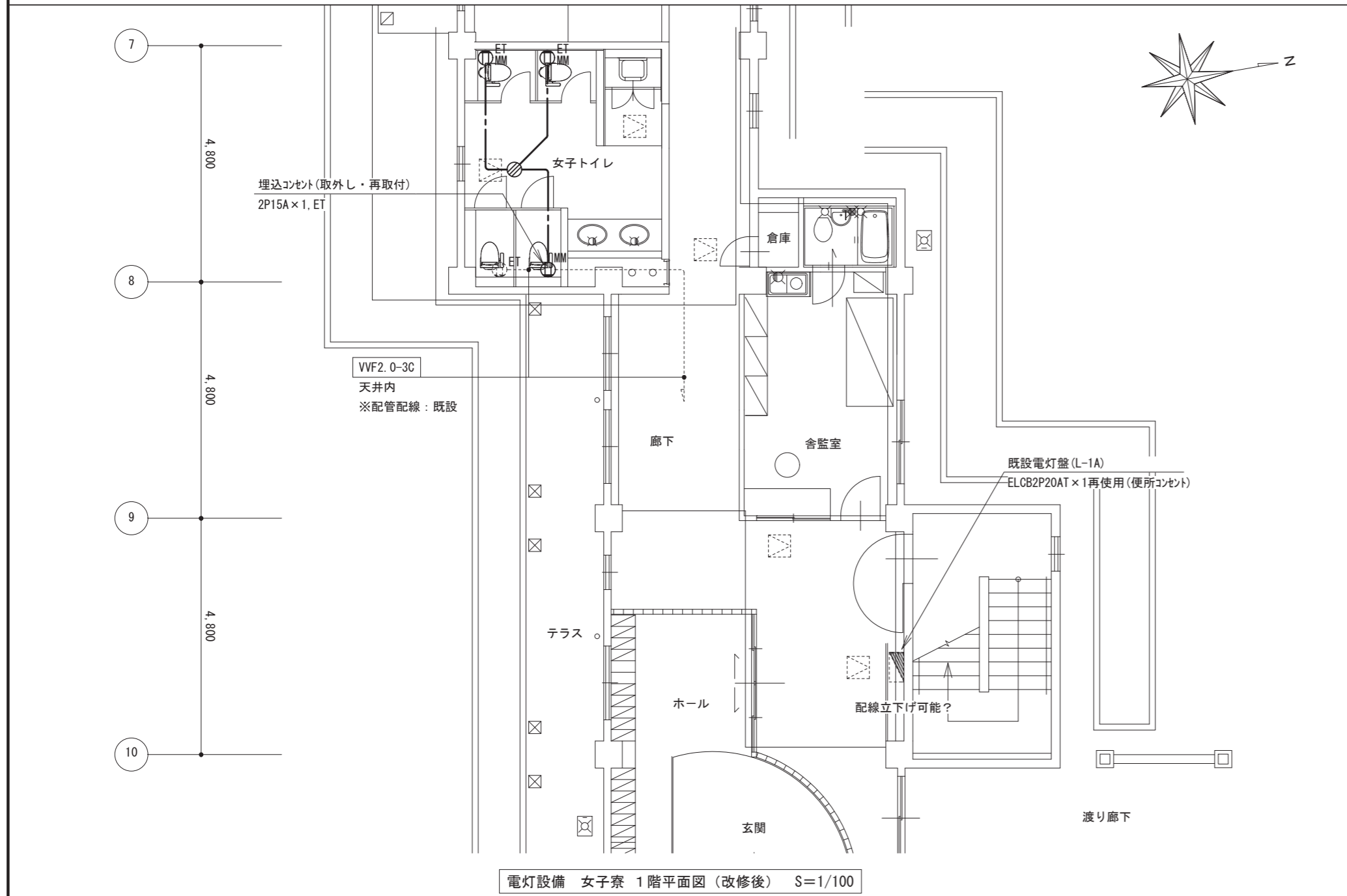
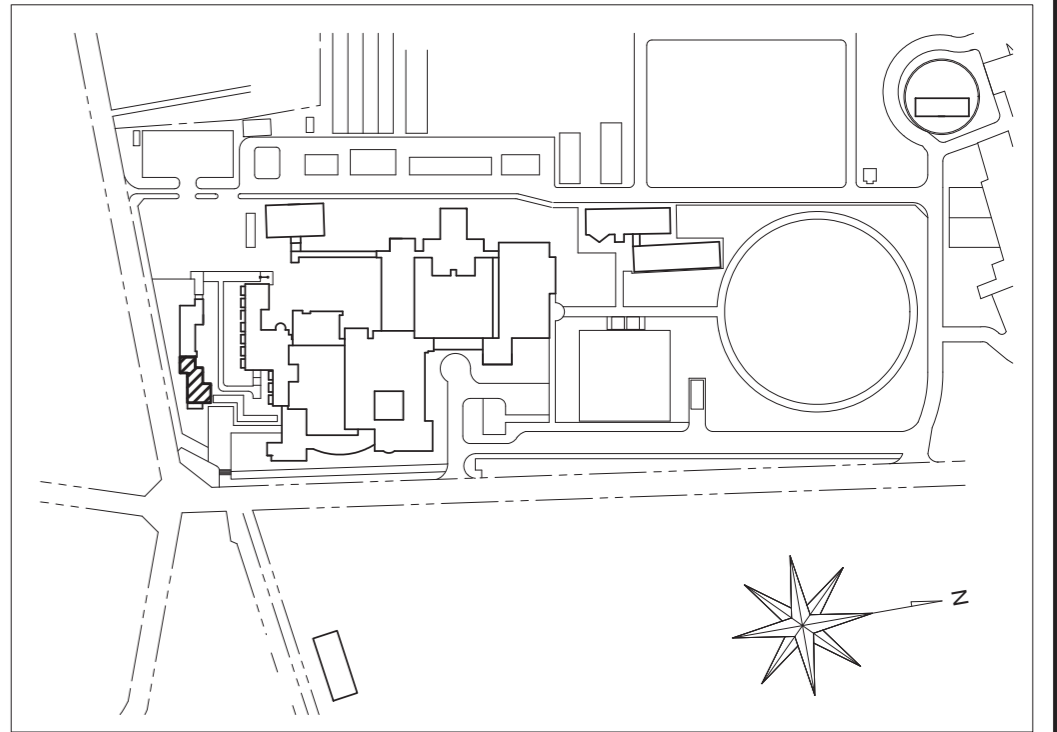
図面番号 E-08 / 13



注記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。
 EM-EF2.0-3C(107-ス) 天井内
 既設配線
2. 図中、指示なき太線の配管配線及びシンボ[®]は新設を示す。
3. 図中、指示なき細破線の配管配線及びシンボ[®]は既設を示す。
4. 図中、MM付記シンボ[®]の立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用スリッパ[®]ックスを見込む。
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。
7. 天井点検口の新設箇所の7m²未満分析調査(1検体)を行うこと。

記号	名称	摘要	
⊕ ET	埋込コンセント	2P15A×1, ET	新設
⊗	7φトリッド [®] ックス	中四角 D44	新設
⊠	天井点検口	450×450	新設
⊕ ET	埋込コンセント	2P15A×1, ET	既設
⊠	天井点検口		既設



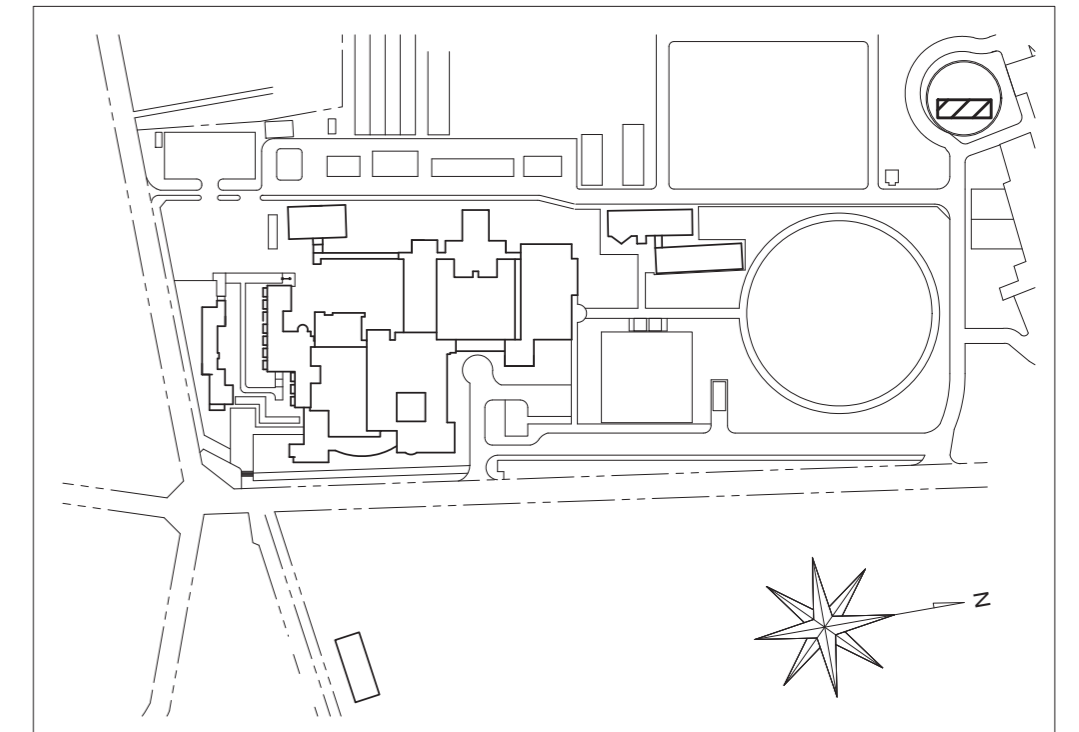
鳥取県
令和7年度
J 2500470
総務部営繕課

注記

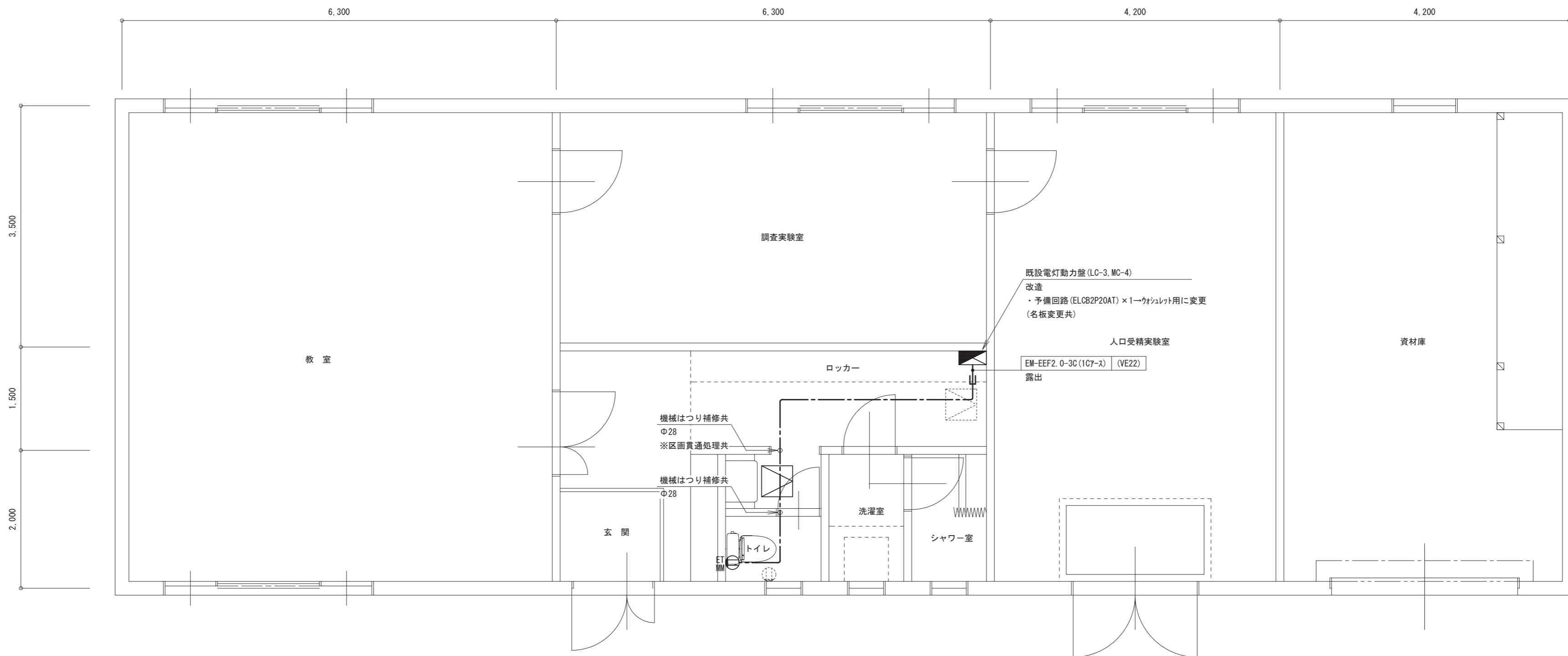
1. 図中、指示なき配管配線は下記による。

- EM-EEF2.0-3C (1C7-ス) 天井内
- 1. 図中、指示なき太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。
- 2. 図中、指示なき細線の配管配線及びシンボルは既設を示す。
- 3. 図中、MM付記シンボルの立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用スイッチボックスを見込む。
- 4. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
- 5. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。
- 6. 天井点検口の新設箇所の7m² 分分析調査(1棟体)を行うこと。

記号	名称	摘要	
⊕ET	埋込コンセント	2P15A×1, ET	新設
□	天井点検口	450×450	新設
⊕	埋込コンセント	2P15A×2	既設
□	天井点検口		既設



キープラン



電灯設備 畜産教室棟 平面図 (改修後) S=1/50

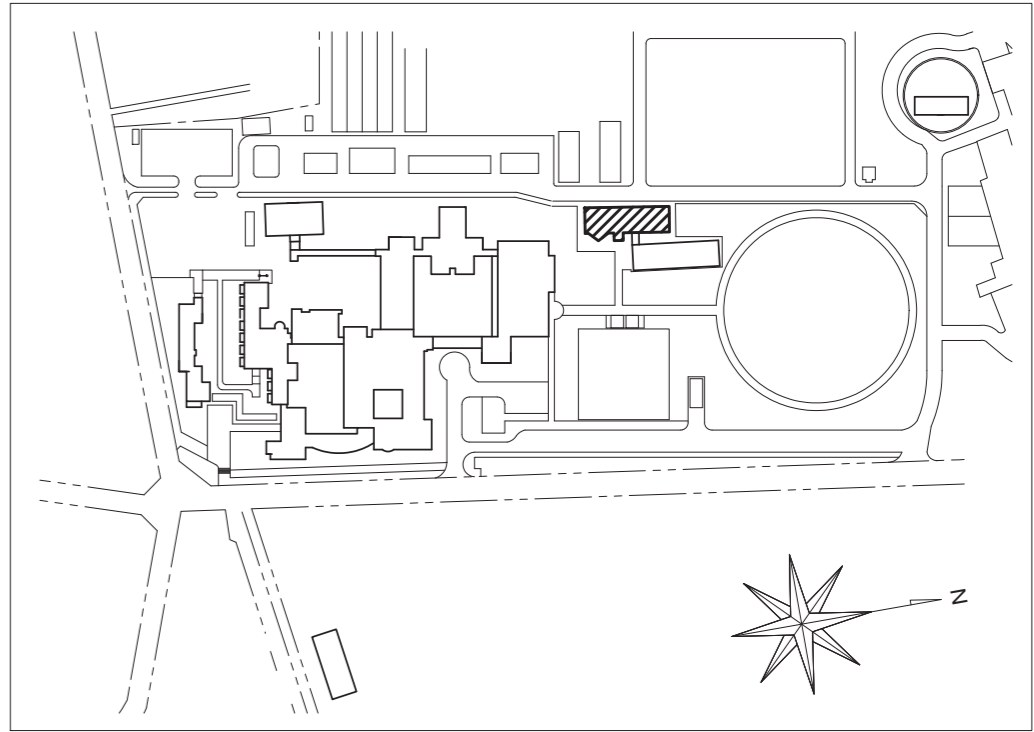


凡 例

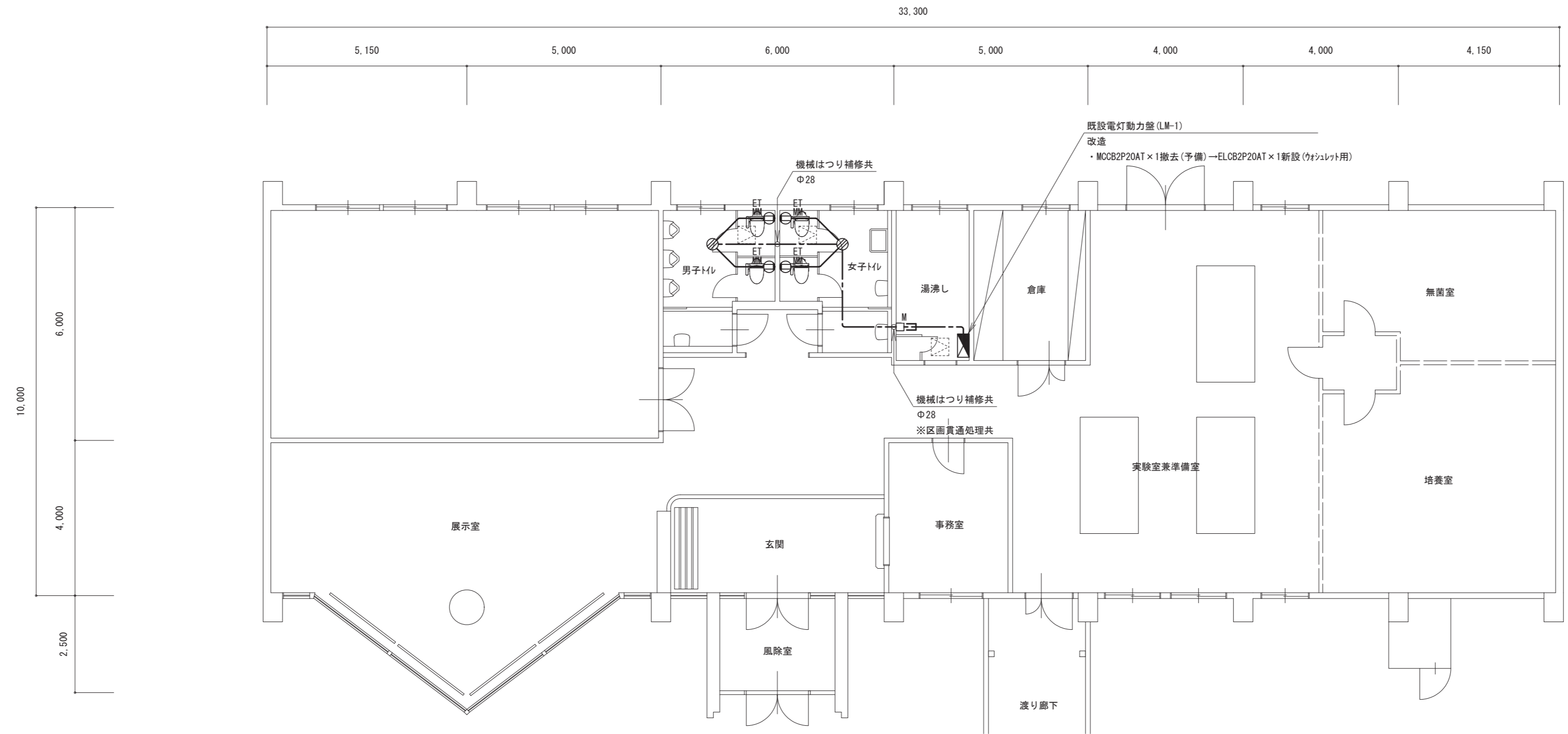
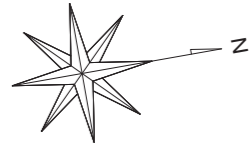
記号	名称	摘要	
Ⓧ _{ET}	埋込コンセント	2P15A×1, ET	新 設
□ _M	露出ジャンクションボックス	MMA用	新 設
⊗	アクトボックス	中四角 D44	新 設
⊠	既設天井点検口		既 設

注 記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。
 ----- EM-EEF2.0-3C(107-ス) 天 井 内
 ----- 立下げ配線を1種金属線びで保護する。
2. 図中、指示なき太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。
3. 図中、指示なき細破線の配管配線及びシンボルは既設を示す。
4. 図中、MM付シンボルの立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用ジャンクションボックスを見込む。
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。
7. 防火区画貫通処理の工法についてはE-01参照のこと。
8. 天井点検口の既設箇所の7x7x1分析調査(1検体)を行うこと。



キープラン

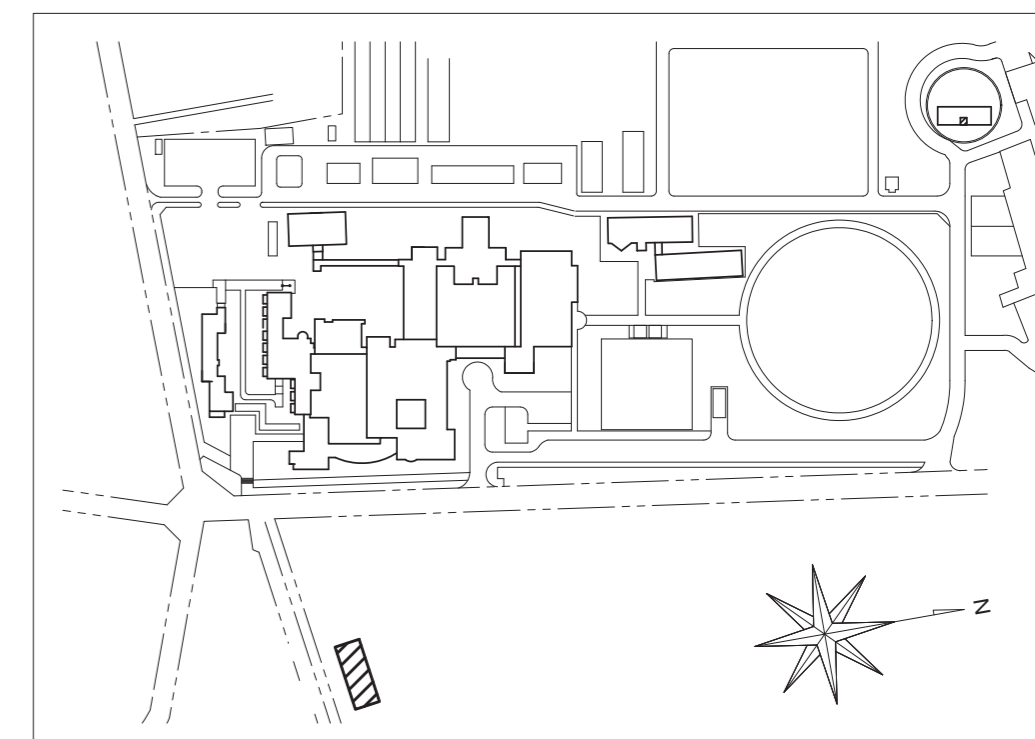


電灯設備 バイテク棟 平面図(改修後) S=1/100

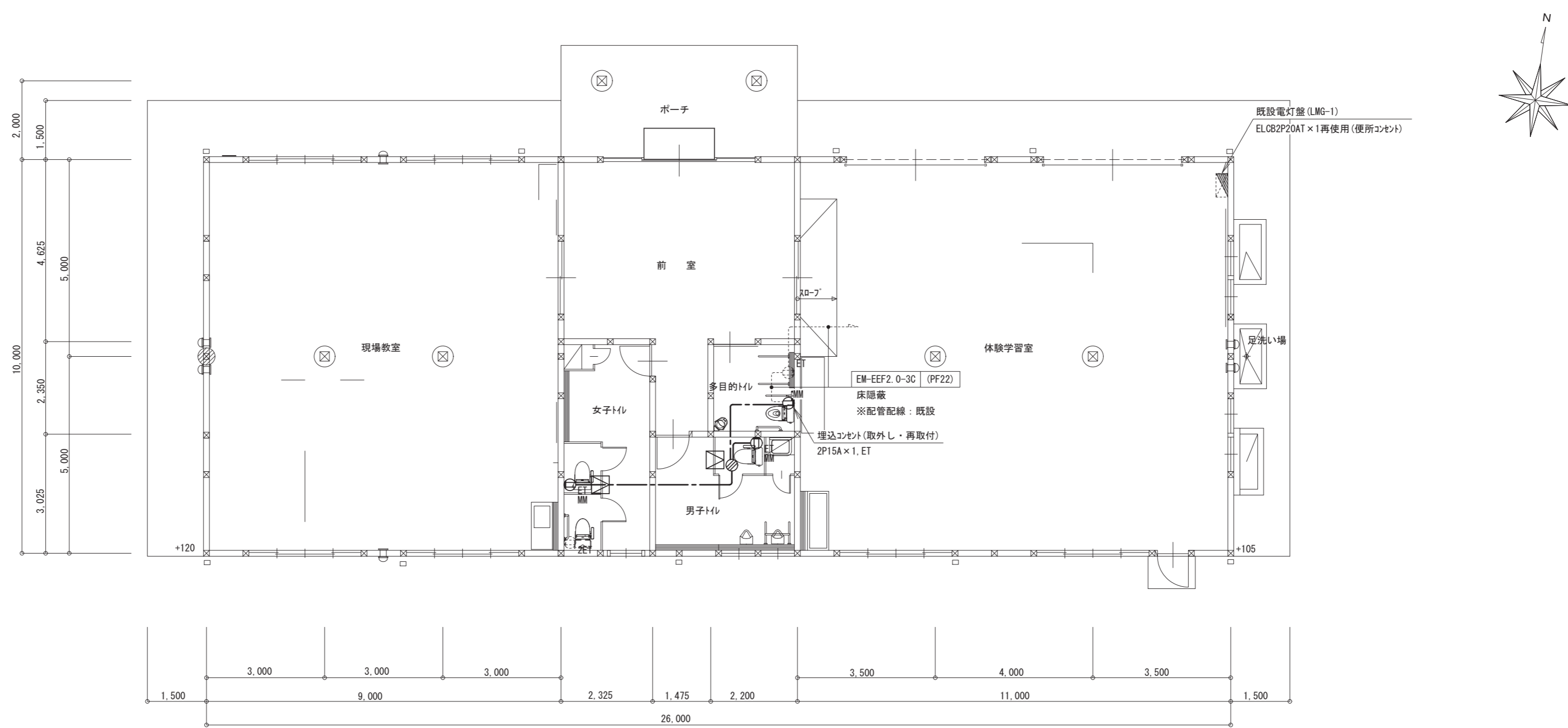


注 記

1. 图中、指示なき配管配線は下記による。		
-----	EM-EEF2.0-3C(1G7-ス)	天井内
2. 图中、指示なき太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。		
3. 图中、指示なき細破線の配管配線及びシンボルは既設を示す。		
4. 图中、MM付記シンボルの立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用スイッチ'ガス'を見込む。		
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。		
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。		
7. 天井点検口の新設箇所の7S'スト分析調査(1検体)を行うこと。		
記号	名称	摘要
⊙ _{ET}	埋込コンセント	2P15A×1.ET 新設
⊗	7'ワット'ガス	中四角 D44 新設
⊠	天井点検口	450×450 新設
⊙ _{ET}	埋込コンセント	2P15A×1.ET 既設
⊙ _{2ET}	埋込コンセント	2P15A×2.ET 既設
⊠	天井点検口	既設



キープラン



電灯設備 農業学習館棟 平面図 (改修後) S=1/100



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical&Electrical Engineers

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	山下	山下

縮尺 1/100 (A2)
 設計年月日 2026.02

工事名称 農業大学校トイレ洋式化改修工事
 図面名称 電灯設備 農業学習館棟 トイレ平面図 (改修後)

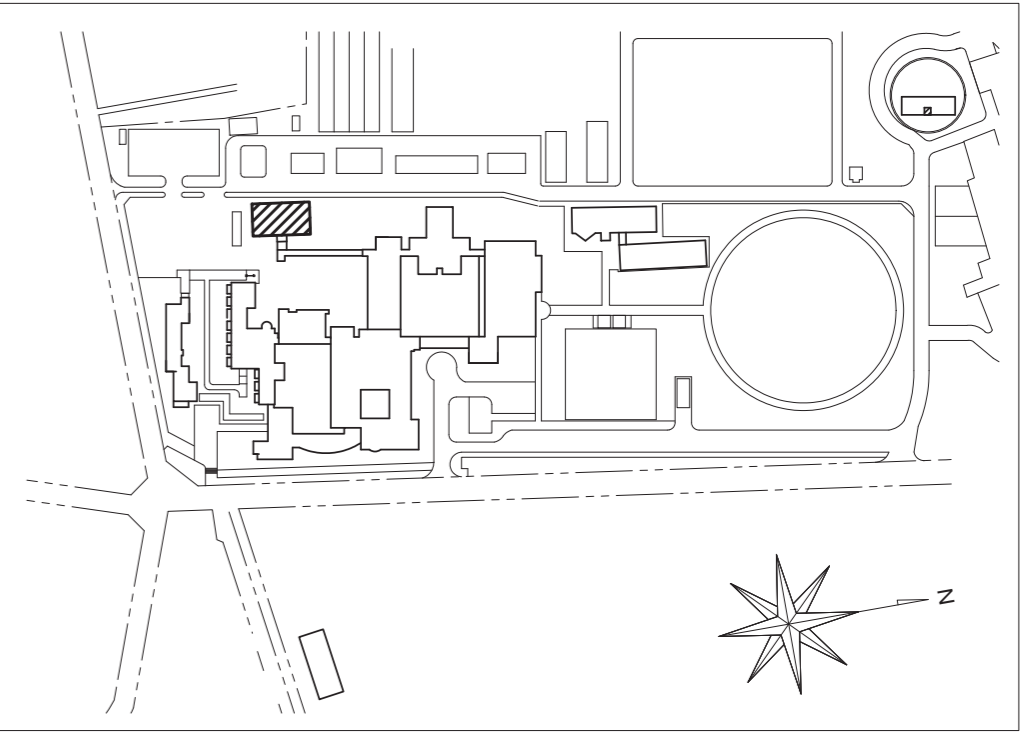
図面番号 E-12 / 13

凡 例

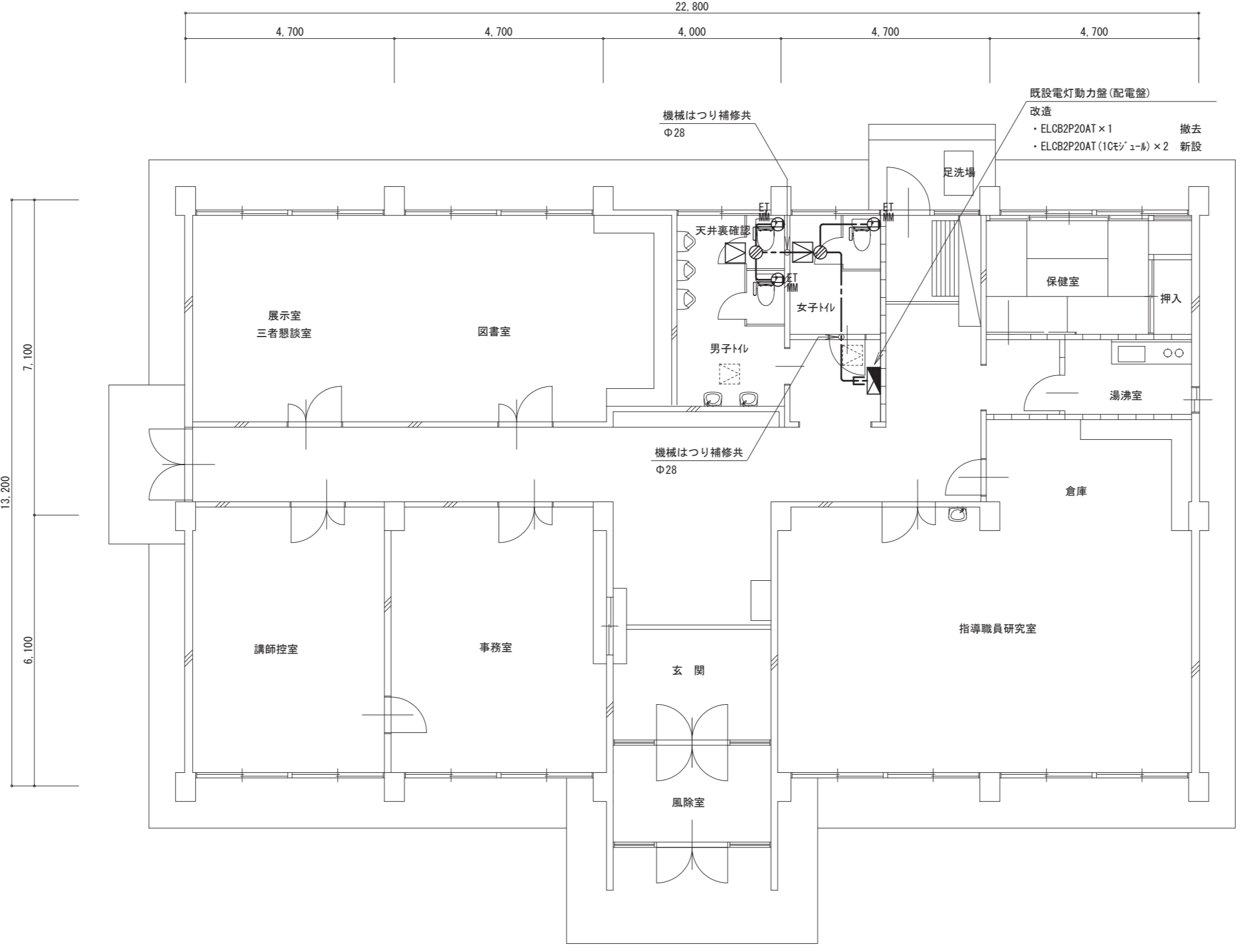
記号	名称	摘要	
Ⓧ _{ET}	埋込コンセント	2P15A×1, ET	新 設
⊗	アクトボックス	中四角 D44	新 設
□	天井点検口	450×450	新 設
⊞	既設天井点検口		既 設

注 記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。
 ----- EM-EEF2.0-3C(107-ス) 天 井 内
 ----- 立下げ配線を1種金属線びで保護する。
2. 図中、指示なき太線の配管配線及びシンボ_Mは新設を示す。
3. 図中、指示なき細破線の配管配線及びシンボ_Mは既設を示す。
4. 図中、MM付記シンボ_Mの立下げ配線は1種金属線びにて保護とし、MM用スリッパ_Mを見込む。
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。
7. 天井点検口の既設箇所のガス分析調査(1検体)を行うこと。



キープラン



電灯設備 旧本館棟 1階平面図 (改修後) S=1/100



県立農業大学校女子寮エアコン更新工事（第1期）

図番	図名
0	図面リスト・特記仕様書
1	附近見取図・配置図
2	1階機器配管配置平面図（改修）
3	2階機器配管配置平面図（改修）
4	3階機器配管配置平面図（改修）
5	1階機器配管配置平面図（撤去）
6	2階機器配管配置平面図（撤去）
7	3階機器配管配置平面図（撤去）

特記仕様書

1 一般事項

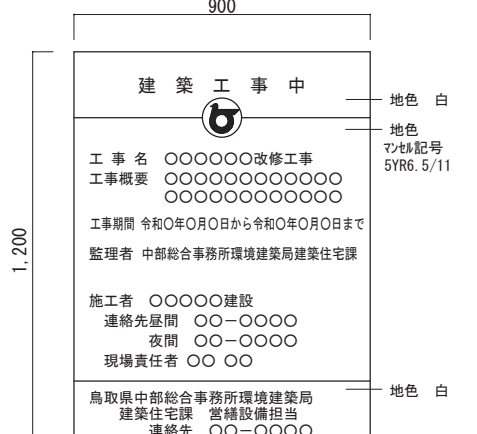
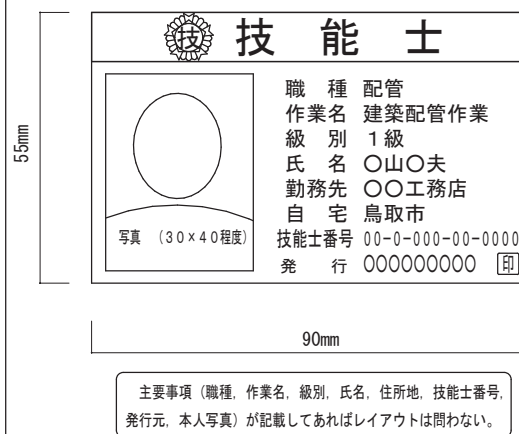
- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。ただし、改修工事については「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書、改修標準仕様書及び監理指針を適用する。

2 特記事項

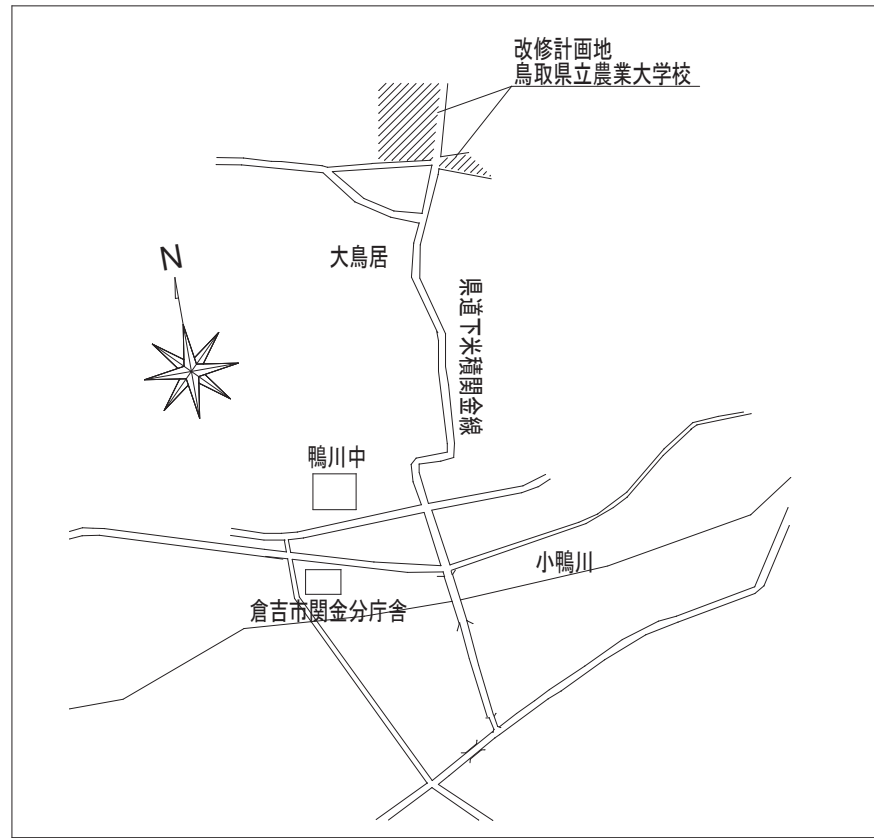
- 官公署その他への手続
工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、受注者の負担とする。
- 機材等
本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。なお、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
- 機材の品質・性能証明
JISマーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2（c）により、品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
- 施工図等
提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
- 完成写真等
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」による。完成写真（カラーサービス判：2部）、工事写真（カラーサービス版：1部）を提出する。（電子データ共）
- 完成図等
次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
・完成図、施工図（CADデータ、PDFデータ）1部
・完成図2つ折製本（A3判）2部
・完成図（A4版市販ファイル）：完成写真、完成図A4折、施工図、主要機器図、試験成績書 2部
・保守用説明書（A4版市販ファイル）：保守に関する指導案内書、機器取扱説明書、主要機器一覧表 2部
・保証書 1部
・官公署届出書類 1部
- 技能士の適用
冷凍空調和2級
- 電気保安技術者
適用する
- 工事用水・電力
本工事に必要な工事用水、電力などの費用はすべて受注者の負担とする。
- 表示板
設ける。（寸法等は下図による。）
- 補修など
工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。
- 火災保険等
工事的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで【概ね工期+21日】とする。）

※ 技能士名札参考図

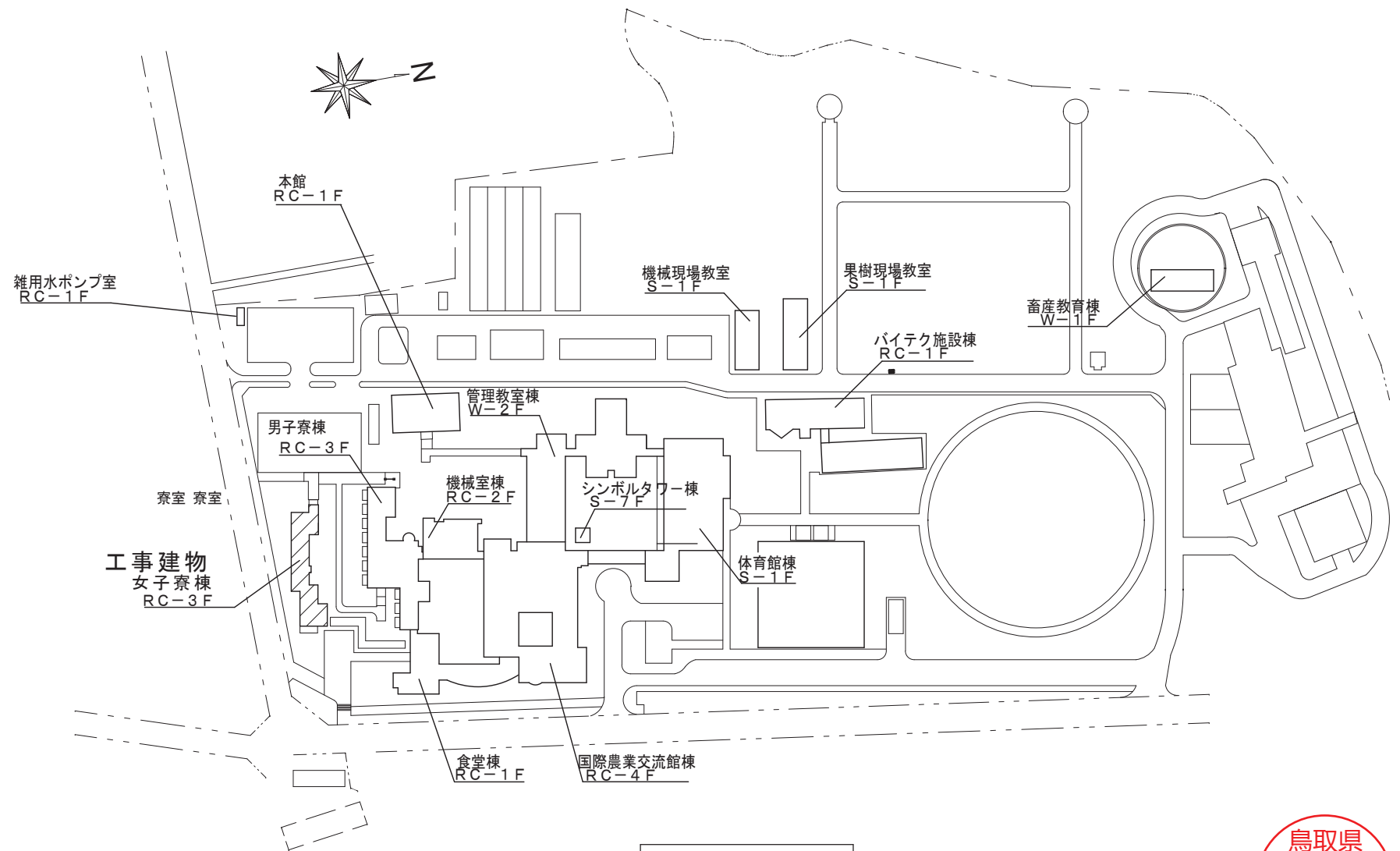
※ 工事表示板（書体は角ゴシックとする）



工事名称	県立農業大学校女子寮エアコン更新工事（第1期）	SCALE	DATA	鳥取県中部総合事務所環境建築局建築住宅課	年度	図面NO.
		—	R 8. 1			
図名	図面リスト・特記仕様書				R7	0



附近見取図 No Scale



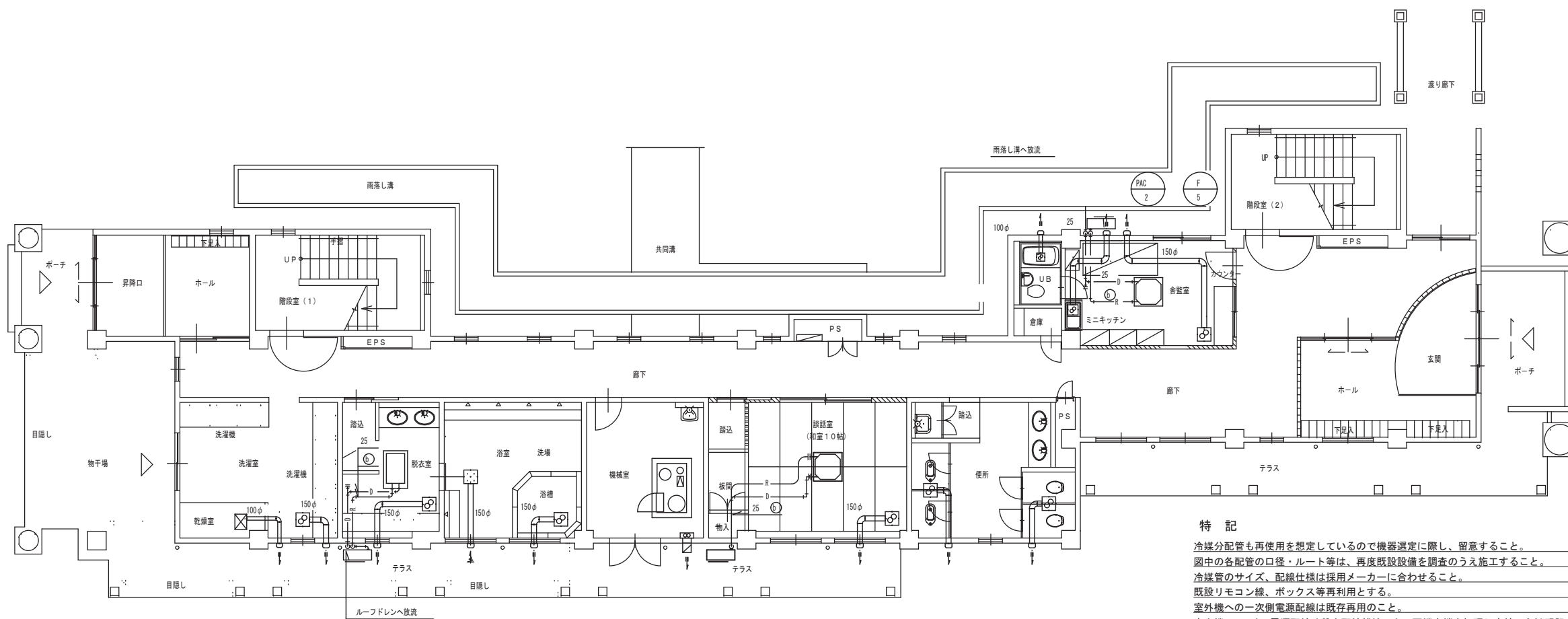
配置図 1/400



工事名称	県立農業大学校女子寮エアコン更新工事（第1期）	SCALE	DATE	年度	番号
図名	附近見取図、配置図	No Scale 1 / 400	R 8 . 1	R 7	1

改修機器表

記号	名称	仕様	数量	備考
PAC2	パッケージエアコン	40形 4方向天井カセット型室内機 (定格)冷房3.6kw 暖房4.0kw インバータ ワイヤードリモコン 溶融亜鉛めっき仕上鋼製架台(平地犬走用:参考PC-DRG) 3φ200V	1	



PAC 2 【撤去】

1階機器配管配置平面図 (1/150) (改修)

特記
 冷媒配管も再使用を想定しているので機器選定に際し、留意すること。
 図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備を調査のうえ施工すること。
 冷媒管のサイズ、配線仕様は採用メーカーに合わせること。
 既設リモコン線、ボックス等再利用とする。
 室外機への一次側電源配線は既存再行のこと。
 室内機への二次側電源配線は管内配線離線の上、両端を端末処理し配線の主旨明記のしかけのこと。
 固定ボルトは採用メーカーの耐震計算書によって仕様を決定すること。
 作業の際は粉塵等に注意し、十分に養生を行うこと。
 ドレン管はVPとし保温チューブ10tとし、冷媒管は断熱材被覆鋼管とする。
 屋外機固定アーカーは引抜試験(1本)を行うこと。
 室内機廻りの冷媒、ドレン管、室外機廻りの冷媒配管は図示の範囲(各0.5mを見込む)は新設のこと。

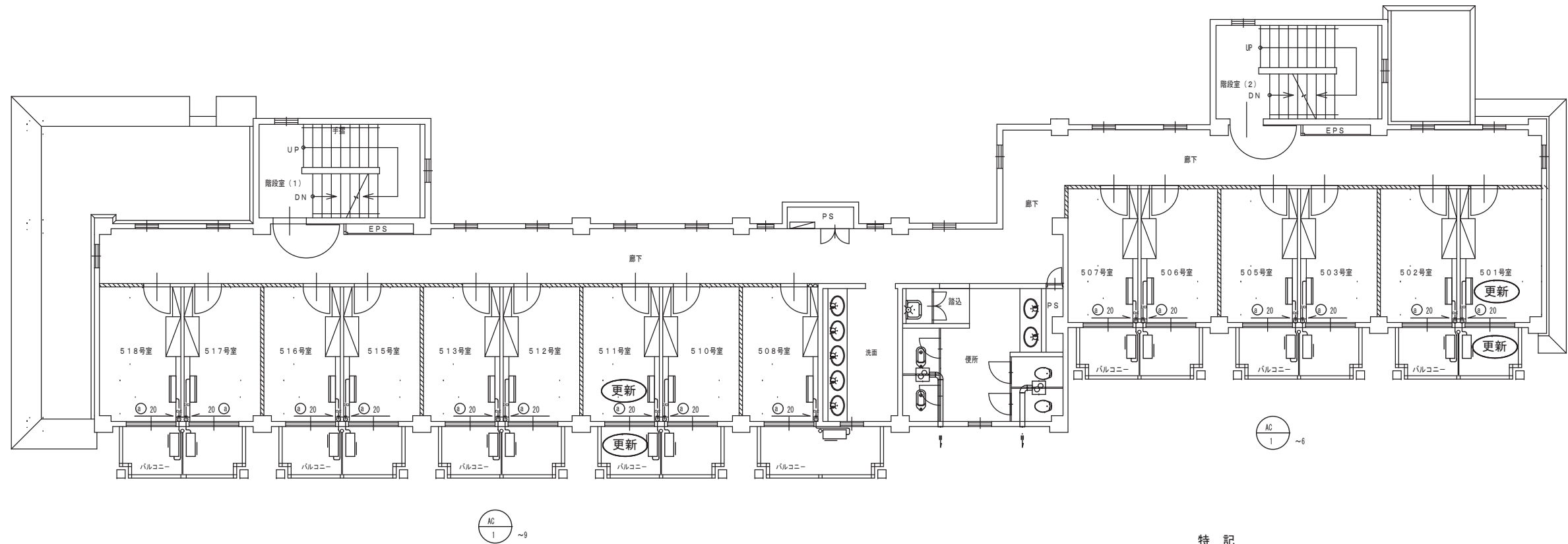
記号	冷媒配管サイズ		ドレン管サイズ
	液管	ガス管	(VP)
④	6.35φ × 9.52φ		20
⑤	6.35φ × 12.7φ		25



工事名称	県立農業大学校女子寮エアコン更新工事 (第1期)	SCALE	DATE	年度	番号
図名	1階機器配管配置平面図 (改修)	1 / 150	R 8 . 1	R 7	2

撤去機器表

記号	名称	仕様	数量	備考
AC1	ルームエアコン	22形 壁掛型室内機 (定格)冷房2.2kw 暖房3.2kw ワイヤレスリモコン 樹脂架台共 1φ100V ※機器仕様は上記仕様のみを指定するものとする。	2	



特記

- ・更新と特記のある機器を更新のこと。
- ・既設冷媒配管を再使用するので、既存撤去前に運転状態等を確認し配管内に異物の混入が懸念される場合や既設管再使用にあたり機器製造者指定の確認事項に問題のある場合は監督員と協議の上、施工のこと。
- ・図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備を調査のうえ施工すること。
- ・作業の際は粉塵等に注意し、十分に養生を行うこと。
- ・既設ドレン管は通水の上、再使用可能であることを事前に確認のこと。
- ・室内外機廻りの冷媒配管は、フレア加工を新規に施工すること。
- ・室内機内接地端子より接地線を既設コンセントの接地端子に接続のこと。

2階機器配管配置平面図 (1/150) (改修)

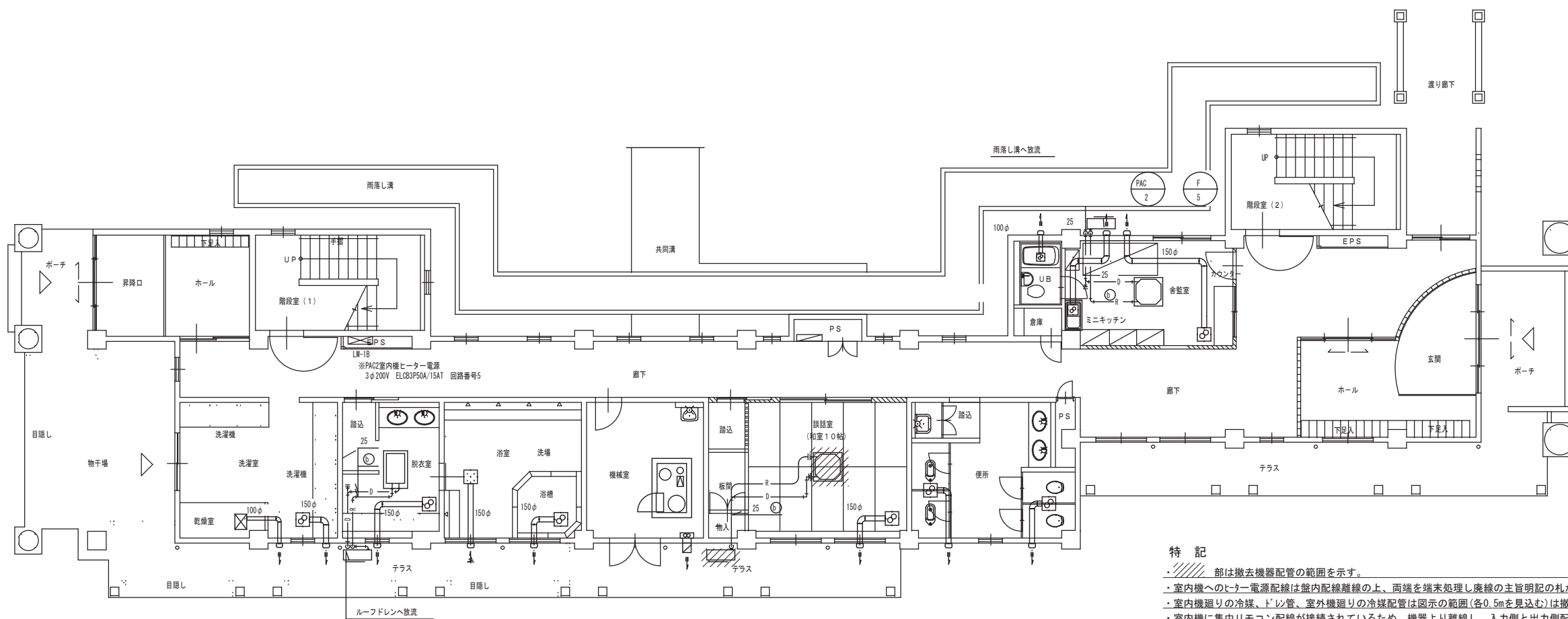
記号	冷媒配管サイズ		ドレン管サイズ
	液管	ガス管	(VP)
Ⓐ	6.35φ × 9.52φ		20
Ⓑ	6.35φ × 12.7φ		25

鳥取県
令和7年度
中部総合事務所

工事名称	SCALE	DATE	年度	番号
県立農業大学校女子寮エアコン更新工事 (第1期)	1 / 150	R 8 . 1	R 7	3
図名	2階機器配管配置平面図 (改修)			

撤去機器表

記号	名称	仕様	数量	備考
PAC2	パッケージエアコン	40形 4方向天井カセット型室内機 (定格)冷房4.0kw 暖房6.1kw 電気ヒータ組込 電気ヒータ 1.05kw ワイヤードリモコン 樹脂架台、接続アダプタ共 3φ200V 冷媒 R407C 2.0kg	1	ダイト SHYCP40CHT



特記

- ・ 〰 部は撤去機器配管の範囲を示す。
- ・ 室内機へのヒーター電源配線は撤去配線離れの上、両端を端末処理し廢線の主旨明記の札かけのこと。
- ・ 室内機廻りの冷媒、ドレン管、室外機廻りの冷媒配管は図示の範囲(各0.5mを見込む)は撤去のこと。
- ・ 室内機に集中リモコン配線が接続されているため、機器より離れし、入力側と出力側配線を適切に結線し集中リモコン傘下のほかの機器の動作が正常であることを確認すること。
- ・ なお既存集中リモコンにて制御できる機器を受注者が採用した場合は監督員と協議のこと。
- ・ ただし本特記項目は、受注者の機種選定に対し何ら影響を与えるものではない。

⊙ PAC 2 【撤去】

1階機器配管配置平面図 (1/150) (撤去)

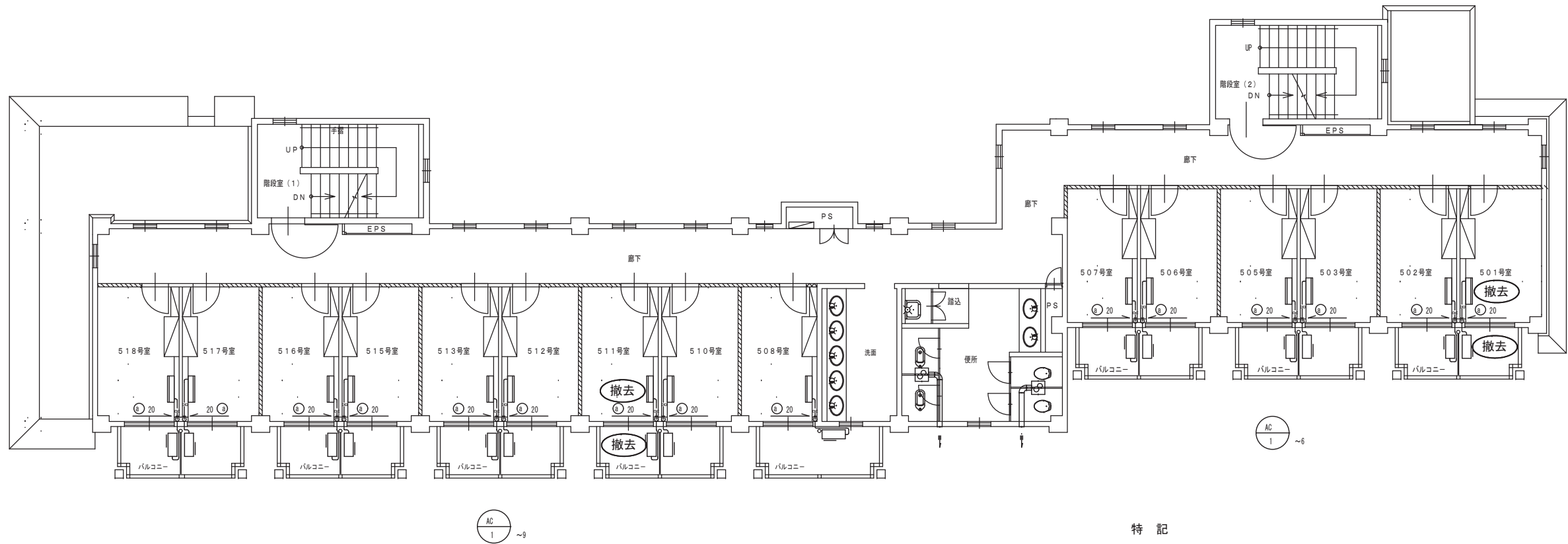
記号	冷媒配管サイズ		ドレン管サイズ
	液管	ガス管	(VP)
④	6.35φ	9.52φ	20
⑤	6.35φ	12.7φ	25



工事名称	SCALE	DATE	年度	番号
県立農業大学校女子寮エアコン更新工事 (第1期)	1 / 150	R 8 . 1	R 7	5
図名	3階機器配管配置平面図 (撤去)			

撤去機器表

記号	名称	仕様	数量	備考
AC1	ルームエアコン	22形 壁掛型室内機 (定格)冷房2.2kw 暖房3.2kw ワイヤレスリモコン 樹脂架台、接続アダプタ共 1φ100V	2	ﾀｲﾁﾝ S22GTDS-W



特記

- ・撤去の特記のある機器を撤去のこと。
- ・ルームエアコンは、家電リサイクル法に従い適切に運搬処分のこと。
- ・室内外機廻りの冷媒配管はフレア部を撤去のこと。
- ・室内機に集中リモコン配線が接続されているため、機器より離れし、入力側と出力側配線を適切に接続し集中リモコン傘下のほかの機器の動作が正常であることを確認すること。
- ・なお既存集中リモコンにて制御できる機器を受注者が採用した場合は監督員と協議のこと。
- ・ただし本特記項目は、受注者の機種選定に対し何ら影響を与えるものではない。

2階機器配管配置平面図 (1/150) (撤去)

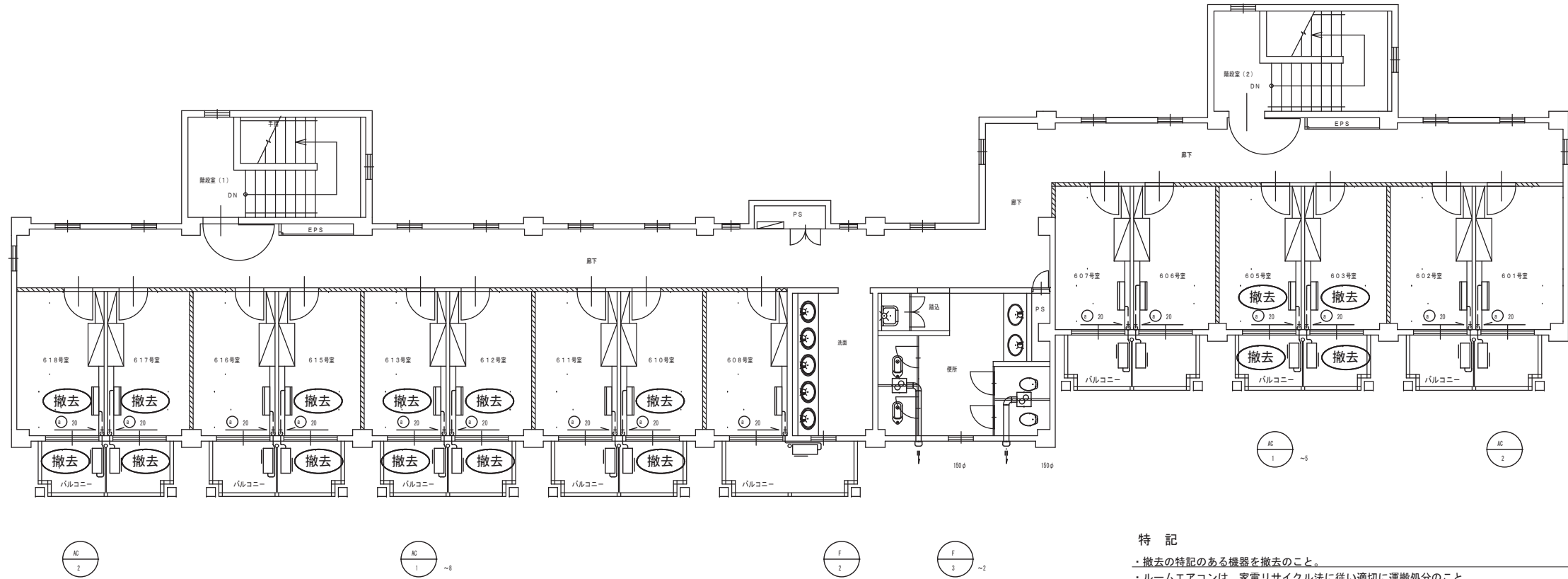
記号	冷媒配管サイズ		ドレン管サイズ
	液管	ガス管	(VP)
㊦	6.35φ × 9.52φ		20
㊧	6.35φ × 12.7φ		25



工事名称	SCALE	DATE	年度	番号
県立農業大学校女子寮エアコン更新工事 (第1期)	1 / 150	R 8 . 1	R 7	6
図名	2階機器配管配置平面図 (撤去)			

撤去機器表

記号	名称	仕様	数量	備考
AC1	ルームエアコン	2 2形 壁掛型室内機 (定格)冷房2.2kw 暖房3.2kw ワイヤレスリモコン 樹脂架台、接続アダプタ共 1φ100V	7	が'付' S22CTDS-W
AC1	ルームエアコン	2 5形 壁掛型室内機 (定格)冷房2.2kw 暖房3.2kw ワイヤレスリモコン 樹脂架台、接続アダプタ共 1φ100V	1	が'付' S25CTDS-W



特記

- ・撤去の特記のある機器を撤去のこと。
- ・ルームエアコンは、家電リサイクル法に従い適切に運搬処分のこと。
- ・室内外機周りの冷媒配管はフレア部を撤去のこと。
- ・室内機に集中リモコン配線が接続されているため、機器より離脱し、入力側と出力側配線を適切に結線し集中リモコン傘下のほかの機器の動作が正常であることを確認すること。
- ・なお既存集中リモコンにて制御できる機器を受注者が採用した場合は監督員と協議のこと。
- ・ただし本特記項目は、受注者の機種選定に対し何ら影響を与えるものではない。

3階機器配管配置平面図 (1/150) (撤去)

記号	冷媒配管サイズ		ドレン管サイズ
	液管	ガス管	(VP)
a	6.35φ	9.52φ	20
b	6.35φ	12.7φ	25

鳥取県
令和7年度
中部総合事務所

工事名称	SCALE	DATE	年度	番号
県立農業大学校女子寮エアコン更新工事 (第1期)	1 / 150	R 8 . 1	R 7	7
図名	3階機器配管配置平面図 (撤去)			